

平成22年度

年 報



平成25年8月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・	7
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・	1 1
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・	1 4
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・	1 7
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・	7 3
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・	1 0 2
4. 教員組織および委員会一覧	・ ・ ・	1 1 9

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年5月	基礎研究棟B棟の改修工事終了と供用開始	基礎研究棟B棟の改修工事（第一期）が竣工し、供用を開始した。	保健学部門会議資料 施設委員会議事録
平成22年5月	総合研究棟3階部分の退去	医用量子線科学分野の一部が平成21年より使用していた総合研究棟3階部分から退去し、基礎研究棟B棟への集約化がなされた。	保健学部門会議資料 施設委員会議事録
平成22年5月	修士課程大学院生の研究指導教員資格の変更	各教員の判断によって、副指導教員において複数指導体制をとることが承認された。	保健学部門会議資料
平成22年6月	保健学科放射線障害予防規定の一部改正	保健学科放射線障害予防規定の一部を改正した。	保健学部門会議資料
平成22年9月	看護学専攻における助産選択希望者選考試験実施方法の変更	助産選択希望者選考試験について、実施業務の見直しを行い、学務課学生係りを中心に行っていくこととなった。	保健学部門会議資料
平成22年11月	医学研究院長候補者選考に関する内規等の改正および制定	九州大学大学院医学研究院長候補者選定内規、保健学部門から選出する大学院医学研究院長候補者の条件に関する申し合わせ、医学研究院部門長に関する申し合わせ、医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申し合わせ、を改正・制定した。	保健学部門会議資料
平成22年12月	「アジア保健学コース」の設置申請	グローバル30に基づき「アジア保健学コース」の設置を申請することを決定した	保健学部門会議資料
平成22年12月22日	医学研究院長候補者の選出	医学研究院において次期医学研究院長候補者として片野光男教授を選出した。	医学研究院教授会資料
平成23年1月5日	教員人員ポイントの移譲	医療技術短期大学部を医学部保健学科へ改組した際、短期大学部教養課程教員として在職していた吉村准教授（現、言語文化研究院）の人員が保健学部門に残っていることについて、平成23年4月より准教授ポストを言語文化研究院に移すことが承認された。	保健学部門会議資料
平成23年2月2日	教員が長期休業を取得した場合の支援教員の雇用期限の決定	育児休業などの長期休業の場合に採用する支援教員について、有期教員として雇用期間は3年を限度とすること、更新が必要な場合は2年を限度として1回に限り更新できること、が決定した。	保健学部門会議資料
平成23年	専門看護師（がん看護）教育課程履修コースの認定	専門看護師（がん看護）教育課程履修コースが日本看護系大学協議会の認定を受けた。	保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月7日	学部入学式	新入生144名（看護:68、放射:36、検査:40）が入学した。	保健学科 学年暦
平成22年4月9日	大学院入学式	修士26名（看護:8、医用量子線:9、検査技術:9）、博士11名（看護:5、医療技術:6）が入学した。	保健学専攻 学年暦

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年7月30日	大学院修士課程学位審査（秋）		保健学専攻 学年暦
平成22年8月27日	修士課程入学試験		保健学専攻 学年暦
平成22年9月6日	保健学部門FD	「英語による大学院教育」G30への取り組み、農学府の経験、海外FD報告、を行い、保健学部門における英語による教育についての意見交換を行った。	平成23年度保健学部門FD報告書
平成22年9月27日	博士課程入学試験（春）		保健学専攻 学年暦
平成22年9月30日	卒業式・学位記授与式	修士 1名（看護：1、量子：0、検査：0）	保健学専攻 学年暦
平成22年10月27日	大学院入学生に配布する「保健学専攻学生の手引き」の作成	大学院入学生に対して、平成23年度より「保健学専攻学生の手引き」を配布することが決まり、作成を開始した。	大学院委員会 会議資料
平成22年11月13日	入学者選抜個別学力検査（社会人）		保健学科 学年暦
平成23年1月15日、16日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成23年1月29日	入学者選抜個別学力検査（AOⅡ）		保健学科 学年暦
平成23年2月21日	就職セミナー	参加：検査3年生35名 会場：5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成23年2月25日	就職セミナー	参加：放射線3年生35名 会場：基礎B棟4F インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成23年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査（前期）		保健学科 学年暦
平成23年2月25日、26日、27日	入学者選抜個別学力検査（帰国子女・私費外国人）		保健学科 学年暦
平成23年3月4日	博士課程追加入学試験（春）		保健学専攻 学年暦
平成23年3月24日	卒業式・学位記授与式	学士143名（看護：67、放射：43、検査：33） 修士 21名（看護：9、量子：7、検査：5）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月6日	教育の質向上支援プログラム(EEP)セミナー	” Teaching Medical Imaging in English” 講師：Robert M Nishikawa, Ph. D. （シカゴ大学 放射線科 カール・バイボーニー 乳腺画像研究所 所長） 会場：総合研究棟105室	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年7月9日	教育の質向上支援プログラム(EEP)セミナー	「日本人が英語で講義するためのコツ」 講師：鈴木賢治先生（シカゴ大学） 会場：総合研究棟105室	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成22年7月29日	国連大学・九州大学・国連大学協力会共催シンポジウム	人類の平和と発展に不可欠な課題となっている、国境を越えて広がる保健医療問題、を認識し解決するための成果を社会に還元する目的で開催された。	国連大学・九州大学・国連大学協力会共催シンポジウムプログラム
平成21年10月15日～平成22年9月22日	若手研究者交流支援事業～東アジア首脳会議参加国からの招へい～平成21年度第2回	東アジア大学連携による先端血液学研究者育成プログラム（コーディネータ：梅村 創）	若手研究者交流支援事業～東アジア首脳会議参加国からの招へい～平成21年度報告書
平成22年11月17日	米国・ニューヨーク市立大学ハンター校看護学部との学術交流協定の締結	部局間交流協定を締結した	保健学部門会議資料「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組成果報告書
平成22年11月25日	保健学国際フォーラム	会場：百年講堂大ホール 合同講演会「大学院における保健学教育と研究」Prof Sophia Chan (Univ of Hong Kong), Prof Maria Y-Y Law (Hong Kong Polytech Univ), Prof Benjamin Y-M Yung (Hong Kong Polytech Univ) 他、分野別学生セッション	保健学国際フォーラム プログラム
	教育の質向上支援プログラム(EEP H21-22)による教員の海外派遣	7名の教員を米国に派遣した。 栗崎宏憲助教・外園栄作助教（8月2日-17日）、有村秀孝准教授（8月17日-27日）、宮園真美助教（11月3日-18日）、川本利恵子教授（11月21日-26日）、平田秀紀教授（1月13日-20日）、末次美子助教（2月22日-3月3日）	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年7月3日	大学院説明会	大学院受験希望者を対象に、大学院の概要についての説明会を開催した。	保健学部門会議 議事録 入試実施委員会 議事録
平成22年7月10日	文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」によるシンポジウムの開催	「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」第3回シンポジウム 「電子教材作成のための基礎知識」 会場：コラボステーションⅠ 「インストラクショナルデザイン入門」内田実先生、「教材作成における著作権」尾崎史郎先生	「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組成果報告書
平成22年8月9日	オープンキャンパス	将来に受験を考えている高校生を対象にオープンキャンパスを開催した。参加者1,050名。 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館にて、専攻ごとに展示・体験コーナー・相談窓口などを企画した。	学生委員会 議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年9月18日	保健学公開講座 第8回	会場：百年講堂中ホール テーマ：自分で守ろう自分の体ーがん検診の重要性ー 「がん検診の重要性と治療の基本的考え方」平田秀紀教授、「自分でわかるがん検診」中尾富士子講師、「がんを写し出す最新画像検査」熊澤誠志講師、「細胞をみてわかること」渡邊寿美子助教 参加者：68名	保健学公開講座 プログラム
平成22年	保健学部門ホームページの改定	保健学部門ホームページを改定した	広報委員会 議事録
	高校への出前講義を実施した。	10月18日：春日高校（長家智子准教授） 10月22日：東筑高校（中尾久子教授） 12月7日：明善高校（杉島節夫教授）	学生係 記録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年～22年	文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」	本事業は平成20年度から3年間の予定で採択された。本年度は最終年度である。文部科学省より平成20年度は2000万円、平成21年度は1900万円、平成22年度は1800万円の補助金を受けた。同時に本事業に対して九州大学より戦略的教育G P支援事業デュアルサポート経費として平成20年度500万円、平成21年度は300万円、平成22年度は330万円の支援を受けた。事業全体として3年間での総実施経費は6830万円。	保健学部門会議資料 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」報告書
平成21年～22年	教育の質向上支援プログラム(EEP) 「保健学リーダー養成海外FDプログラム」	今年度が2年目で最終年度である。経費400万円/2年（うち部局負担200万円）	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成19年度～23年度	九州がんプロフェSSIONAL養成プラン（大学改革推進等補助金）	文部科学省の「がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン」で選定され、九州におけるがん医療に関する指導者リーダーを養成し、がん医療の均てん化を図る取組。がん専門看護師、医学物理士、細胞検査士を行うとともに、シンポジウム開催等を行う。平成22年度は各コースで計13名（1名、9名、3名）を受入れ、計10名（2名、7名、1名）が修了、計6名（1名、4名、1名）が合格した。	保健学部門会議資料 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成21年～25年	文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択された。今年度が2年目。	保健学部門会議資料 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」報告書
平成22年12月1日	保健学部門競争的スペースの設置	2年間の暫定措置として、基礎研究棟B棟1階の教員室2および共用実験室2を部門内の競争的スペースとした。	保健学部門会議資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年9月30日	長弘千恵（看護・教授）	退職（国際医療福祉大学教授へ）	
平成23年3月31日	平野裕子（看護・助教）	退職（長崎大学教授へ）	

2. 各分野の活動

◇ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月19日 平成22年5月17日 平成22年6月23日 平成22年7月21日 平成22年9月8日 平成22年10月20日 平成22年11月10日 平成22年12月15日 平成23年1月19日 平成23年2月23日 平成23年3月23日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月	学部生（第8期）の入学	担任：大池美也子教授、原田博子准教授、平野裕子准教授、仲道由紀助教	分野会議議事録
平成23年2月21日	看護学専攻FD	「本学看護学分野における大学院教育の課題と展望」をテーマに看護学専攻FDを行った。	平成22年度看護学専攻FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月1日 平成22年5月19日 平成22年6月16日 平成22年7月12日 平成22年9月3日 平成22年10月4日 平成22年11月1日 平成22年12月13日 平成23年1月17日 平成23年2月8日 平成23年3月15日	実習委員会（科目担当責任代表者実習委員会）	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成22年6月23日	病院実習連絡会議（九州大学病院）	九州大学病院において実施する看護学専攻の全ての臨地実習に関して、看護部長、副看護部長、全看護師長、全臨床実習指導者および看護分野教員との連絡会議を行った。	実習連絡会議議事録
平成22年 通年	臨地実習に関する説明会（九大病院以外の病院、自治体、機関、施設など）	看護学専攻3,4年生の老年看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、地域看護学実習、助産学実習の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項、実習委員会議事録
平成22年5月	総合実習実習連絡会議	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設にて実習連絡会議を行った。	分野会議議事録
平成22年6月 平成22年11月 平成23年1月 平成23年3月	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	分野会議議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年8月23日	助産師課程選抜試験	助産師課程を志願する看護学専攻3年生に対して、選抜試験が行われた。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年10月-11月	講座別 卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成22年12月11日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成22年11月17日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成23年3月3日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年9月-平成23年1月	国家試験学内模擬試験（看護師5回、保健師2回）	医学部保健学科看護学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	模擬試験資料
平成23年1月6日	助産師国家試験学内模擬試験	医学部保健学科看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	模擬試験資料
平成23年2月	第100回看護師国家試験、第95回保健師国家試験、第92回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験98.5%、助産師国家試験100%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年7月30日	看護実習室の見学ITを利用した教育	インドネシア大学からの見学者に対し、「Education system of nursing skills through using IT on fundamental nursing at Kyushu University.」のテーマで実習室と教育方法について説明し、対応した。	説明資料
平成22年11月22日	NY市立ハンター校を訪問	NY市立ハンター校と九州大学医学研究院保健学部看護学分野が部局間学術交流協定の締結の準備を行った。 (川本利恵子教授)	分野会議議事録
平成22年11月25日	第5回九州大学保健学国際フォーラム	国際フォーラム演者のDr. Sophia Chan (Univ of Hong Kong)を招待し、講演、交流を行った。	国際フォーラム資料
平成23年2月8日-2月16日	NY市立ハンター校を訪問	学術交流協定に基づきNY市立大学ハンター校での講義に参加した。 (金岡麻希助教)	

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年度人事交流 通年	看護実践力プロッサム開花プロジェクト ・実習指導要項開発プログラム(毎月) ・新人看護師育成プログラム(毎月)	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン、看護実践力プロッサム開花プロジェクト」への情報提供、指導、助言を行った。(川本教授、大池教授、中尾(富)講師、藤野講師、末次(美)助教、宮園助教)。病院からの人事交流者：中村妙子氏	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年 12回/年	九州大学病院 実習指導者研修会	臨地実習指導における目的、方法、評価及び指導者と教員の役割等について毎月講師を派遣し教育を行った。(臨床看護：川本教授他3名) (地域看護：鳩野教授他1名)	九州大学病院実習指導者研修会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年5月28日	平成22年度 日本看護系大学協議会総会	福島で開催された日本看護系大学協議会総会に出席した。特定看護師の検討など、協議会が果たすべき役割と課題について協議した。	分野会議議事録
平成22年6月	国立大学保健医療学系代表者協議会	群馬県高崎市で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席した。活動報告等の後、国家試験会場公布に関する検討を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成22年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してをメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成22年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成22年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：組織検討委員会	組織検討委員会委員として、大学教育の整備および充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成22年6月5日-6日	通算46回全国助産師教育協議会	平成21年度活動報告と22年度活動計画の協議が行われた。厚労省看護教育専門官 嶋田氏、文部科学省看護教育専門官 小山田氏、厚労省母子保健指導専門官 山口氏の講演があり、教育課程別と地区別検討会が行われた。	分野会議議事録
平成22年6月24日-25日	平成22年度国立大学助産師教育専任教員会議 (大阪)	大阪大学が当番校で、助産師教育を行う各大学から提示された議題を協議した。①保助看法改正に伴う助産師教育について②助産師教育、実習指導する非常勤職員および補助職員について協議した。	分野会議議事録
平成22年7月31日-8月1日	全国保健師教育機関協議会総会、および研修会	東京で開催された総会め研修会に出席し、会運営のあり方、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成22年8月26日-27日	第24回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	熊本県玉名市にて開催された協議会に出席し、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成22年度9月4日	全国助産師協議会九州・沖縄地区研修会 (鹿児島)	鹿児島医療福祉専門学校で、保助看法改正後における各学校の教育内容の取り組みについて教育、実習用の意見交換と、教育講演がなされた。	分野会議議事録
平成22年10月27日-29日	平成22年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された看護学教育ワークショップに出席し、「学士課程における看護学教育の卒業時到達目標改訂版の改定」に関する講演の後、GWを行った。	分野会議議事録
平成22年12月24日	平成22年度 日本看護系大学協議会社員社員総会	福島で開催された日本看護系大学協議会総会に出席した。看護教育に関する単位制、コアカリキュラム導入について協議した。	分野会議議事録

4. 社会連携 3)公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年9月18日	九州大学医学部保健学科公開講座 「自分で守ろう自分の体～がん検診の重要性～」講演	地域住民の方を対象にテーマ「自分でわかるがん検診」の講演を実施した。	公開講座資料
平成23年2月11日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック第2回研修会	熊本県玉名市で開催された第2回の研修会に参加し、今後必要とされる保健師活動と保健師教育をテーマに検討した。	分野会議議事録

4. 社会連携 4)がんプロフェッショナル養成プラン

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年度 通年	九州がんプロフェッショナル養成協議会	九州がんプロフェッショナル養成協議会において意見交換と看護師作業部会について報告した。	九州がんプロフェッショナル養成協議会議事録
平成23年2月28日	九州がんプロフェッショナル養成プラン講演会	総合研究棟で、「化学療法中の患者に対するセルフケア教育」の講演があった。 講師：田中登美氏(がん看護専門 看護師)	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ
平成23年3月6日	平成22年度がんプロフェッショナルシンポジウム	「九州・沖縄地区におけるがん看護専門看護師との交流会」のシンポジウムが開催された。 講師(がん看護専門看護師)：江上雅代氏、志岐千穂氏、安永浩子氏。廣瀬理絵氏	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年3月18日	模擬患者研修会	医学科、歯学部、薬学部、看護学科、管理栄養士における模擬患者参加型教育について他大学の教員と交流を深めた。	研修会資料
H22年7月25日 H23年3月13日	子どもホスピスを考えるフォーラム	市民を対象にフォーラムを開催(参加者第1回100名、第2回150名)福岡子どもホスピスプロジェクト(濱田裕子他)	子どもホスピスを考えるフォーラム資料

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年度	臨床医学研究賞	「新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」(木下義晶)	医療・介護・教育研究財団資料

◇ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月5日 平成22年5月13日 平成22年6月8日 平成22年7月13日 平成22年9月2日 平成22年10月7日 平成22年11月16日 平成22年12月7日 平成23年1月11日 平成23年2月3日 平成23年2月8日 平成23年3月9日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成22年5月	医用量子線科学分野 の基礎研究棟B棟3階 への集約化	基礎研究棟B棟の改修工事が竣工し、供用を開始した。これに伴い医用量子線科学分野の一部が平成22年より使用していた総合研究棟3階部分から退去し、全教員室と研究室の基礎研究棟B棟への集約化がなされた。	分野会議議事録
平成22年9月	管理下でない放射性 同位元素の点検	文部科学省からの通達で、管理下でない放射性同位元素の再点検を行ったが、特に異常はなかった。	分野会議議事録
平成22年12月1日	分野秘書の雇用	分野共通経費で分野秘書を雇用することになり、金納紀子氏を採用した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月6日	医用量子線科学分野 FD	” Teaching Medical Imaging in English” Robert M Nishikawa, Ph.D. (シカゴ大学 放射線科 カール・バイポーニー 乳腺画像研究所 所長)	分野会議議事録
平成23年4月7日	学部生（第8期）の入学	主担任：藪内英剛、副担任：大喜雅文	分野会議議事録
平成22年4月13日 平成22年11月24日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	分野会議議事録
平成22年4月	医療系統合教育科目 の必修化	医療系統合教育科目のうち「インフォームドコンセント」を4年生の必修科目とした	分野会議議事録
平成22年4月27日 平成22年8月2日 平成22年10月2日 平成22年11月30日 平成23年2月10日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成22年6月2日	修士課程 中間発表会	修士課程大学院生7名の研究の進捗状況について発表会を行った。	分野会議議事録
平成22年7月9日	量子線科学分野FD	「日本人が英語で講義するためのコツ」鈴木賢治（シカゴ大学）	分野会議議事録
平成22年9月1日	学生懇親ソフトボール大会	学部1～4年生、大学院生の合計40名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年9月21日 ～22日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。	分野会議議事録
平成22年11月	医学物理士試験	修士学生3名（中尾、深堀、山口）が合格した。	分野会議議事録
平成22年12月	大学院生研究会の開始	医用量子線大学院生を対象に、自分の専門分野以外も勉強できるよう、昼食時を利用した学生主導の勉強会を開始した。	分野会議議事録
平成22年12月9日 ～10日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。 終了後3年生主催の学生交流会を開催した。	分野会議議事録
平成23年2月21日 ～22日	先端技術セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った（5社）。	分野会議議事録
平成23年2月23日	九州電力玄海原子力発電所見学	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生が九州電力玄海原子力発電所見学を行った。	分野会議議事録
平成22年3月31日	第63回診療放射線技師国家試験	新卒者42名中40名、既卒者2名中1名が合格した。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月1日	特別研究学生の受け入れ	Busara氏（タイ国・マヒドン大学）を杜下研究室に受け入れた。 半年間の予定。	分野会議議事録
	教育の質向上支援プログラム (EEP H21-22) による教員の海外派遣	米国：有村秀孝准教授（8月17日-27日）、平田秀紀教授（1月13日-20日）	教育の質向上支援プログラム (EEP) 成果報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年6月24日	第11回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	別府市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：豊福教授、熊澤助教	分野会議議事録
平成22年6月25日	第55回全国診療放射線技師教育施設協議会	別府市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：豊福教授、熊澤助教	分野会議議事録
平成23年2月5日	第159回 医用画像情報学会	会場：総合研究棟ITルーム 大会長：杜下淳次教授 100名が参加した。	分野会議議事録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月6日	医用量子線セミナー 第2回	「コンピュータおよび観察者のための画像シミュレーションとシステム最適化」 Robert M Nishikawa, Ph.D. (シカゴ大学 放射線科 カール・バイボーニー乳腺画像研究所 所長)	分野会議議事録 医用量子線セミナープログラム

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年8月	CR装置レジウス（コニカミノルタ）の寄贈	CR装置レジウス（コニカミノルタ）が寄贈された。	分野会議議事録
平成22年11月	放射線取扱主任者試験第一種国家試験	合格者 3年生：20名 4年生：10名 卒業生：4名	官報
平成22年11月	医学物理士試験	3名が合格した。	分野会議議事録 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成22年11月20日 21日	第5回九州放射線医療技術学術大会における学生の発表	会場：熊本市民会館 学部生：28名 院生：3名	学会抄録集
平成22年度	学生筆頭論文数	原著論文：11編（英文8編） 国際会議報告：8編（英文7編） *卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年 4月	第66回 日本放射線技術学会 総会学術大会	学生賞（馬込大貴）	学会抄録集
平成22年 9月	19th Chinese Society of Imaging Technology; CSIT	Silver Award (Keita Takahashi)	学会抄録集
平成22年 9月	World Automation Congress	Semi Final Student Paper Award (Chiaki Tokunaga)	学会抄録集
平成22年 9月	第100回日本医学物理学会学術大会	大会長賞（溝口 明日実）	学会抄録集
平成22年 9月	第100回日本医学物理学会学術大会	ポスター賞（桑水流 純平）	学会抄録集
平成22年10月	AOCMP	First Place in Young investigator Symposium (Wataru Itano)	学会抄録集
平成22年10月	AOCMP	Finalist in Young investigator Symposium (Junpei Kuwazuru)	学会抄録集

7. 大型設備・機器の整備

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年	医用量子線科学	半導体式線量計（アンフォース ThinX RAD）	
平成22年6月	医用量子線科学	核医学用3D脳ファントム	
平成23年3月	医用量子線科学	治療用腹部骨盤ファントム	

◇ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年 4月2日 平成22年 5月14日 平成22年 6月2日 平成22年 7月7日 平成22年 9月1日 平成22年10月6日 平成22年11月10日 平成22年12月7日 平成22年 1月5日 平成22年 2月2日 平成22年 3月2日	検査技術科学分野分野会議	分野全員の参加による、分野の運営に関する検討会を開催した	各回議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年 7月15日 平成23年 1月26日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、九州大学病院検査部担当者と情報交換会を行った。	議事録
平成22年10月16日 平成22年11月13日 平成22年 1月15日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	国家試験模擬試験
平成22年 8月 3日	卒業研究 中間評価	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に卒業研究の進捗状況についての評価を行った。	卒業研究中間評価
平成22年 3月 4日	博士課程 中間発表会	博士課程大学院生 2名の研究進捗状況について発表会を行った。	研究発表会抄録集
平成22年 8月 9日	修士課程 中間発表会	修士課程大学院生 5名の研究進捗状況について発表会を行った。	研究発表会抄録集
平成22年11月17日	研究室紹介	医学部保健学科検査技術科学専攻3年生を対象とした卒業研究に向けての各研究室の詳細について説明会を行った。	各研究室紹介スライド
平成22年12月24日	卒業研究 発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究発表会抄録集
平成23年 2月16日	修士論文最終試験発表会	修士課程大学院生5名の修士論文について発表会を行った。	修士論文発表会抄録集
平成22年9月13日 平成22年9月29日 平成22年11月10日 平成22年12月7日 平成22年12月20日 平成23年1月17日 平成23年2月28日 平成23年3月11日	検査技術科学分野FD	新規カリキュラムについて各科目の内容、責任教員、担当教員について検討するFDを開催した。	議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年4月1日 ～9月30日	平成21年度JSPS若手研究者交流支援事業一東アジア首脳会議参加国からの若手研究者招へい	「東アジア大学連携による先端血液学研究者育成プログラム」(コーディネータ:梅村 創 教授)	JSPS拠点形成事業「アジア血液学」成果報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年7月6日 ～平成22年7月20日	外国人研究者の招聘	バンジャリー・シワボンアナン氏（タイ国・マヒドン大学大学院博士課程在学中）を受け入れた。	
平成22年7月29日	国連大学・九州大学・（公財）国連大学強力協力共催シンポジウム「グローバル化した保健と医療」アジアの発展と疾病の変化	検査技術科学分野・永淵 正法 教授による ショートスピーチ：「感染予防-ワクチン戦略に関する提言」	シンポジウム資料

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年5月6日	健康食品管理士九州地区研修会の開催	健康食品管理士の認定講習会を九州支部長として大澤 進 教授が開催した。	研修会案内
平成22年6月27日 平成22年8月28日 平成22年10月31日 平成22年12月19日 平成23年2月27日	福岡県臨床衛生検査技師会の福岡アカデミー研修会の開催	大澤 進 教授、外園 栄作 助教は県内臨床化学検査に従事している臨床検査技師を対象に研修会を学内で開催した	アカデミー案内通知 およびカリキュラム
平成22年7月18日	臨床病理同学院の緊急臨床検査士資格認定試験	大澤 進 教授は九州地区試験委員長として緊急臨床検査士資格認定試験を保健学部門校舎で行った。	開催通知案内状

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年6月24日	特許申請（特許出願2010-165457）	全血コリンの測定方法（出願者；湯村旭代、外園栄作、大澤 進）	学内整理番号； QP100044
平成22年11月27日	緒方富雄賞の受賞	大澤 進教授が臨床化学検査法の開発とその標準化の功績に対して受賞した。	受賞通知文面

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《基礎看護》

教授	大池 美也子
教授	北原 悦子
准教授	長家 智子
准教授	原田 博子
講師	丸山 マサ美
助教	道面 千恵子

1. 教育活動

1. 大学院講義

大池美也子

コンサルテーション論(分担)	前期
がん看護特論(分担)	前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	前期
看護教育論(分担)	前期
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期

長家智子

看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
看護教育論(分担)	前期

原田博子

看護組織マネジメント論(分担)	後期
看護教育論(分担)	前期
医療と生命倫理(分担)	後期
国際社会とチーム医療(分担)	後期

丸山マサ美

医療と生命倫理(分担)	後期
-------------	----

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大池美也子

がん看護演習Ⅱ(分担)	後期
がん看護演習Ⅲ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
保健学特別研究(分担)	通年

北原悦子	
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
保健学特別研究	通年
長家智子	
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
保健学特別研究	通年
原田博子	
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
保健学特別研究(分担)	通年

4. 大学院修士課程修了者

高木良重 「ストーマケアを实践する皮膚・排泄ケア認定看護師の意思決定過程に関する質的研究」

高橋純子 「抗がん剤の投与がストーマ周囲皮膚に及ぼす影響」

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大池美也子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護理論(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
コアセミナー(分担)	後期
卒業研究	後期
北原悦子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護理論(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
長家智子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護における教育と管理(分担)	前期
看護過程論	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期

原田博子	
コアセミナー(分担)	後期
看護における教育と管理(分担)	前期
看護過程論	後期
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
丸山マサ美	
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
道面千恵子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期

7. 学部の実験・実習・演習

大池美也子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
北原悦子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
長家智子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
原田博子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期

基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
丸山マサ美	
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
道面千恵子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期

7. 卒業論文作成者

久保田彩	「緩和ケアに関わる看護師の経験による学び」
後藤まり	「患者のICU退室時におけるICU看護師の葛藤と対処」
川副美香	腹膜透析患者およびその家族のQOLに関する研究
国廣真利亜	パーキンソン病患者のQOLを向上するための看護
七條有加	終末期医療における患者と家族の合意形成を支える看護-文献検討を中心として-
遠藤麻未	終末期がん患者の看護-文献検討を中心として-
濱崎美代	がん告知における患者の精神的援助-文献検討を中心として-
中原絵奈	脳死患者の家族に対する看護-文献検討を中心として-
天野邦彦	30度側臥位と90度側臥位における経過時間毎の安楽の変化についての比較
篠原亜由美	認知症患者およびその家族との看護師の関わりについての検討
下池里佳	終末期がん患者の家族に対する看護師の関わり方に関する文献検討
廣田梓	臨地実習における看護技術実施状況と技術に対する思いの実態
野上洋	パーキンソン病患者の疾病需要に効果的な看護師の援助についての検討
吉武恵利佳	乳がん術後患者への退院指導についての検討
新坂 幸大	災害の具体的イメージのためのDisaster Imagination Gameの有効性
高田 愛美	救援者の惨事ストレスに対するメンタルケアのニーズ分析

8. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 患者教育におけるナラティブ・アプローチの構築	大池
2 看護学基礎教育における e-Learning 教材の開発	大池
3 患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの開発と検証	大池
4 看護学生・看護職の道徳的感性の育成と実態に関する研究	北原
5 看護関連法令・法制度に関する研究	北原
6 災害看護学の教育に関する研究	北原
7 看護管理に関する研究(組織マネジメント・人材育成)	原田
8 ワーク・ライフ・バランスに関する研究(タイムマネジメント)	原田
9 安全管理・災害管理に関する研究	原田
10 看護師の労働安全に関する研究	原田
11 看護学基礎教育における教育教材開発に関する研究	長家
12 患者教育への IT 教材の活用に関する研究	長家
13 看護基礎教育におけるコミュニケーション能力形成方法に関する研究	長家
14 看護過程と看護診断の教育に関する研究	長家
15 生命(医療)倫理学(Bioethics & Medical Ethics)研究 -告知(Truth Telling) & 死生観(thanatology)に関する国際比較研究-	丸山
16 科学技術史(看護歴史, 医史学)研究 -思想史, 個人史, 地方史, GHQ	丸山
17 生命(医療)倫理学における教育方法論の開発-人間教育プログラムの構築	丸山
18 患者への教育・指導に対する効果的な関わりについての研究	道面
19 慢性期疾患患者の療養生活への支援に関する研究	道面
20 看護技術教育に関する研究(教材研究)	道面

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池美也子

- 「基盤研究(A)」 「看護の教育的関わりモデル」を活用したアクション・リサーチとモデルによる介入効果, (連携).
- 「基盤研究(C)」 フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発, (連携).
- 「基盤研究(C)」 新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築, (分担).

北原悦子

- 「基盤研究(C)」 新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築, (分担).
- 「基盤研究(C)」 フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発, (分担).

長家智子

- 「基盤研究(C)」 新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築, (分担).
- 「基盤研究(C)」 フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発, (分担).

道面千恵子

- 「基盤研究(C)」新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築, (分担).

2. 学内研究経費の受け入れ

原田博子

- 文部科学省教育支援事業, 医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育, 災害発災時救助・救護活動机上シミュレーション教材の作成, (代表).

長家智子

- 文部科学省教育支援事業, 医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育, 災害発災時救助・救護活動机上シミュレーション教材の作成, (分担).

3. 奨学寄附金の受入れ なし

4. その他の外部研究資金の受入れ なし

5. 受託研究員・研修員の受入れ なし

6. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 坂梨左織, 大池美也子: 口唇口蓋形成術を受けた子どもの母親の経験, 日本看護研究学会誌, 2010年09月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 長家智子, 末次典恵, 大池美也子, 北原悦子: 看護実践能力育成に向けたWBT教材の開発と活用に関する研究, 2010年05月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 長家智子, 大池美也子, 末次典恵, 北原悦子, 木原深雪, 原田博子, 丸山マサ美: 「観察」に焦点を当てた基礎看護技術教育の評価, 第20回日本看護学教育学会, 2010年08月01日, 大阪.
- 川口賀津子, 原田広枝, 山下千波, 須崎しのぶ, 中嶋恵美子, 吉川千鶴子, 北原悦子, 大池美也子: 新卒看護職者の職場適応に関する関連要因の検討, 第20回日本看護学教育学会, 2010年08月01日, 大阪.
- 山川裕子, 高田馨, 黒木里美, 三池優起子, 大池美也子: 緩和ケア中心の治療へ移行する患者への援助で看護師が抱える問題, 第10回福岡県看護学会, 2010年12月01日, 福岡.
- 大池美也子, 長家智子: 基礎看護技術教育においてPBLを導入した授業の検討, 第15回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2010年11月01日, 福岡.
- 北原悦子, 道面千恵子, 長家智子, 大池美也子: 中間看護職が考える看護関連法規に関する認識, 第15回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2010年11月01日, 福岡.
- 安酸史子, 飯野英親, 東玲子, 小野正子, 村山由紀子, 前田由紀子, 石原逸子, 高橋清美, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 北原悦子, 北川明: 交流集会15 新人看

護師の離職予防に向けたサポートモデルの開発, 第30回日本看護科学学会学術集会講演集, 2010年12月03日, 札幌.

- 蔵田康子, 大池美也子, 長家智子, 原田博子: インフォームドコンセントにおける看護師の行動に関する文献検討, 日本がん看護学会, 2011年02月12日, 神戸.
- 本田裕美, 村田節子, 長家智子: 看護過程における目標設定の指導方法に関する検討(1) 慢性期の事例より, 第16回日本看護診断学会, 2010年06月05日, 神戸.
- 村田節子, 本田裕美, 長家智子: 看護過程における目標設定の指導方法に関する検討(2) 急性期の事例より, 第16回日本看護診断学会, 2010年06月05日, 神戸.
- 秋野照美, 日影敬子, 長家智子: STAS-Jを用いた看護師のケアに対する意識の変化, 第41回日本看護学会 成人Ⅱ, 2010年08月31日, 福岡.

学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 久常節子編集, 原田博子他: (共著) 平成22年版看護白書, 2010年10月, 日本看護協会出版会.

b. 総説

- 大池美也子: 医学部保健学科における教養教育・全学教育と専門教育の現状と課題, 大学教育(九州大学) pp.19~28, 2010年11月.
- 原田博子: 何があっても患者の視点に立った看護を実践する, 月刊誌ナースマネジャー, 2010年01月.
- 原田博子: ワーク・ライフ・バランスの実現に必要な「基盤づくり」を, 医学書院 週刊医学界新聞, 第2905号, 2010年11月.
- 原田博子: スタッフ一人ひとりを大切に, 働き続けられる職場づくりをめざして, 医学書院, 「看護管理」, 第21巻第2号, 2011年02月.
- 原田博子: 組織と職員一人一人の柔軟な発想で実現するワーク・ライフ・バランス, 福岡県病院協会, 機関誌「ほすびたる」, 2010年07月.
- 原田博子: 医療現場とリスクマネジメント 看護師をむしばむ医療事故への不安 応用心理学のクロスロード 日本応用心理学会 Vol.2,p20-21, 2010.
- 原田博子: あの人が持つ看護管理のセンスいただきます! 達人管理者の感性・経験知第11回, 日総研出版, ナースマネジャーVol.11, No.11, p46-51, 2010.
- 原田博子: 短時間正職員制度 導入と実践~ここを押さえれば実現可能~ 第3回(最終回) 短時間正職員制度の運用と課題, 産労総合研究所, 師長主任業務実践, Vol.15, No.309, p56-61, 2010.

c. 解説, 書評など

- 原田博子: 認識と状況のコンテクストを織り込んだ倫理的決定, 週刊医学界新聞, 医学書院, 2010年10月.

受賞

- 長家, 第7回日本 e-learning 大賞 厚生労働大臣賞, 「e-Learning WORLD 2005」実行委員会, 2010年07月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - a. 訪問教授・研究員 なし
 - b. 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし
2. 部局委員
 - 大池, 九州がんプロフェッショナルがん看護師教育課程における看護作業部会代表.
 - 大池, 医療系統合教育センター長.
 - 北原, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会.
 - 長家, 中期計画委員.
 - 長家, アジア遠隔医療開発センター運営会議.
3. 部門・コース内委員
 - 大池, 将来計画・点検・評価委員会委員.
 - 大池, 入試実施準備委員会委員長.
 - 大池, 実習委員会委員.
 - 北原, 広報委員会.
 - 長家, 年報副委員長.
 - 長家, 卒業研究実行委員.
 - 原田, FD 実行委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師
 - 大池, 九州看護福祉大学, 兼任教員.
 - 大池, 福岡県立大学, 客員教員.
 - 北原, 福岡県看護協会, 集中講義.
 - 北原, 福岡県立大学, 客員教員.
 - 原田, 山口大学経済学部, 非常勤講師.
 - 原田, 放送大学, 非常勤講師.
2. 学協会
 - 大池, 福岡県看護教員養成講習会講師, 国内.
 - 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師, 国内.
 - 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会講師, 国内.
 - 大池, 九州大学病院看護部(看護研究)講師, 国内.
 - 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師, 国内.
 - 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成講習会)講師, 国内.
 - 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修)講師, 国内.
 - 大池, 日本看護学研究学会, 評議員, 国内.
 - 大池, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
 - 大池, 日本看護協会第41回日本看護学会(成人看護Ⅱ)準備委員会準備委員長, 国内.

- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会看護管理者認定委員会委員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 会長, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 第41回日本看護学会成人看護2, 編集委員長, 国内.
- 大池, 日本看護科学学会誌(和文), 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 査読委員(専任査読者), 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会, 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 北原, 日本看護科学学会 代議員, 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会誌, 査読委員, 国内.
- 北原, 国際ケアリング学会 演題(英文)査読委員, 国内.
- 長家, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 長家, 日本循環器看護学会, 理事, 国内.
- 原田, 日本看護倫理学会, 評議員, 国内.
- 道面, 日本糖尿病教育看護学会誌, 専任査読委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 北原, 国立大学保健学協議会看護学分科会, 組織検討委員会委員.
- 長家, 福岡 eラーニング研究会, 幹事.

5. 公開講座・公開講演会

- 大池, 「化学療法中の患者に対するセルフケア教育」研修会の企画・運営, 九州がんプロフェッショナル養成プラン, セミナー・研修会.
- 大池, 「九州・沖縄地区におけるがん看護専門看護師との交流会」の企画・運営, 九州がんプロフェッショナル養成協議会, セミナー・研修会.
- 北原, 「ケアリングアイランド九州・沖縄構想研修会」, ケアリングアイランド九州・沖縄構想研修会{福岡県立大学}. セミナー・研修会.
- 長家, 「実習指導者研修会」, 福岡県主催. 福岡市 ナースプラザ, セミナー・研修会.
- 長家, 「福岡県看護協会研修会「看護診断」」, 福岡県看護協会. 福岡市 ナースプラザ, セミナー・研修会.
- 原田, 多様な勤務形態導入への課題とその対処, 日本看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 多様な勤務形態導入に必要なアクション実践編, 日本看護協会研修学校, セミナー・研修会.
- 原田, WLBの基本的な考え方, WLB支援策とその基盤(人事管理)について, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ, 日本看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, タイムマネジメントについて看護管理研修会, 全国自治体病院協議会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護実践の中でコスト意識をもう！看護実践セミナー 山口県看護協会下関支部, セミナー・研修会.
- 原田, 多様な勤務形態の導入に向けて～看護管理者の立場から～護職の活用と定着のための職場づくり推進フォーラム 社団法人香川県看護協会, セミナー・研修会.

- 原田, ワーク・ライフ・バランス～働きやすい勤務体制への取り組み～「働き続けられる職場づくり」研修会 青森県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランス奈良県看護師等学校 教務主任協議会, セミナー・研修会.
- 原田, 働き安い勤務体制～タイムマネジメント病院看護師長研修会 山口県病院協会, セミナー・研修会.
- 原田, 目標管理南部保健所 大分県看護協会 佐伯市地域看護ネットワーク推進会議, セミナー・研修会.
- 原田, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ ワークライフバランスを無理なく取り入れよう日本看護協会, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 長家, e-learning を活用した基礎看護学教育, 福岡県立春日高校. 講演・セミナー等.

看護学分野

《臨床看護》

教授	樗木 晶子
教授	川本 利恵子
教授	中尾 久子
講師	中尾 富士子
助教	宮園 真美
助教	木下 由美子
助教	金岡 麻希
助教	富岡 明子

1. 教育活動

1. 大学院講義

樗木晶子

保健医療とソーシャルサポート(分担)	後期
生体情報解析学 I(分担)	前期
健康支援ケアシステム論 II (分担)	後期
臨床看護学特論 I (分担)	前期
臨床看護学特論 II(分担)	前期

川本利恵子

がん看護特論(分担)	前期
健康支援ケアシステム論 II (分担)	後期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	前期
がん看護援助論(分担)	前期
がん医療支援論(分担)	前期
コンサルテーション論	前期
臨床看護学特論 II (分担)	前期
臨床看護学特論 I (分担)	前期
看護研究方法論 I (統計の基礎)	前期

中尾久子

看護倫理(分担)	前期
臨床看護学特論 III(分担)	通年
健康支援ケアシステム論 I (分担)	前期
健康支援ケアシステム論 II (分担)	後期
臨床看護学特論 I (分担)	通年
臨床看護学特論 II(分担)	通年
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
医療と生命倫理(分担)	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	前期
がん看護援助論(分担)	後期

中尾富士子	
国際社会とチーム医療	前期
がん看護援助論(分担)	後期
がん医療支援論(分担)	前期

2. 大学院実験・実習

川本利恵子	
がん看護実習Ⅰ	前期
がん看護実習Ⅱ(分担)	前期
中尾富士子	
がん看護実習Ⅰ	前期

3. 大学院演習

樗木晶子	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
生体情報解析学Ⅱ(分担)	前期
看護学特別研究(分担)	通年
保健学特別研究(分担)	通年
川本利恵子	
がん看護特論(分担)	前期
保健学特別研究	通年
看護学特別研究	通年
課題研究	通年
がん看護演習Ⅲ	後期
がん看護演習Ⅰ(分担)	前期
がん看護援助論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	後期
がん医療支援論	前期
コンサルテーション論	前期
臨床看護学特論Ⅱ	前期
臨床看護学特論Ⅰ	前期
看護研究方法論Ⅰ(統計の基礎)	前期
中尾久子	
看護学特別研究(分担)	通年
保健学特別研究(分担)	通年
看護倫理	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年

中尾富士子		
がん看護援助論(分担)		後期
がん看護演習Ⅰ(分担)		前期
がん看護演習Ⅲ(分担)		後期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ		通年
宮園真美		
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
木下由美子		
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
金岡麻希		
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
富岡明子		
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年

4. 大学院修士課程修了者

古野貴臣	新卒看護師のリアリティショックと離職願望の関連 The Relationship between Reality Shock and Intention to leave the Job among New Graduate Nurses -Development of the Professional Identify as Related Factors-
潮みゆき	死体臓器提供者およびその家族への看護実践の影響要因の検討 -看護師の看護実践 の不全感に関する因果モデルの検証 - Factors Affecting Caring for dying patients who are donors after cardiac death or brain death and their families -The Verification of the Causal Model to Dissatisfaction Care-
細田悦子	手術室看護師の手術看護業務の重要性とその認識 Recognition on the priority of operative nursing practices by the nurses working in operation rooms
宮本いずみ	臨地実習指導者の看護技術指導に影響を与える要因の検討 Factors related to teaching efficacy to nursing practice of Clinical Nursing Instructors

5. 学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

樗木晶子

成人・老年看護学実習(分担)	前期
人体の機能と構造 IA(分担)	前期
人体の機能と構造IB(分担)	後期
循環機能検査学(分担)	後期
ジェンダー学(分担)	前期
性差医学(分担)	前期
医学総論(分担)	前期
成人看護学概論(分担)	前期
臨床医学群循環器(分担)	後期
成人看護の対象と方法(分担)	前期

川本利恵子

救急集中看護論(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期
老年看護方法論(分担)	後期
成人看護学概論(分担)	前期
共通コア科目－人間性－(分担)	通年

中尾久子

臨床倫理(医療系統合教育)(分担)	後期
老年看護学概論(分担)	前期
慢性期看護論(分担)	前期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
成人看護学概論(分担)	前期

中尾富士子

慢性期看護論(分担)	前期
生活指導論(分担)	前期
成人看護学概論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期

宮園真美

急性期看護論(分担)	後期
周手術期看護の展開(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	後期

木下由美子

生活指導論(分担)	前期
生活指導論(分担)	後期
臨床老年看護学(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期
慢性期看護論(分担)	前期
倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期

周手術期看護の展開(分担)	前期
金岡麻希	
救急集中治療看護論(分担)	後期
老年看護方法論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
成人看護学概論(分担)	前期
周手術期看護の展開	前期
富岡明子	
生活指導論(分担)	前期
生活指導論(分担)	後期
老年看護学概論(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

樗木晶子	
卒業研究(分担)	後期
生理機能検査学実習(分担)	後期
川本利恵子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
中尾久子	
卒業研究(分担)	通年
老年看護学実習(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
中尾富士子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
成人看護学慢性期実習	後期
宮園真美	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
成人看護学急性期実習	後期
木下由美子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期

総合実習Ⅱ(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
成人看護学慢性期実習	後期
金岡麻希	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
成人看護学急性期実習	後期
富岡明子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習Ⅰ(分担)	前期
総合実習Ⅱ(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
成人看護学慢性期実習	後期

8. 卒業論文作成者

岡村瞳	ICD術後患者の術前から術後の思いとQOL ～患者の語りを通して～
神田裕子	心疾患患者への*フットサウンによるバイタルサイン変化, 睡眠状態変化, および QOL
谷崎麗子	植込み型除細動器(ICD)植え込み術直前, 直後の患者のQOL-2名の患者の語りを通して-
梁井美香	虚血性心疾患治療後の自己効力感と患者属性の関係
山川夏紀	患者中心のチーム医療における現状と課題
松尾結佳	がんの告知を受けた患者の疾病受容とその援助
永津 梨花	三次救急における生命の危機状態にある患者の家族への援助-看護師の問題点に着目して-
佐藤瑠里	救急看護における家族看護の研究の傾向と今後の課題-2005年～2010年の文献検討-
木下恵理子	科学的根拠に基づいた急性心筋梗塞患者の体位変換に関する研究
馬場 美春	関節リウマチ患者の抱く不安に関する文献検討
安藤愛	前立腺がん患者の治療に伴う苦痛とそれに対する看護
越智茜	がん患者に対する緩和ケアにおける看護師の役割
木村優子	心肺蘇生中の家族立会が患者の家族に与える影響
佐伯美緒	蘇生処置を必要とする家族員を持った家族に対する看護師の関わりの現状
坂口裕美	看護における指圧に関する文献検討-現状と看護の課題-

9. 研究生

橋口暢子

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

川本利恵子

看護学分野長として参加

新入生合宿研修

3. 研究活動

1. 主要研究事項

樗木晶子

心疾患や高齢者におけるサウナ(首下温熱装置), 下半身温熱, 足温を用いた温熱効果の検討

脊髄損傷患者における血圧調節と生活支援のための機器の開発

植え込み型除細動器患者における QOL 改善のためのケアシステムの開発

フットサウナを用いた心疾患患者におけるQOLと予後の改善を目指した看護ケアの構築

川本利恵子

胃切除術が骨代謝に及ぼす影響と栄養や活動などに与える変化の解明

中尾久子

医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療, 看護)

ストレス, ストレス反応および生活行動の関連性

高齢者の身体拘束とQOL

我が国の病院の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題

宮園真美

サウナ浴による生理・心理反応

埋め込み型除細動器を装着した患者の QOL

木下由美子

直腸がん患者のQOL

金岡麻希

生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究

富岡明子

心肺蘇生の立ち会いが患者の家族に与える影響

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木晶子

- 「基盤研究(S)」 脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック圧制御システムの開発, (分担)
- 「萌芽研究」 植込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発, (代表)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の検討, (分担)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(B)」 フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (代表)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)

川本利恵子

- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「萌芽研究」 植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワークの特性変容の解明, (代表)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(B)」 フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (分担)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)

中尾久子

- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (代表)
- 「萌芽研究」 植込み型除細動器患者に関する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の解明, (分担)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)

中尾富士子

- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の解明, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システムに向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (代表)

宮園真美

- 「萌芽研究」 植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上を目指した看護ケアモデルの開発，(分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排泄障害支援システムの構築，(分担)
- 「基盤研究(B)」 がん医療看護における倫理症例集作成の試み，(分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容，(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」 植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上を目指したケア，(分担)
- 「基盤研究(C)」 措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発，(分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，(代表)
- 「基盤研究(B)」 がん治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究，(分担)

木下由美子

- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究，(代表)
- 「基盤研究(B)」 がん医療看護における倫理症例集作成の試み，(分担)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究，(分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，(分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容，(分担)

金岡麻希

- 「若手研究(B)」 生体肝移植ドナーの自尊感情安定を目指した看護モデルの構築，(代表)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究，(分担)
- 「基盤研究(B)」 がん医療看護における倫理症例集作成の試み，(分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，(分担)
- 「基盤研究(C)」 医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容，(分担)

富岡明子

- 「若手研究(B)」 心肺蘇生の立ち合いが患者の配偶者に与える影響，(代表)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み，(分担)

3. 学内研究経費の受入れ

中尾富士子

- 「質の高い大学教育推進プログラム：医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」 リンパ浮腫患者の治療のためのエビデンスに基づく看護技術学習教材：リンパドレナージの技術を学ぶ (代表)

宮園真美

- 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」 電子教材作成」 急性期看護学実践学習 Web教材の開発 (代表)

金岡麻希

- 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」電子教材作成」急性期看護学実践学習 Web 教材の開発（分担）

4. 奨学寄付金の受入れ

樗木晶子

- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本光電九州株式会社
- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本ライフライン
- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共株式会社

5. その他の外部研究資金の受入れ

樗木晶子

- 「第一三共株式会社 ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について」
- 「Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial)」
- 「ヤマギワ株式会社 超音波検査室における最適な照明環境の研究」

中尾久子

- 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」の支援授業における分担研究「教育と医療現場の連携」

6. 受託研究員・研修員の受入れ

なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 宮園真美, 前野有佳里, 橋口暢子, 川本利恵子, 中尾久子, 中尾富士子, 木下由美子, 金岡麻希, 樗木晶子, 栃原裕: 頸部下ドーム型サウナ使用時の生理・心理反応, 人間と生活環境, 17(1):31-37.2010.
- Shuji Sakai, Hidetake Yabuuchi, Akiko Chishaki, Takashi Okafuji, Yoshio Matsuo, Takeshi Kamitani, Taro Setoguchi, Hiroshi Honda: Effect of cardiac function on aortic peak time and peak enhancement during coronary CT angiography, European Journal of Radiology, 75,2,173-177,2010.10.
- Endo A, Kohsaka S, Suzuki S, Atarashi H, Kamakura S, Sakurai M, Nakaya H, Fukatani M, Mitamura H, Yamazaki T, Yamashita T, Ogawa S; J-RHYTHM Investigators (Chishaki A). Impact of drug alteration to maintain rhythm control in paroxysmal atrial fibrillation. - Subanalysis from J-RHYTHM study. Circ J. 2010;74(5):870-5
- Aizawa Y, Kohsaka S, Suzuki S, Atarashi H, Kamakura S, Sakurai M, Nakaya H, Fukatani M, Mitamura H, Yamazaki T, Yamashita T, Ogawa S; J-RHYTHM Investigators. (Chishaki

A), Comparison of antiarrhythmics used in patients with paroxysmal atrial fibrillation: subanalysis of J-RHYTHM Study. Circ J. 2010;74(1):71-76

- 阿南あゆみ, 椎葉美千代, 柴田英治, 川本利恵子: 妊娠中の労働による健康影響と心理的ストレス, 産業医科大学雑誌, 2010年12月. (査読あり)
- 川本利恵子編: 高齢者からのケアに関する現場からの疑問, コミュニティケア, 2010年12月. (査読なし)
- Turale S, Shin FJ, Klunklin A, Chontawan R, Ito M, Nakao F: Asia-Pacific nursing scholarship development: qualitative exploration of nurse scholars in Taiwan (Republic of China), J Clin Nurs, 19. 2010年09月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Chishaki A.: Sudden Cardiac Death; Its Risk Stratification From Science to Art., The 13th Congress of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, 2010年06月05日, Japan.
- Chishaki A, Shamoto A, Takemoto M, Mukai Y, Inoue S, Chishaki H, Sunagawa K.: Usefulness and Unique Antiarrhythmic Drug: Bepridil to Multidrug Resistance Paroxysmal Atrial Fibrillation, The 13th Congress of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, 2010年06月05日, Japan.
- Kikuko Taketomi, Yuriko Fujino, Yuko Hirano, Akiko Chishaki: The Status of Mental Health and Affective Factors on Female Nurses Working at Japanese University Hospitals-Women Medical Professional Support Program“Kirameki Project”-, 第14回東アジア看護学研究者フォーラム, 2011年02月10日, Korea.
- Yuriko Fujino, Kikuko Taketomi, Yuko Hirano, Akiko Chishaki: The Influence Factors of Life Events on Mental Health in Nurses Working at University Hospitals-Women Medical Professional Support Program“KIRAMEKI Project”-, 第14回東アジア看護学研究者フォーラム, 2011年02月10日, Korea.
- Hisako Nakao, Akiko Chishaki, Fujiko Nakao, Rieko Kawamoto: Nursing Education for the End-of-Life Cancer Patients in Japan, Palliative Medicine and Supportive Oncology, The 14th International Symposium, 2011年03月10日, United States of America.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 樗木晶子, 武富貴久子, 藤野ユリ子: 看護基礎教育と臨床教育をつなぐ電子教材作成-実習オリエンテーションに看護師院内研修映像を用いて-, 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」成果報告会, 2010年12月.
- 川本利恵子, 中尾久子, 樗木晶子, 中尾富士子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希, 中越久美子: 看護学の国際性と学際性を旨とした Web 学習教材の開発, 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」成果報告会, 2010年12月.
- 中尾久子, 川本利恵子, 樗木晶子, 中尾富士子, 木下由美子: 大学教育と医療現場をダイナミックにつなぐ医療倫理・看護倫理教材作製の試み, 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」成果報告会, 2010年12月.
- 樗木晶子: はらはら, どきどきの不整脈, 第4回ヘルシーエイジング報告書, 2010年12月.
- 川本利恵子, 村嶋幸代, 金山正子, 畑尾正彦, 杉浦美佐子, 樗木晶子, 中尾久子, 中尾富士子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希: 「実践能力向上に資する看護師国家試験等の改善に関する研究」厚生労働省科学研究費報告書(平成21年度)2010年04月.

- 川本利恵子, 村嶋幸代, 金山正子, 畑尾正彦, 杉浦美佐子, 樗木晶子, 中尾久子, 中尾富士子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希: 「実践能力向上に資する看護師国家試験等の改善に関する研究」厚生労働省科学研究費総合報告書(平成 20・21 年度)2010 年 04 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 外園栄作, 小宮陽子, 中村邦夫, 樗木晶子: 超音波検査時の検査者・被検者各位置の照度に影響する室内照明環境状況調査, 日本超音波医学会第 83 回学術集会, 2010 年 05 月 29 日, 京都.
- 田代洋行, 島ノ江信芳, 杜下淳次, 野口ゆかり, 外園栄作, 小宮陽子, 樗木晶子, 中村邦夫: 超音波検査室の照明設置位置・照度による CRT モニターの輝度比に与える影響, 日本超音波医学会第 83 回学術集会, 2010 年 05 月 29 日, 京都.
- 井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 高瀬進, 樗木晶子, 砂川賢二: 右室下壁三尖弁輪起源心室頻拍に 2 症例, 第 25 回日本不整脈学会学術大会, 2010 年 06 月 11 日, 名古屋.
- 竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二, 中島淳博, 塩川祐一, 山村健一郎: 傍ヒス束ペーシングによる心臓再同期療法が心不全治療に著効した修正大血管転移症(SLL)に合併した完全房室ブロックの 1 小児例, 第 25 回日本不整脈学会学術大会, 2010 年 06 月 11 日, 名古屋.
- 向井靖, 竹本真生, 井上修二郎, 的場哲哉, 船越公太, 樗木晶子, 砂川賢二: 心サルコイドーシスを基礎疾患とした VT に対しアブレーションを行った 3 症例の経験, 第 25 回日本不整脈学会学術大会, 2010 年 06 月 11 日, 名古屋.
- 新小田春美, 末次美子, 樗木晶子, 加未恒壽: 乳児の睡眠・生活習慣と情緒行動評価, 日本赤ちゃん学会第 10 回学術集会, 2010 年 06 月 12 日, 東京.
- 西崎晶子, 船越公太, 西田誉浩, 遠藤豊成, 中原真明, 山本光孝, 井上修二郎, 向井靖, 竹本真生, 富永隆治, 樗木晶子, 砂川賢二: 完全右脚ブロック出現をきっかけに Brugada 型心電図, 心室細動を来した高齢男性, 第 108 回日本循環器学会九州地方会, 2010 年 06 月 26 日, 福岡.
- 井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 肥後太基, 江島健一, 高瀬進, 樗木晶子, 砂川賢二: 後中隔 Kent 束の 2 症例, 第 21 回九州不整脈研究会, 2010 年 07 月 24 日, 福岡.
- 藤野ユリ子, 武富貴久子, 石橋ふきこ, 中畑高子, 樗木晶子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希, 中尾久子, 川本利恵子: 看護基礎教育と臨床教育をつなぐ電子教材作成-実習オリエンテーションに看護師院内研修映像を用いて-, 日本看護学教育学会第 20 回学術集会, 2010 年 07 月 31 日, 大阪.
- 樗木晶子: 治療抵抗性の発作性心房細動に対する長期ベプリジル投与の有効性と安全性, 第 27 回日本心電学会学術集会, 2010 年 10 月 08 日, 大分.
- 高瀬進, 井上修二郎, 向井靖, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: インターフェロン療法中に頻脈誘発性心不全をきたした multifocal AT の症例, 日本不整脈学会カテーテル・アブレーション関連秋季大会, 2010 年 10 月 21 日, 東京.
- 向井靖, 井上修二郎, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: His 束近傍からの多発 PVC に対するアブレーションの経験, 日本不整脈学会カテーテル・アブレーション関連秋季大会, 2010 年 10 月 21 日, 東京.
- 井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 高瀬進, 樗木晶子, 砂川賢二: TOF 術後慢性期の流出路起源心室頻拍の 1 症例, 日本不整脈学会カテーテル・アブレーション関連秋季大会, 2010 年 10 月 21 日, 東京.
- 橋口暢子, 宮園真美, 樗木晶子, 栃原裕: 夏季の湿度環境が及ぼす高齢者の生理・心理反応とその除湿効果, 日本生理人類学会第 63 回学会, 2010 年 10 月 30 日, 千葉.
- 向井靖, 甲木雅人, 大井啓司, 井上修二郎, 肥後太基, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: VSD 述後遠隔期に心室細動をきたした一例, 第 3 回西日本心臓電気生理研究会, 2010 年 11 月 06 日, 福岡.
- 宮園真美, 樗木晶子: 心不全患者へのフットサウナ療法による気分および睡眠に関する基礎的研究, 第 7 回日本循環器看護学会学術集会, 2010 年 11 月 20 日, 広島.
- 井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 砂川賢二: 左室流出路起源リエントリー性心室頻拍の一例, 第 12 回 Team Tsuchiya EP カンファレンス, 2010 年 11 月 27 日, 福岡.

- 船越公太, 向井靖, 竹本真生, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二: 高齢でVfで発症し, 完全右脚ブロックにより顕性化したと考えられたブルガダ症候群の1例, 第23回心臓性急死研究会, 2010年12月18日, 東京.
- 松永里香, 樗木晶子, 小池城司: 行動変容ステージ別特定保健指導プログラムの有効性, 第12回日本健康支援学会学術集会, 2011年02月19日, 福岡.
- 樗木晶子: ペプリジルによるTorsade de pointesを徹底的に解明する, 第10回ペプリジル研究会, 2011年02月26日, 東京.
- 川本, 利恵子: 国家試験合格水準評価における修正イーベル法の有効性の検討, 第77回日本応用心理学会学術集会, 2010年09月12日, 京都.
- 中尾富士子, 鈴木志津枝, 杉野由紀子, 富岡明子, 木下由美子, 宮園真美, 金岡麻希, 中尾久子, 川本利恵子: 3症例の比較によるリンパ浮腫患者のセルフケア教育の重要性, 第30回日本看護科学学会学術集会, 2010年12月04日, 札幌.
- Michiko Tanaka, Yuriko Fujino, Kikuko Taketomi, Rieko Kawamoto, Maryanne Garon, Karen Ringle : Professionalism in US Nurse Leaders , 14th East Asian Forum of Nursing Scholars , 2010年12月12日, ソウル.
- 川本利恵子, 野口ゆかり, 宮園真美, 末次典恵: 医療現場と教育との連携におけるe-ラーニング教材コンテンツの活用と取り組み, 第20回日本看護教育学会学術集会, 2010年07月31日, 大阪.
- 中尾久子, 中尾富士子: 看護の場の倫理的問題の特性 ―がん患者の看護で感じる問題と対処―, 日本がん看護学会 学術集会, 2011年02月13日, 神戸.
- 古野貴臣, 中尾久子: 新卒看護師の職業的アイデンティティと離職願望の関連, 第15回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2010年11月20日, 福岡.

f. 学会以外での講演, 発表

- 樗木晶子: 循環器研究のためのQOL評価, 第23回日本循環器病予防セミナー, 2010年08月03日, 札幌.
- 中尾久子, 川本利恵子, 樗木晶子, 中尾富士子, 木下由美子: 大学教育と医療現場をダイナミックにつなぐ医療倫理・看護倫理教材作成の試み, 2011年02月07日, 福岡.

著作

a. 単行本

樗木晶子

- 樗木晶子: トートラ人体解剖生理学 原書8版, 心臓血管系-血液, 佐伯由香, 黒澤美枝子, 細谷安彦・多橋研一編訳, 2010年12月.
- 急・重症患者と家族のための心のケア, 2010年08月, MCメディカ出版.

宮園真美

- 成人看護学, 看護師・看護学生のためのレビューブック, 2010年04月, メディックメディア.
- 看護師国家試験問題解説 クエスチョンバンク, 2010年04月, メディックメディア.
- (共著) 総論: 術前, 急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- 川本利恵子, 木下由美子, 宮園真美, : (共著) 総論: 術後, 急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.

木下由美子

- (単著) 結腸癌患者の看護:急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (単著) 胃癌患者の看護:急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (単著) 膵臓癌患者の看護:急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (共著) 総論:術前, 急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (共著) 総論:術後, 急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (共著) 成人看護学, 看護師・看護学生のためのレビューブック, 2010年04月, メディックメディア.
- (共著) 看護師国家試験問題解説 クエスチョンバンク, 2010年04月, メディックメディア.

金岡麻希

- (共著) 急性期看護の基本技術:急性期看護実習ガイド, 2011年03月, 医学出版.
- (共著) 成人看護学, 看護師・看護学生のためのレビューブック, 2010年04月, メディックメディア.
- (共著) 看護師国家試験問題解説 クエスチョンバンク, 2010年04月, メディックメディア.

富岡明子

- 山勢博彰, 松本幸枝, 千明政好, 田中周平, 山勢善江, 原田竜三, 立野淳子, 本山仁美, 久間朝子, 藤野成美, 西野弘員, 山根俊恵, 辰巳有紀子, 門間正子, 孫田千恵, 片岡秋子, 新カヨ, 伊藤聡子, 古賀雄二, 磯村聡子, 富岡明子, 林みよ子, 内田恵, 後藤直美, 進藤和美, 川谷陽子, 相楽章江, 水谷希美, 江口秀子, 網木政江, 小松由佳, 高橋ひとみ, 野口信子, 濱本淳子, 白坂雅子, 掛田崇寛, 石井美恵子, 廣常秀人, 飯野英親, 長井進:
(共著) 救急・重症患者と家族のための心のケア, 2010年08月, MC メディカ出版.

b. 総説

樗木晶子

- 樗木晶子: 心電学マイルストーン, 日本心電学会誌, 心電図 Vol.30-4, 2010年10月.
- 樗木晶子: 心電図の基礎, 日本循環器看護学会誌 Vol.6.No.1, 2010年05月.

川本利恵子

- 原田博子, 川本利恵子: 医療現場とリスクマネジメント, 応用心理学のクロスロード, 2010年12月.

c. 解説, 書評など

中尾富士子

- 中尾富士子, 宮園真美, 中尾久子: 10th Annual National/International Evidence-Based Practice Conference 参加報告, 2010年04月.
- 中尾富士子: 解剖生理と病態生理がつながる! 疾患別看護過程ネフローゼ症候群, プチナース, 19(13), 2010年11月.

宮園 真美

- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回)解答・解説書, 2010年04月, 株式会社学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第2回)解答・解説書, 2010年08月, 学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第3回)解答・解説書, 2010年11月, 学研メディカル秀潤社.

木下由美子

- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回)解答・解説書, 2010年04月, 株式会社学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第2回)解答・解説書, 2010年08月, 学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第3回)解答・解説書, 2010年11月, 学研メディカル秀潤社.

金岡麻希

- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回)解答・解説書, 2010年04月, 株式会社学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第2回)解答・解説書, 2010年08月, 学研メディカル秀潤社.
- (共著) 第100回看護師国試合格チャレンジテスト(第3回)解答・解説書, 2010年11月, 学研メディカル秀潤社.

受賞

川本利恵子

- 福岡県知事賞(医療職), 福岡県, 2010年05月.

報道

樗木晶子

- 読売新聞, 「九大病院「きらめきプロジェクト」の取り組み」, 2010年10月.
- NHK, 「九州大学病院きらめきプロジェクト第1回学生交流会の様子とインタビュー」, 2010年11月.
- TNC, 「パネリストとして講演した第4回ヘルシーエイジングの様子」, 2010年12月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 樗木, ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について, 第一三共株式会社, 2009年10月~2011年10月.
- 樗木, 超音波検査室における最適な照明環境の研究, ヤマギワ株式会社, 2008年04月~2012年03月.
- 中尾, 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」の支援授業における分担研究「教育と医療現場の連携」, 2010年04月~2011年03月.

2. 受託研究

- 樗木, Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial), 2009年08月~2011年09月.

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 樗木, American Heart Association(United States of America), 国際会議, 2010年11月~2010年11月
- 川本, ニューヨーク市立大学ハンター校看護学部 (United States of America), 大学・研究所訪問, 2010年11月~2010年11月
- 中尾, Georgetown University, Center for Clinical Bioethics, (Washington D.C) (United States of America), その他, 2010年12月~2010年12月
- 中尾(富), ニューヨーク市立大学 (United States of America), 大学・研究所訪問, 2011年03月~2011年03月
- 宮園, University of California San Francisco School of Nursing(United States of America), その他, 2010年11月~2010年11月
- 金岡, Hunter-Bellevue School of Nursing The City University of New York (United States of America), 大学・研究所訪問, 2011年02月~2011年02月

2. 外国人研究者の受入れ

a.訪問教授・研究員 なし

b.訪問研究者 なし

c.留学生の受入れ なし

d.学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 九州大学男女共同参画室室長
- 樗木, 総長特別補佐
- 樗木, 人員管理委員会委員
- 中尾, 高等教育開発推進センター委員会
- 中尾, 教務委員会.

2. 部局委員

- 樗木, 遺伝子治療臨床研究審査専門委員会
- 中尾, 医療系統合教育研究センター委員会.
- 中尾, 病院地区教育情報委員会.
- 木下, 高度先端医療センター 百人部会委員.
- 金岡, 先進医療適応評価委員.

3. 部門・コース内委員

- 川本, 施設委員会委員
- 川本, 研究推進委員会
- 川本, 教員業績評価委員会
- 川本, 再任審査委員会委員
- 川本, 将来計画, 点検・評価委員会
- 川本, 人事委員会
- 川本, 入試実施委員会
- 川本, 総務委員会
- 川本, 財務委員会
- 川本, 保健学部門学生支援会運営委員会
- 川本, カリキュラム WG
- 川本, 助産・保健 WG
- 川本, 実習委員会
- 中尾, 再任審査委員
- 中尾, 教務委員
- 中尾, 大学院委員長
- 中尾, 財務委員
- 中尾, 研究推進委員
- 中尾, 将来・点検・評価委員
- 中尾, 臨床講座主任
- 中尾, 実習委員
- 中尾, カリキュラム WG
- 中尾(富), 実習委員
- 宮園, 保健学部門学生支援会運営委員
- 宮園, 看護学専攻卒業研究委員
- 宮園, 実習委員
- 金岡, 施設・環境委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 川本, 福岡県保健福祉部医療指導課, 看護教員養成講習会, 非常勤講師.
- 川本, 全国保健師教育機関協議会, 集中講義.
- 川本, 山口大学医学部附属病院, 集中講義.
- 川本, がん看護にかかわる看護師育成研修 がん看護に生かす理論, 集中講義.
- 川本, 国立病院機構関門医療センター看護部講習会, 集中講義.
- 川本, 看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想 第4回合同FD研修会【研修会テーマ】国家試験対策: 国試を見据えた授業づくり, 集中講義.

- 川本, 全国助産師教育協議会九州沖縄地区理事会講習会【講習会テーマ】助産師国家試験問題作成方法の開発: 修正イーベル法の活用, 集中講義.
- 川本, 西南女学院大学 認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 非常勤講師.
- 川本, 福岡県看護実習指導者講習会, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学大学院医学研究科修士課程, 非常勤講師
- 中尾, 久留米大学/認定看護師教育センター, 非常勤講師
- 中尾, 大分県立看護科学大学/看護研究交流センター, 非常勤講師
- 宮園, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師
- 金岡, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師

2. 学協会

- 樗木, 日本時間生物学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, 理事(九州支部理事), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 理事(指名理事, 選任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本内科学会, その他(認定研修指導医), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会誌, 査読委員, 国内.
- 樗木, Annual International IEEE EMBS, 査読委員, 国際.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, Circulation Journal, 査読委員, 国際.
- 樗木, PACE, 査読委員, 国際.
- 樗木, Clinical and Experimental Hypertension, 査読委員, 国際.
- 川本, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護師職能委員会副委員長), 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護職能委員), 国内.
- 川本, 日本手術看護学会誌, その他(査読委員), 国内.
- 川本, 日本看護科学学会雑誌, その他(査読委員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議委員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.

3. 官界

- 樗木, 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員, 日本学術振興会.
- 川本, 北九州市情報公開審査会委員.
- 川本, 大学評価委員会大学評価分科会委員, 大学基準協会.
- 川本, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.
- 中尾, 福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議, 委員長.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木, 福岡県医療審議会委員.
- 樗木, 「福岡県立女子大学改革検討委員会委員」
- 樗木, 福岡県立福岡女子大学の抜本改革に向けた食・健康コース部会委員
- 樗木, 福岡市公務災害補償等認定委員会・委員
- 樗木, 学校心臓検診心電図判読委員
- 樗木, 福岡県医師会男女共同参画部会委員

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「不整脈薬物治療のコツと注意点」, 田川クリニカルカンファレンスセミナー. 田川メディカルセンター, セミナー・研修会.
- 樗木, 「すぐに役立つ心電図と不整脈のお話」, 八幡内科医会. 千草ホテル, セミナー・研修会.
- 樗木, 「第 11 回健康長寿塾, 本音の話シリーズ「健やかに老いるために不整脈と脳梗塞」」, NPO法人九州医療システム研究機構. 九州大学医学部百年講堂, セミナー・研修会.
- 樗木, 「平成 22 年度「大学・研究機構のための男女共同参画推進研修」-九州大学の女性医療人-」, 独立行政法人国立女性教育会館. 独立行政法人国立女性教育会館内, セミナー・研修会.
- 樗木, 「第 6 回九州 11 大学循環器フォーラム「女性医師の離職リスク回避するために」」, 九州 11 大学循環器フォーラム. ホテルニューオータニ博多, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「福岡虹の会例会において, 「九州大学における男女共同参画への取り組みについて現状と今後の課題など」の講演を行なった。」, 福岡虹の会. 福岡国際ホール, セミナー・研修会.
- 樗木, 「シンポジウム「グローバル化した保健と医療」にて, 「循環器病の予防-生活習慣病を中心に」の講演を行なった。」, 国連大学, 九州大学, (公財)国連大学協力会. 九州大学医学部百年講堂, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「筑豊ブロック地域保健師研究協議会にて「循環器疾患の保健指導について」の講演を行なった。」, 桂川町役場健康福祉課. 桂川町総合福祉センター, セミナー・研修会.
- 樗木, 「不整脈薬物治療のコツと注意点 Part2」, 田川クリニカルカンファレンスセミナー. 田川メディカルセンター, セミナー・研修会.
- 樗木, 「特定健診等に関する在宅保健師等研修事業にて「もっと知りたい高血圧の予防」の講演を行なった。」, 福岡県国民健康保険団体連合会. 博多サンヒルズホテル, セミナー・研修会.
- 樗木, 「九州地区第七回 ICD.CRT-D 勉強会にて「循環器の予防-生活習慣病を中心に」の講演を行なった。」, 日本 ICD の会. 八重洲博多ビル, セミナー・研修会.
- 樗木, 「第 29 回教育研修管理者 継続研修会にて「すぐに役立つ不整脈のお話」」, 福岡県医薬品卸業協会・日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部. 株式会社アトル本社, セミナー・研修会.
- 樗木, 「2010 年度日本心臓ペースメーカー友の会福岡県支部総会にてQ&A」, 日本心臓ペースメーカー友の会福岡県支部. 福岡都ホテル, セミナー・研修会.
- 樗木, 「第 4 回ヘルシーエイジングにて「はらはら, どきどきの不整脈」」, 就業の安全と健康を考える会. エルガーホール, 公開講座.
- 樗木, 「すぐに役立つ不整脈のお話」, 福岡地区勤務薬剤師会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「女性医療人きらめきプロジェクトから見えてきたもの」, 第 1 回岡山 MUSCAT フォーラム. 岡山市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「第 1 回九州大学病院きらめきプロジェクト講演会「女性医療人支援のこれまでとこれから」」, 九州大学病院きらめきプロジェクト. 九州大学医学部, 講演会・公開討論.
- 中尾, 「看護倫理」, 済生会福岡総合病院. 福岡市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「ケースで学ぶ看護倫理」, 広島県看護協会. 広島市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護現場に求められる倫理 -現場管理者として倫理的問題への対応-」, 島根県看護協会. 松江市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理」, 九大病院看護部. 福岡市, セミナー・研修会.

- 中尾(富), 「自分でわかるがん検診」, 九州大学医学部保健学科公開講座
- 中尾(富), 「緩和ケア論 I」, 大分大学大学院, セミナー・研修会
- 中尾(富), 「看護実践能力 II / 「がん治療に伴うリンパ浮腫患者への看護」」, 山口県看護協会, セミナー・研修会
- 中尾(富), 「リンパマッサージ」, がん看護に関わる看護師の育成研修/在宅ケア, 主催: 福岡県, 研修施設: 九州大学, セミナー・研修会
- 中尾(富), 「がん看護に関わる看護師の育成研修/家族看護」, 主催: 福岡県, 研修施設: 九州大学病院, セミナー・研修会
- 中尾(富), 「がん治療に伴う続発性リンパ浮腫発症の病態と複合的理学療法のかえ方に基づいた看護の基本」, 「がん看護緩和ケア」コース, 社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院主催, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

看護学分野

《発達看護》

教授	加来恒壽
教授	平田伸子
准教授	新小田春美
准教授	濱田裕子
准教授	木下義晶
講師	野口ゆかり
助教	仲道由紀
助教	藤田紋佳
助教	末次美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

加来恒壽		
病態情報解析学Ⅰ(分担)		前期
病態情報解析学Ⅱ(分担)		前期
先端医療論(がん病態・治療論)(分担)		前期
平田伸子		
発達看護学特論Ⅲ(分担)		後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)		後期
母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
発達看護学特論Ⅲ(分担)		後期
発達看護学特論Ⅱ(分担)		後期
リプロダクティブヘルス看護論(分担)		後期
新小田春美		
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期
発達看護学特論Ⅲ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
濱田裕子		
小児家族看護学		後期
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期
発達看護学特論Ⅲ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
感性コミュニケーション概論(分担)		前期
木下義晶		
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期
先端医療論(がん病態・治療論)(分担)		前期
野口ゆかり		
発達看護学特論Ⅱ(分担)		後期

仲道由紀	発達看護学特論Ⅱ(分担)	後期
藤田紋佳	発達看護学特論Ⅰ(分担)	前期
末次美子	発達看護学特論Ⅲ(分担)	通年

2. 大学院実験・実習

加来恒壽	保健学特別研究(分担)	通年
	健康支援システム論Ⅱ	通年
平田伸子	看護学特別研究(分担)	通年
	保健学特別研究(分担)	通年

3. 大学院演習

加来恒壽	病態情報解析学Ⅱ(分担)	前期
平田伸子	発達看護学特論Ⅲ(分担)	後期
	発達看護学特論Ⅱ(分担)	後期
	リプロダクティブヘルス看護論(分担)	後期
新小田春美	発達看護論特論Ⅲ(分担)	前期
	発達看護学特論Ⅰ(分担)	前期
	母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
濱田裕子	インターンシップ(分担)	通年
	ユーザー感性学 PTL(2)	前期
	小児・家族コミュニケーション演習	後期
	ユーザー感性学 PTL(5)	後期
	発達看護学特論Ⅲ(分担)	前期
	母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)	後期
木下義晶	発達看護学特論Ⅰ(分担)	前期

4. 大学院修士課程修了者

村上由紀	働く女性の月経時の健康問題と苦痛の緩和に関する健康支援方法の開発
北菌愛	沐浴が早期新生児期の体温, 心拍数, 経皮的酸素飽和度, 意識状態に与える影響
内田芳子	病気や障害を抱えた子どもと家族の QOL の向上について
柴田和子	病院で「育ちゆく」子どもと家族, 医療者, 地域社会のよりよいコミュニケーションの創出

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

加来恒壽

助産疾病論(分担)	前期
臨床医学論 I (分担)	後期
母性看護学Ⅱ(分担)	後期
泌尿器・生殖器(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期

平田伸子

助産学概論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
地域母子保健(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
思春期保健論(分担)	後期
助産管理(分担)	後期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
女性学・男性学(分担)	前期

新小田春美

母性看護学演習(分担)	後期
母性看護学 I (分担)	前期
母性看護学Ⅱ(分担)	後期
基礎助産学(分担)	前期
母性疾病論(分担)	前期

濱田裕子

小児看護学概論	後期
小児看護援助論(分担)	前期

木下義晶

小児疾病論I	前期
小児疾病論Ⅱ	前期
医学総論I(分担)	前期
医学総論Ⅱ(分担)	前期

野口ゆかり

助産診断技術学演習(分担)	前期
周産期健康教育演習(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
医療法律学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期

仲道由紀

基礎助産学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期

コアセミナー(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
藤田紋佳	
小児看護援助論(分担)	前期
末次美子	
母性看護援助論(分担)	後期
母性看護学Ⅰ(分担)	前期
母性看護学Ⅱ(分担)	後期
基礎助産学(分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

加来恒壽	
母性看護学実習(ベッドサイドディーニング)	通年
卒業研究(分担)	通年
平田伸子	
助産学実習(分担)	後期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
新小田春美	
母性看護学実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
母性看護援助論(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
濱田裕子	
小児看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
木下義晶	
小児看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
野口ゆかり	
助産学実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
助産診断・技術学演習(分担)	前期
周産期健康教育演習(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期

仲道由紀		
	卒業研究(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
	助産学実習(分担)	前期
	周産期健康教育演習(分担)	前期
	助産診断・技術学演習(分担)	前期
藤田紋佳		
	小児看護学実習(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
末次美子		
	卒業研究(分担)	通年
	母性看護学実習(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
	母性看護援助論(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

平野陽子	出産体験「楽しい」を生み出す助産ケア
安永朱里	「主体的な出産」の概念と意義の検討
後藤や枝	NICUにおける長期入院児の成長発達を促すケア
松尾大地	在宅療養児の家族の負担と訪問看護師の役割
森崎初美	ターミナル期となった子どもの両親に対するケア 一子どもの看取りの場に着眼して一
井出尾仁美	家族関係が10代での妊娠に及ぼす影響について一両親が及ぼす影響に着目して一
酒匂希望	性同一性障害(Gender Identity Disorder:GID)当事者の抱える問題についての検討
二田彩香	流産・死産における母親の悲嘆過程に対する影響因子と望ましい援助の検討
平池奈々	上の子の立会分娩に必要な援助について一家族とともに生・性を学ぶ体験として一
中島章恵	男性の親性の発達を促すケア 一第1子妊娠期における夫婦関係から考える男性への支援一
田中温子	低出生体重児をもつ母親の育児不安軽減に向けた支援の検討
中牟田愛子	小児がんの病気説明に対する子どもと親の思いの相違
松本亜弥	小児がん患児の心理状態と心理状態を変化させる要因
大坪未歩	行動制限のある子どもへの遊びの援助の現状
白川和義	小児科に勤務する看護師の患児の死の捉え方
伊野絵里香	妊娠期から産後1年までの母親の抑うつ状態とその影響要因
遠藤愛奈	胎児異常を指摘された妊婦の心理過程と影響因子
江田麻衣	低出生体重児をもつ母親の思いとそれに対する支援について
橋本菜津美	子宮内胎児志望を経験した母親が直面する課題とその影響因子

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

野口	顧問および思春期ピアカウンセラー認定養成者(日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定)として, 思春期ピアカウンセリング技術指導および, 相談支援をサポート, 九州大学ピアカウンセリング・ピアエデュケーションサークル
新小田	思春期ピアカウンセラー認定養成者研修の企画・実施, 思春期ピアカウンセリング技術指導および, 相談支援, 九州大学ピアカウンセリング・ピアエデュケーションサークル

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
2	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
3	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
4	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来
5	ジェンダー分析による働く女性の周経期症候群とその健康支援	平田
6	産科医療機関における周産期からの子ども虐待予防～Maternal Caregiving に焦点を当てた看護職教育プログラムの構築～	平田
7	地域における妊娠から育児期における母子保健対策の強化と連携に関する調査研究-看護職の再教育プログラムを含めて-	平田
8	新生児の睡眠・覚醒リズムの個人発達と母子交流に関する継続研究	新小田
9	女性のライフステージにおける健康支援の研究	新小田
10	夜型社会における子どもの睡眠リズムと心身発達の前方視的研究と介入法	新小田
11	「難病の子ども居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-」	濱田
12	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下
13	小児固形悪性腫瘍における Glypican3 の発現の検討, 新規腫瘍マーカーとしての有用性の検討	木下
14	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下
15	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究「医療現場と教育との連携によるE-ラーニング教材コンテンツの活用と取り組み」	野口
16	周産期のメンタルヘルスに関する研究	野口
17	超音波検査室における最適な照明環境の研究	野口
18	「祖父母となること」の発達に関する研究	仲道
19	三世代家族における次世代育成支援に関する研究	仲道
20	助産師による超音波診断装置の適切な活用に関する研究	仲道
21	小児がんの子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
22	難病のこどもの居場所に関する研究	藤田
23	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
24	女性の母親役割獲得過程に関する研究	末次
25	母子相互作用に関する研究	末次

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

新小田春美

- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究(代表)
- 「基盤研究(C)」摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き介入研究(分担)

濱田裕子

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー(代表)
- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究(分担)

木下義晶

- 「基盤研究(C)」小児固形悪性腫瘍におけるGLYPICAN3をターゲットとした分子標的治療(代表)

仲道由紀

- 「若手研究(B)」養育期の家族における家族機能と祖父母の心理的発達に関する縦断研究(代表)

藤田紋佳

- 「若手研究(B)」外来化学療法を受ける子どもと家族のヘルスプロモーションを促す看護援助に関する研究(代表)
- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究(分担)
- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー(分担)

末次 美子

- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる幼稚園の生活リズム安定と心身の健康を導く研究(分担)
- 「若手研究(B)」低出生体重児と母親の関係性発達支援プログラムの開発(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

濱田裕子

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)」「感性場」の統合理論の構築とフィールド実証のための研究拠点形成(分担)

藤田紋佳

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」早産児の親への育児支援方法の検討(代表)

4. 奨学寄附金の受入れ なし
5. その他の外部研究資金の受入れ

加来恒壽

- 「臨床病態医学研究所 地域医療における細胞診断の意義」

木下義晶

- 「厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区) 創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験」
- 「臨床医学研究賞助成金 新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」
- 「がんのこどもを守る会助成金 新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」

野口ゆかり

- 「ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル 超音波検査室における最適な照明環境の研究」

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Ohishi Y, Oda Y, Kurihara S, Kaku T, Kobayashi H, Wake N, Tsuneyoshi M. : Nuclear localization of E-cadherin but not beta-catenin in human ovarian granulosa cell tumours and normal ovarian follicles and ovarian stroma. , Histopathology, 2011年02月.
- 萩原 聖子, 加来 恒壽, 小林 裕明, 和氣 徳夫: 子宮頸部原発 signet-ring cell carcinoma の1例, 日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2010年04月.
- Teshiba R, Masumoto K, Esumi G, Nagata K, Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, Yamamoto K: Identification of TCTE3 as a gene responsible for congenital diaphragmatic hernia using high-resolution single-nucleotide polymorphism array,, Pediatr Surg Int , 2011年02月.
- Takahashi Y, Tajiri T, Masumoto K, Kinoshita Y, Ieiri S, Matsuura T, Higashi M, Taguchi T: Umbilical crease incision for duodenal atresia achieves excellent cosmetic results, Pediatr Surg Int , 2010年10月.
- Esumi G, Masumoto K, Teshiba R, Nagata K, Kinoshita Y, Yamaza H, Nonaka K, Taguchi T: Effect of insulin-like growth factors on lung development in an nitrofen-induced CDH rat model., Pediatr Surg Int , 2011年02月.
- Souzaki R, Tajiri T, Teshiba R, Higashi M, Kinoshita Y, Tanaka S, Taguchi T: The genetic and clinical significance of MYCN gain as detected by FISH in neuroblastoma., Pediatr Surg Int, 2011年03月.
- Souzaki R, Tajiri T, Souzaki M, Kinoshita Y, Tanaka S, Kohashi K, Oda Y, Katano M, Taguchi T: Hedgehog signaling pathway in neuroblastoma differentiation, J Pediatr Surg , 2010年12月.
- 永田真理子, 仲道由紀, 野口ゆかり, 平田伸子: 産後1ヵ月時・4ヵ月時点の母親の育児ストレスコーピング方略 -育児生活肯定的感情に焦点をあてて-, 母性衛生, 2011年01月.

- 藤田紋佳, 濱田裕子: 小児看護学実習に活かす技術演習教材作成の試み, 九州小児看護教育研究会誌, 2011年02月.
- b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
- Kinoshita Y, Tanaka S, Kohashi K, Tajiri T, Souzaki R, Yoshinao Oda, Baba H, Fukushima S, Nishimura Y, Taguchi T: Clinical implications of serum Glypican 3 level as the novel tumor marker in pediatric malignant solid tumors, 43rd Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2010年05月26日, Japan.
 - Kinoshita Y, Tanaka S, Kohashi K, Tajiri T, Souzaki R, Oda Y, Baba H, Fukushima S, Nishimura Y, Taguchi T: Clinical implications of serum Glypican 3 level as the novel tumor marker in pediatric malignant solid tumors, XXIII International Symposium on Paediatric Surgical Research, 2010年09月14日, Japan.
 - Kinoshita Y, Tanaka S, Kohashi K, Tajiri T, Souzaki R, Yoshinao Oda, Baba H, Fukushima S, Nishimura Y, Taguchi T: Clinical significance of serum Glypican 3 level as the novel tumor marker in pediatric malignant solid tumors, SIOP 2010, 2010年10月23日, United States of America.
 - Yuko Hamada: OutLine of Fukuoka Kodomo Hospice Project, 3rd International Regions Benchmarking Consortium (IRBC), 2010年07月07日, Kyushu University.
- c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d. 調査研究報告
- 平田伸子, 松原まなみ, 福岡県助産師会理事会: 豊かな出産支援事業報告書(独立行政法人福祉医療機構助成金事業), 福岡県助産師会, 2010年04月.
 - 平田伸子, 仲道由紀, 野口ゆかり, 平田瑛子: 産科医療機関における周産期からの子ども虐待予防 -Maternal Caregiving に焦点を当てた看護職教育プログラムの構築-, 木村看護教育振興財団, 2010年11月.
 - 平田伸子, 松崎佳子, 鈴宮寛子, 野口ゆかり, 仲道由紀, 福嶋恒太郎: 地域における妊娠から育児期における母子保健対策の強化と連携に関する調査研究-看護職の再教育プログラムを含めて-, 財団法人 こども未来財団, 2011年03月.
 - ①平田伸子, 野口ゆかり, 仲道由紀②川本利恵子, 鳩野洋子, 原田博子, 野口ゆかり, 宮園真美③野口ゆかり, 川本利恵子, 鳩野洋子, 原田博子, 宮園真美, 日置一仁: 平成20年度, 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育, 取組成果報告書①「看護職による超音波断層装置の適切な活用」②「看護学教育についてのアンケート調査の分析」③「助産師アンケート調査」, 2011年03月.
 - 新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 内村直尚, 末次美子, 加来恒壽, 樗木晶子, 西岡和男, 浅見恵梨子, 松本一弥平成21年度厚生科研 こころの健康科学事業報告書 1-149
 - 新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 内村直尚, 末次美子, 加来恒壽, 樗木晶子, 西岡和男, 浅見恵梨子, 松本一弥平成19~21年度厚生科研 こころの健康科学事業総合研究報告書 1-328
 - 新小田春美, 末次美子, 加来恒壽: 乳幼児の睡眠・生活リズムと心身発達に関する育児支援実践活動に向けた電子教材の開発, 医療現場との情報双方向性をもつ保健学教育取組成果報告書, 2011年03月.
 - 吉田敬子, 神庭重信 他(分担) 野口ゆかり: 平成22年度, 文部科学省プロジェクト事業, 「大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実」研究実績報告書, 子どもと家族の双方に向けた心の問題の総合的な診断・治療システムの開発「周産期メンタルヘルス研究会議に参加して」2011年03月.
 - 福嶋恒太郎, 上岡陽亮, 上野恭子, 月森清己, 中野仁雄, 仲道由紀, 山下春江, 和氣徳夫: 北部九州における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究(厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業 主任研究者 東北大学名誉教授 岡村州博) 平成22年度分担研究報告書, 2011年03月.

- 藤田 紋佳: 平成 23 年度看護実践力ブロッサム開花プロジェクト報告書(人事交流における報告), 2011 年 03 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 平田伸子: ジェンダーの視点から見た性感染症, 国連大学・九州大学共催国際シンポジウム, 2010 年 07 月 29 日, 九州大学医学部百年講堂.
- 矢幡秀昭, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川 馨, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: TC 療法不応あるいは早期再発の子宮体癌に対するゲムシタビン+ドセタキセル療法の使用経験, 第 48 回日本婦人科腫瘍学会, 2010 年 07 月 09 日, 筑波.
- 兼城英輔, 小林裕明, 井上貴史, 奥川 馨, 矢幡秀昭, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫: 放射線療法が著効し, 長期生存が得られている, 子宮平滑筋肉腫の一例, 第 48 回日本婦人科腫瘍学会, 2010 年 07 月 08 日, 筑波.
- 仲正喜, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小田義直, 杉島節夫: 細胞検査士の学位取得-保健学修士を取得して-, 第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2010 年 11 月 22 日, 神戸.
- 河内しのぶ, 濱田裕子: 小児がんで子どもを亡くした家族の語りを聞いての学生の体験, 第 20 回日本小児看護学会, 2010 年 06 月 26 日, 神戸.
- 柴田和子, 内田芳子, 阿部祥子, 濱田裕子, 京極新治: 子どもホスピスを考える取り組み-公開講座でのアンケートを中心に-, 第 57 回日本小児保健学会, 2010 年 09 月 18 日, 新潟.
- 藤田紋佳, 濱田裕子: 小児看護学実習に活かす技術演習教材作成の試み, 第11回九州小児看護教育研究会, 2010 年 08 月 23 日, 宮崎.
- 木下義晶, 江角元史郎, 手柴理沙, 永田公二, 田口智章: 当科における心疾患を合併した新生児外科疾患の治療成績, 第 110 回日本外科学会, 2010 年 04 月 08 日, 名古屋.
- 木下義晶, 江角元史郎, 手柴理沙, 永田公二, 増本幸二, 田口智章: 腹壁破裂の治療における一次的根治術と二期的根治術の検討, 第 47 回日本小児外科学会, 2010 年 06 月 18 日, 名古屋.
- 木下義晶, 田中桜, 田尻達郎, 宗崎良太, 孝橋賢一, 小田義直, 馬場秀夫, 福島智, 西村泰治, 田口智章: 小児固形悪性腫瘍における新規腫瘍マーカーとしての Glypican3 の有用性, 第 47 回日本小児外科学会, 2010 年 06 月 17 日, 名古屋.
- 木下義晶, 宗崎良太, 永田公二, 林田真, 田尻達郎, 堤康, 古賀友紀, 住江愛子, 孝橋賢一, 小田義直, 中西浩一, 原寿郎, 田口智章: 両側腎摘出術を施行した Denys-Drash 症候群(DDS)の 2 例, 第 19 回日本小児泌尿器科学会, 2010 年 07 月 01 日, 札幌.
- 木下義晶, 手柴理沙, 江角元史郎, 永田公二, 田口智章: 新生児外科疾患の治療方針における医療と倫理の問題の検討, 第 46 回日本周産期・新生児医学会, 2010 年 07 月 12 日, 神戸.
- 木下義晶: アンケート集計結果報告, 第 40 回九州小児外科研究会, 2010 年 08 月 28 日, 福岡.
- 木下義晶, 矢加部茂, 有馬透, 財前善雄, 松尾進, 住友健三, 飯田則利, 生野猛, 村守克己, 山田耕治, 野口伸一, 上村哲郎, 生野久美子, 増本幸二, 田口智章: 小児外科疾患に対するプレパレーションの実施に関する調査 九州大学小児外科関連病院におけるアンケート調査より, 第 21 回 日本小児外科 QOL 研究会, 2010 年 10 月 02 日, 金沢.
- 木下義晶, 江角元史郎, 手柴理沙, 永田公二, 田口智章: 超低出生体重児の消化管穿孔に対する当科の治療戦略, 第 72 回日本臨床外科学会総会, 2010 年 11 月 21 日
place
- 木下義晶, 田尻達郎, 宗崎良太, 代居良太, 馬庭淳之介, 孝橋賢一, 小田義直, 田口智章: 小児腎腫瘍の新病理分類に基づく当科教室例の臨床的検討, 第 26 回日本小児がん学会学術集会, 2010 年 12 月 17 日, 大阪.

- 木下義晶, 手柴理沙, 江角元史郎, 宗崎良太, 永田公二, 田尻達郎, 藤田恭之, 福嶋恒太郎, 和氣徳夫, 田口智章: 出生前診断された巨大仙尾部奇形腫の検討と今後の治療戦略, 第8回日本胎児治療学会, 2010年11月12日, 埼玉.
- 木下義晶, 江角元史郎, 手柴理沙, 永田公二, 増本幸二, 田口智章: 当科における新生児外科疾患の周術期麻酔に関する検討, 第29回周産期学シンポジウム, 2011年01月15日, 佐賀.
- 木下義晶, 田尻達郎, 代居良太, 宗崎良太, 林田真, 松浦俊治, 古賀友紀, 住江愛子, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: 生体肝移植を行った肝芽腫の3例, 第40回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会, 2011年02月19日, 福岡.
- 野口 ゆかり, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 外園栄作, 小宮陽子, 中村邦夫, 樗木晶子: 超音波検査時の照度に与える室内照明調光の状況調査, 第35回日本超音波検査学会, 2010年05月08日, 大阪.
- 田代洋行, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 野口 ゆかり, 外園栄作, 小宮陽子, 樗木晶子, 中村邦夫: 超音波検査室の照明設置位置・照度によるCRTモニターの輝度比に与える影響, 第83回日本超音波医学会, 2010年05月30日, 京都.
- 野口 ゆかり, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 外園栄作, 小宮陽子, 中村邦夫, 樗木晶子: 超音波検査室の検査者・被検者各位置の照度に影響する室内照明環境状況調査, 第83回日本超音波医学会, 2010年05月30日, 京都.
- 川本 利恵子, 野口 ゆかり, 宮園 真美, 末次 典恵: 「医療現場と教育との連携によるEラーニング教材コンテンツの活用と取り組み」, 分担, 助産学領域 継続的自己学習強化支援コンテンツ担当「Evidence based medicine(EBM)に基づいた基礎教育内容と臨床技術を連動したEラーニング教材作成への取り組み」, 日本看護学教育学会 第20回 学術集会, 2010年07月31日, 京都.
- 上野恭子, 仲道由紀, 福嶋恒太郎, 上岡陽亮: 福岡県における助産外来取り組みの現状と課題(第1報)ー有床産科施設への実態調査からみえたものー, 第51回日本母性衛生学会学術集会, 2010年11月06日, 石川.
- 仲道由紀, 上野恭子: 福岡県における助産外来取り組みの現状と課題(第2報)ー助産師の超音波断層装置活用に対する認識ー, 第51回日本母性衛生学会学術集会, 2010年11月06日, 石川.
- 藤田紋佳, 末次美子, 仲道由紀: NCAFSを用いた授乳場面における早産児-看護師の相互作用の検討, 乳幼児保健学会 第4回学術集会, 2010年10月30日, 札幌.
- 請島美紀, 河口麻美, 藤田紋佳, 松尾智江, 小山直美, 稲光まゆみ, 稲光毅: 保護者へのヘルスエンパワーメントを高める支援-乳幼児健診における安全チェックリストを通して-, 日本外来小児科学会 第20回年次集会, 2010年08月29日, 福岡.
- 末次 美子: 乳児の睡眠・生活習慣と情緒行動評価, 日本赤ちゃん学会 第10回学術集会, 2010年06月12日, 東京.

f. **学会以外での講演, 発表** なし

著作

a. **単行本**

- 平田伸子, 岩崎和代, 及川裕子, 大澤豊子, 小笹由香, 加藤章子, 熊澤美奈好, 斉藤益子, 佐藤喜美子, 関島英子, 檜原洋子, 野々山未希子, 濱岸真由美, 藤本薫, 松永佳子, 三島みどり, 宮崎文子, 山崎圭子, 渡邊知佳子: (共著) 助産師国家試験予想問題 2010, 2010年07月, クオリティケア
- 新小田春美: Nursing Graphicus30, 母性看護学ー母性看護実践の基本, 第5章妊娠・出産に伴う健康課題と看護, メディカ出版, 横尾 京子編 290-317, 大阪(2010)

b. **総説**

- 田口智章, 高橋由紀子, 田尻達郎, 木下義晶, 永田公二, 増本幸二: 臍部弧状切開法と右上腹部横切開法による十二指腸閉鎖症手術の比較, 小児外科, 2010年05月.

- 田口智章, 田尻達郎, 木下義晶: 卵巣捻転, 小児内科, 2010年06月.
- Koichi Harada, Asako Hasegawa, Chan-Nian Wei, Keiko Minamoto, Yukari Noguchi, Kunio Hara, Osamu Matsushita, Kosuke Noda, and Atsushi Ueda: A Review of Indoor Air Pollution and Health Problems from the viewpoint of Environmental Hygiene: Focusing on the Studies of Indoor Air Environment in Japan Compared to Those of Foreign Countries, Journal of Health Science,56(5)488-501, 2010年10月.

c. 解説, 書評など

- 加来恒壽, 大石善丈, 渡邊壽美子, 小川伸二, 兼城英輔, 奥川 馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 小林裕明: 特集 卵巣がんに対する最新のトピックス「粘液性腫瘍の病理と臨床」, 産婦人科実際 59 卷 10 号, 2010年10月.
- 萩原聖子, 加来恒壽 : 病気のはなし 子宮の肉腫, 検査と技術第 38 卷 12 号, 2010年11月.
- 加来恒壽, 新小田春美, 末次美子, 渡邊壽美子: 子宮体癌, 薬局 増刊号 62(4), 2011年03月.

受賞 なし 報道

- 加来, KBC テレビ「とっても健康ランド」, 「第 546 回子宮頸がん」, 2010年05月.
- 加来, KBC ラジオ土曜の朝は玲子におまかせ, 「とっても健康ランド「子宮頸がん」」, 2010年05月.
- 加来, Healthy Ring, 「特集 ワクチンで予防できる唯一のがん 子宮頸がん」, 2010年09月.
- 加来, 朝日新聞夕刊, 「ワクチンと検診で防げるがん 子宮頸がん」, 2010年11月.
- 平田, 朝日新聞, 「望まない妊娠の現状と男女の意識に対する意見」, 2010年10月.
- 新小田, RKB 毎日放送, 「RKB 毎日放送「今日感テレビ」RKB モグリエ 睡眠 もぐって眠るのは?」, 2010年12月.
- 濱田, 読売新聞, 「子どもホスピスをつくろう「九大院生らチーム結成」7月25日「子どもホスピス」フォーラム開催にあたって, 子どもホスピスプロジェクトについての紹介」, 2010年07月.
- 濱田, 西日本新聞, 「子どもホスピスを訪ねて 上 「預かりは虹色の部屋で」9月に視察した英国とドイツの子どもホスピスの内容から, その概要と重い病気の子どものもつ親のレスパイトケアとしての機能について紹介した。」, 2010年10月.
- 濱田, 西日本新聞, 「子どもホスピスを訪ねて 下 「ゆっくり別れを受け入れる」9月に視察した英国とドイツの子どもホスピスの内容から, 子どもホスピスについて寄稿した。特に, 青年のためのホスピスや看取りのケア, グリーフケアについて紹介した。」, 2010年11月.
- 濱田, 朝日新聞, 「子どもホスピスをつくろう「親も子ども普通に生活 支援へ」3月13日開催の第2回「福岡子どもホスピス」フォーラム開催にあたって, プロジェクトを紹介」, 2011年03月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 木下, 創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験, 厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区), 2009年09月~2011年09月.
- 木下, 新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立, がんのこどもを守る会助成金, 2010年05月~2011年05月.
- 野口, 超音波検査室における最適な照明環境の研究, ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル, 2007年01月~2012年03月.

2. 受託研究

- 加来, 地域医療における細胞診断の意義, 臨床病態医学研究所, 2007年01月~2013年04月.

3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 濱田, Friedensdorf International(Germany) & Helen&Douglas house(UK), その他, 2010年09月～2010年09月(2週間未満),
- 木下, National Children's Research Centre & Our Ladie's Hospital(Ireland), 客員教授, 2011年03月～2011年03月(2週間未満),
- 野口, King's College London/ University of London(United Kingdom), 大学・研究所訪問, 2011年01月～2011年01月(2週間未満)
- 藤田, UCLA Medical center(United States of America), その他, 2010年09月～2010年09月(2週間未満),

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 加来, 教育研究評議会委員.
- 加来, 入学試験審議会委員.
- 新小田, 臨床研究センター業務支援(プロトコール審査委員).

2. 部局委員

- 加来, 医学研究院情報公開委員会委員.
- 加来, 医学研究院教員業績評価専門部会委員.
- 加来, 九州大学医の倫理に関する協議会委員.
- 平田, 医学研究院 ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査専門委員会.
- 新小田, 社会人入試 出題委員.
- 新小田, 馬出地区安全・衛生委員会.
- 新小田, 広報委員会委員.
- 新小田, 公開講座委員.
- 濱田, 統合新領域学府入試委員会(WG).
- 濱田, 臨床研究倫理審査委員会委員.
- 野口, カリキュラム WG.
- 野口, 第5回保健学科国際フォーラム 地域・国際連携推進委員会協力担当者

3. 部門・コース内委員

- 平田, 総務委員.
- 平田, 地域・国際連携推進委員長.
- 平田, 大学院委員.
- 平田, 学生委員.
- 濱田, 実習委員会副委員長.
- 仲道, 看護学分野FD委員.
- 藤田, 施設環境委員会看護学分野ワーキンググループ.
- 末次, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 運営実行委員.
- 末次, 看護学分野卒業研究委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 加来, 佐賀大学医学部看護学科, 非常勤講師.
- 濱田, 西南学院大学 人間科学部, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 福岡県看護協会教育研修会(看護研究), 非常勤講師.
- 木下, 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 仲道, 香欄女子短期大学・ライフプランニング総合学科, 非常勤講師.
- 藤田, 福岡医療福祉大学, 非常勤講師.
- 藤田, 西南学院大学, 非常勤講師.
- 末次, UCSF School of Nursing.

2. 学協会

- 加来, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事(編集委員長), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 福岡県支部長, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 理事, 国内.
- 加来, 福岡産科婦人科学会, 評議員, 国内.
- 加来, International Journal of Clinical Oncology, 編集委員, 国際.
- 平田, 日本母子看護学会, 理事及び査読委員, 学術団体.
- 平田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 学術団体.
- 平田, 日本看護科学学会, 査読委員, 学術団体.
- 平田, 日本助産学会, 査読委員, 学術団体.
- 平田, 社団法人福岡県助産師会, 会長, 国内.
- 平田, 公益法人全国助産師教育協議会, 地区理事及び広報委員, 国内.
- 平田, 公益法人全国助産師教育協議会会報, 編集委員長, 国内.
- 新小田, 福岡母性衛生学会, 幹事, 事務局運営 学術・学会誌担当
- 新小田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本看護研究学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 新小田, 公益法人全国助産師教育協議会,九州・沖縄地区理事, 国内.
- 木下, 日本小児がん学会, 学術委員, 国内.
- 木下, 日本小児血液・がん学会, 評議員, 国内.
- 木下, 日本周産期・新生児医学会, 運営委員(学術委員会), 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 評議員, 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 悪性腫瘍委員会委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 査読委員, 国内.
- 濱田, 高知女子大学看護学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 福岡市助産師会, 副会長, 国内.
- 野口, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 理事, 国内.
- 仲道, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 仲道, 福岡県看護協会, 推薦委員, 国内.
- 仲道, 九州大学助産師同窓会, 役員, 国内.
- 藤田, 九州大学助産師同窓会, 役員, 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.

3. 官界

- 平田,「福岡県社会福祉審議会・専門部会(児童虐待等死亡事例検証部会委員),福岡市児童福祉審議会・権利擁護等専門部会・児童虐待死亡事例検証部会委員」,福岡県 福岡市.
- 平田, 社団法人日本助産師会, 評議員, 国内.
- 平田, NPO 法人子ども家庭センター, 理事(副理事長), 国内.
- 新小田, 福岡県看護連盟, 地区役員(施設代表), 国内.
- 新小田, 社団法人福岡県助産師会, 地区理事, 国内.
- 新小田, 福岡県小児保健研究会委員.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 新小田, 平成 22 年度福岡県看護協会 助産師職能研修 助産師臨床実習指導者研修会講師.
- 新小田, 平成 22 年度九州大学病院臨床指導者研修会講師.
- 新小田, 「大牟田市主催 子育てシンポジウムイン おおむた はやねはやおき朝ごはん「眠育」シンポジウムコーディネータ 座長」.
- 木下, 「母親相談教室: 市中の産婦人科などの母子診療施設において定期的に開催している母親相談教室で育児に関する相談と指導を助産師, 栄養士と一緒にしている。」, 市中の産婦人科, (技術相談).
- 野口, 「妊婦体験学習コーナー担当, 赤ちゃん人形抱っこ体験, 育児, 女性よろず相談。」, ハートフルフェスタ福岡実行委員会, 福岡市助産師会, (技術指導).
- 仲道, 平成 22 年度福岡県看護協会 助産師職能研修 「超音波による胎児画像診断技術研修 技術アシスタント担当」, (技術指導).
- 藤田, 「こどもクリニック看護師の研究支援」
- 藤田, 「非常勤看護師(クリニック)」

5. 公開講座・公開講演会

- 加来, 「県南十字市保健衛生医療事務連絡協議会研修会・子宮頸がんを予防するーHPV ワクチンと検診」, 大牟田市役所保健福祉総務課. 大牟田市役所, セミナー・研修会.
- 加来, 「平成 22 年度福岡県細胞検査士養成研修会・腫瘍細胞診(子宮体がん)」, 福岡県集団検診協議会. 福岡県医師会館, セミナー・研修会.
- 加来, 「新時代のがん予防」, 社団法人福岡県助産師会 グラクン・スミスクライン(株). 九州大学, セミナー・研修会.
- 加来, 「平成 22 年度教育研修管理者 継続研修会」, 福岡県医薬品卸業協会・日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部. 株式会社アトル, セミナー・研修会.
- 平田, 「福岡市西区男女共同参画フェスティバル講演「助け合い 共に輝く未来へ」」, 福岡市西区役所区政推進部企画振興課, 福岡市西区男女共同参画をすすめる会. 福岡市西部地域交流センターさいとびあホール, 講演会・公開討論.
- 平田, 「講演: ストップ・ザ・虐待ー高まる助産師への期待, つながる組織ー」, 九州大学助産師同窓会みのり会. ホテルレガロ 福岡, 講演会・公開討論.
- 平田, 「福岡県助産師会研修会講師: SBS(Shaken Baby Syndrome)を防止するために」, 福岡県助産師会. 福岡県助産師会館 子ども虐待防止月間街頭キャンペーン活動(福岡市 西鉄薬院駅周辺にて), セミナー・研修会.
- 平田, 「母子家庭サポーター養成講座: 誤解を吹き飛ばそう! 母性神話, 3 歳児神話」, 福岡県男女共同参画センターあすばる, 公開講座.
- 平田, 「男女共同参画の現状と課題」, うきは市男女共同参画課. うきは市役所, 講演会・公開討論.
- 新小田, 「大牟田市主催 子育てシンポジウムイン おおむた はやねはやおき朝ごはん「眠育」シンポジウム」, 「眠育」シンポジウムコーディネータ 座長
- 濱田, 「子どもと家族を支えるアートプロジェクトー子どもホスピスという可能性ー」, アートミツケア学会. 九州大学, 講演会・公開討論.
- 濱田, 「小児科スタッフのためのスキルアップセミナーープレパレーションー」, ファイザー製薬. 福岡市, セミナー・研修会.
- 野口, 「福岡市助産師会 研修会企画・運営・管理・ニュースレターの作成」, 福岡市助産師会. 福岡市, セミナー・研修会.

- 仲道,「産科超音波診断研修会(企画・運営)」,主催:木村看護教育振興財団助成「助産師による超音波断層装置の適切な利用に関する研究」.浜の町病院,セミナー・研修会.
- 藤田,「小児科のスタッフのためのスキルアップセミナー」,ファイザー製薬.福岡市,セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 新小田,「規範教育」,小竹町立小竹小学校.講演・セミナー等.

看護学分野

《地域・精神看護》

教授	長弘 千恵(平成 22 年 9 月 30 日退職)
教授	鳩野 洋子
准教授	平野(小原) 裕子
講師	藤野 成美
講師	寺岡 佐和
助教	前野 有佳里
助教	木村 一絵(平成 22 年 6 月育児休業より復職)
助教	木原 深雪
助教	重松 由佳子
助教	ベヴァン 宏美(平成 22 年 5 月 31 日退職)

1. 教育活動

1. 大学院講義

長弘 千恵	地域生活ケアシステム論 I	前期
鳩野 洋子	看護研究方法論 II	前期
	地域生活ケアシステム論 I	前期
	地域生活ケアシステム論 II	後期
	ヘルスサイエンス論	前期

2. 大学院実験・実習 なし

鳩野 洋子	保健学特別研究	通年
-------	---------	----

3. 大学院演習 なし

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

長弘 千恵	対象者別地域活動論	前期
	在宅看護概論	前期
	グループ組織化論	前期
鳩野 洋子	地域看護概論	後期
	疫学・保健統計	後期
	地域看護診断論	前期
	健康政策論	後期

藤野 成美	精神疾病論	前期
	精神看護学概論	前期
	地域精神保健学	前期
	精神看護援助論	後期
寺岡 佐和	在宅看護概論(分担)	前期
	産業看護論	後期
	対象者別地域活動論(分担)	前期
	地域看護学概論(分担)	後期
前野 有佳里	保健福祉行政論	前期
	地域看護学総論(分担)	前期
	健康教育論(分担)	前期
	健康政策論(分担)	後期
木村 一絵	産業看護論(分担)	後期
木原 深雪	全学教育科目, 共通コア科目(人間性)(分担)	通年
重松 由佳子	地域看護学概論(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

長弘 千恵	地域看護学実習Ⅰ(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
	在宅看護技術論(3年次生)	前期
	在宅看護技術論(2年次生)	後期
	地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年
鳩野 洋子	地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年
藤野 成美	精神看護学実習	通年
	卒業研究(分担)	通年
寺岡 佐和	地域看護学実習Ⅰ(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
	在宅看護技術論(3年次生)(分担)	前期
	在宅看護技術論(2年次生)(分担)	後期
	地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年

前野 有佳里	地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年
木村 一絵	在宅看護技術論(3年次生)(分担)	前期
	在宅看護技術論(3年次生)(分担)	後期
	地域看護学実習Ⅰ(分担)	通年
	総合実習(分担)	前期
	卒業研究(分担)	通年
重松 由佳子	地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
	卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

田代真菜	ALS患者・介護者への初回面接時の保健師の支援のあり方
松浦彩	退院支援の現状に関する文献検討—病棟看護師の支援内容を中心に—
大久保多恵	在宅における認知症高齢者の介護に関する文献検討—家族介護者の介護負担と介護継続の要因に焦点をあてて—
児玉百代	エンゼルケアの現状に関する文献検討—家族参加に焦点をあてて—
藤本紗世	在宅療養を希望するがん患者の疼痛管理に関する文献検討—医療従事者による介入事例の分析から—
高本未来	在宅療養者の介護者から見た、看護師の存在の意味—通院による高齢の血液透析療養者を例に—
佐々木晴菜	養護教諭の存在が子ども達へ与える影響—看護学生と養護教諭との関わりの振り返りから—
佐藤麻衣子	愛着形成に関する地域支援の検討
江原優子	統合失調症者への効果的な就労支援方法に関する検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	統括保健師の役割・機能に関する研究	鳩野
2	経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士導入に関する研究	平野
3	認知症高齢者のQOLに関する研究	寺岡
4	措置入院における保健師のケア技術に関する研究	前野
5	育児支援に関する研究	木村
6	薬物依存症の回復過程に影響を及ぼす要因	木原
7	司法精神看護学の確立に向けての研究	木原

- | | | |
|----|----------------------|----|
| 8 | 保健活動の場面における保健師の思考の分析 | 重松 |
| 9 | 地域看護学の効果的教授方法の検討 | 重松 |
| 10 | 公衆衛生における協働システムの構築 | 重松 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野洋子

- 「基盤研究(C)」 大学教育を地域貢献にいかす保健師等のコンピテンシー開発に関する研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」 保健師の措置入院における要保護者ケアプログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 保健師のリーダーシップ能力尺度の開発と評価, (代表)
- 「基盤研究(C)」 身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発, (分担)

平野(小原) 裕子

- 「基盤研究(B)」 経済連携協定に基づく外国人看護師の国際労働力移動と受け入れシステム構築に関する研究, (代表)

藤野 成美

- 「基盤研究(C)」 身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発とその評価, (代表)

寺岡佐和

- 「若手研究(B)」 介護保険施設における認知症の三次予防に効果的な園芸療法プログラムの作成方法の研究, (代表)

前野有佳里

- 「基盤研究(C)」 措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発, (代表)
- 「基盤研究(B)」 在日外国人に対する看護の現状と諸外国における状況との比較, (連携)
- 「挑戦的萌芽研究」 植込み型徐細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケア, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)

4. 学内研究経費の受入れ なし

5. 奨学寄附金の受入れ なし

6. その他の外部資金の受入れ

藤野成美

- 「日本精神科看護技術協会 精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究」

7. 受託研究員・研修員の受入れ なし

8. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 長弘千恵, 前野有佳里, 波止千恵, Veban 弘美: 日本の介護保険の現状と課題 介護予防の視点から, Korean Journal Research in Gerontology, 2010年12月. (査読あり)

- 岩木三保, 鳩野洋子: ALS 患者の介護者の介護に対する肯定的認知に関する影響要因, 日本難病看護学会誌, 2011 年 03 月.
- 平澤則子, 飯吉令枝, 鳩野洋子, 小林恵子, 斎藤智子, 野口裕子: 山間豪雪地帯における高齢者の IADL の変化と日常生活行動との関連, 日本地域看護学会誌, , 2011 年 03 月.
- 平野 裕子, 小川玲子, 川口貞親, 大野俊: 2 国間経済連携協定に基づくインドネシア人看護師候補者導入に関する研究: 受け入れ病院に対する調査から, 看護管理, 2010 年 06 月.
- 小川玲子, 平野裕子, 川口貞親, 大野俊: 来日第 1 陣のインドネシア看護師・介護福祉士候補者を受け入れた全国の病院・介護施設に対する追跡調査(第 1 報)―受け入れの現状と課題を中心に―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- 平野裕子, 小川玲子, 川口貞親, 大野俊: 来日第 1 陣のインドネシア看護師・介護福祉士候補者を受け入れた全国の病院・介護施設に対する追跡調査(第 2 報)―候補者及び経済連携協定スキームの評価に関連する要因の分析を中心に―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- 平野裕子, 小川玲子, 川口貞親, 大野俊: 来日第 1 陣のインドネシア看護師・介護福祉士候補者を受け入れた全国の病院・介護施設に対する追跡調査(第 3 報)―受け入れの実態に関する病院・介護施設間の比較を中心に―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- Yuko Ohara-HIRANO, Reiko OGAWA, Shun OHNO: How Do Japan's Hospitals Evaluate the Economic Partnership Agreement Scheme?: A Comparative Survey between Hospitals Accepting the First Batch of Foreign Nurses and Those Accepting the Second Batch, Bulletin of Kyushu University Asia Center Vol.5, 2010 年 07 月.
- 川口貞親, 平野裕子, 小川玲子, 大野俊: 外国人看護師候補者の教育と研修の課題―フィリピン候補者を対象とした国家試験模擬試験調査を通して―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- 平野裕子, 小川玲子, 大野俊: 2 国間経済連携協定に基づいて来日するインドネシア人及びフィリピン人看護師候補者に対する比較調査―社会経済的属性と来日動機に関する配布票調査結果を中心に―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- 安立清史, 大野俊, 平野裕子, 小川玲子, クレアシタ: 来日インドネシア人, フィリピン人介護福祉士候補者の実像, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- Setyowati, Herni SUSANTI, Krisna YETTI, Yuko Ohara-HIRANO, Yoshichika KAWAGUCHI: The Experiences of Indonesia Nurses in Japan Who Face the Job and Cultural Stress in Their Work: A Qualitative Study, Bulletin of Kyushu University Asia Center Vol.5, 2010 年 07 月.
- 川口貞親, 平野裕子, 大野俊: 日本の全国病院における外国人看護師受け入れに関する調査(第 3 報)―地域別差異の検討―, 九州大学アジア総合政策センター紀要, 2010 年 07 月.
- 藤野成美, 脇崎裕子: 精神科病院に長期入院中である統合失調症患者が捉える老いの認識と自己の将来像, 日本精神保健看護学会誌, 2010 年 06 月.
- 立野淳子, 藤野成美, 山勢博彰: 遺族の身体的, 心理・社会的反応に関する研究の動向および今後の課題, 日本クリティカルケア看護学会誌, 2010 年 06 月.
- 原田春美, 小西美智子, 寺岡佐和, 浦光博: 支援枠組みにおいて専門職が用いる人間関係形成方法とそのプロセス―保健師による地域の仕組みづくりに焦点をあてて―, 実験社会心理学研究, 2011 年 02 月.
- 原田春美, 小西美智子, 寺岡佐和: 子育て不安の実態と保健師の支援の課題, 人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌, 2011 年 03 月.

- 前野有佳里, 橋口暢子, 松本和博, 都留理恵子, 栃原裕: 家庭用ミストサウナの使用に関する実態調査, 人間と生活環境, 2010年05月.
- 宮園 真美, 前野 有佳里, 橋口 暢子, 川本利恵子, 中尾久子, 中尾富士子, 木下由美子, 金岡麻希, 樗木晶子, 栃原裕: 頸部下ドーム型サウナ使用時の生理・心理反応, 人間と生活環境, 2010年05月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Miho Iwaki, Yoko Hatono: The factors related to positive perception in family caregivers for the ALS patients, 第14th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2011年02月12日, Korea.
- Yukari M, Chie N, Hiroe H: Investigation concerning the lifestyle of the general population in south China, Towards Age-Friendly Communities: Fukuoka Active Aging Conference in Asia/Pacific 2010, 2010年10月30日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 原善子, 鳩野洋子, 山下清香, 前野有佳里, 永田昌子, 梶木繁之, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理のためのマニュアル作成, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京.
- 鳩野洋子, 山下清香, 原善子, 前野有佳里, 梶木繁之, 永田昌子, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理システム導入支援モデル事業 第1報 支援内容, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京.
- 山下清香, 鳩野洋子, 原善子, 前野有佳里, 梶木繁之, 永田昌子, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理システム導入支援モデル事業 第2報 自治体の取り組み, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京.
- 前野有佳里, 鳩野洋子, 原善子, 山下清香, 梶木繁之, 永田昌子, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理システム導入支援モデル事業 第3報 内部監査の実施, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京.
- 前野有佳里, 鳩野洋子: 都市在住高齢者の閉じこもりに関する実態調査, 第30回日本看護科学学会, 2010年12月02日, 札幌.
- 鳩野洋子 前野有佳里: 都市在住高齢者における郵送調査未返送者の特徴, 第30回日本看護科学学会, 2010年12月02日, 札幌.
- 岩木三保, 鳩野洋子: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)介護者の介護に対する肯定的認知に影響する要因の検討, 第15回日本難病看護学会学術集会, 2010年08月27日, 山形.
- 平野裕子, 小川玲子, 大野俊: 二国間経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の導入—その課題と可能性—, 日本保健医療社会学会, 2010年05月15日, 山口.
- 平野裕子: 二国間経済連携協定に基づくインドネシア・フィリピンからの看護師の受け入れ—そのインパクトと今後期待される可能性について—, 福祉社会学会, 2010年05月29日, 福岡.
- 藤野成美, 脇崎裕子: 精神科看護師の身体合併症ケアにおける臨床判断の特徴, 日本看護研究学会, 2010年08月21日, 岡山.
- 藤野成美, 脇崎裕子, 福原百合: 精神科看護師における目標達成行動と属性に関する検討, 日本看護科学学会, 2010年12月03日, 札幌.

- 脇崎裕子, 藤野成美: 精神障害をもちながら老いを生きる長期入院高齢者の希望, 日本看護科学学会, 2010年12月04日, 札幌.
- 寺岡佐和, 小西美智子, 原田春美, 小野ミツ: 認知症高齢者の認知機能と精神的安定に効果的な園芸活動の内容に関する検討, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月28日, 東京.
- 長弘千恵, 多々納文, 前野有佳里, 寺岡佐和, 吉永一彦, 野津千佳: 入職10年以内の保健師におけるグループ支援能力の育成に関連する要因の検討, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月28日, 東京.
- 木村一絵 大原青子: 3歳未満児を持つ母親が敏感期を知ることによって育児に与えた影響—思考変化のプロセスに焦点をあてて—, 日本ヘルスプロモーション学会, 2010年12月12日, 福岡.
- 重松由佳子 荒木紀代子: 地域保健における協働のあり方—活動過程の分析を通して—, 第69回日本公衆衛生学会, 2010年10月28日, 東京.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

鳩野洋子

- 森晃爾編. 鳩野洋子, 曾根智文他: (共著) 保健指導サービスの評価と改善, 2010年08月, 医学書院.
- 奥山則子, 鳩野洋子, 他: (共著) 地域看護概論, 2010年12月, 医学書院

藤野成美

- 山勢博彰, 松本幸枝, 千明政好, 田中周平, 山勢善江, 原田竜三, 藤野成美他: (編集) 救急・重症患者と家族のための心のケア, 2010年08月, メディカ出版.

寺岡佐和

- 佐藤眞一, 道場信孝, 島内晶, 島内ミチエ, 荒木乳根子, 大川一郎, 大島由之, 品川由紀子, 玉井智, 佃志津子, 土田宣明, 津村麻紀, 山本哲也, Lin Shuzhen, 岡村愛子, 柴田敬祐, 谷口将吾, 成本迅, 松岡照之, 川本利恵子, 尾崎伊都子, 田中昭子, 坪井桂子, 寺岡佐和, 原田春美, 門間晶子: (共著) コミュニティケア, 2010年12月, 日本看護協会出版会.

前野有佳里

- 前野有佳里 他: (共著) 2011年度版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2010年05月, 医学書院.

a. 総説

鳩野洋子

- 鳩野洋子, 山下清香, 原善子, 尾方由起子, 前野有佳里, 永田昌子, 梶木繁之, 森晃爾: 保健指導サービスの質の管理に向けて「システムガイドライン」と「マニュアルテンプレート」自治体版の作成, 保健師ジャーナル 2010; 66(9): 824-831, 2010年04月.

- 平野かよ子, 末永カツ子, 鳩野洋子, 中板育美, 反町吉秀, 妹尾栄一: 保健師等の地域保健従事者への住民からの暴力, 保健師ジャーナル 2010; 66(10): 903-908, 2010年09月.

平野(小原)裕子

- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑬「東南アジアから日本へのケアワーカー移動をめぐる国際会議」報告(1), 文化連情報 385号, pp.38-41, 2010年04月
- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑭「東南アジアから日本へのケアワーカー移動をめぐる国際会議」報告(2), 文化連情報 386号, pp.16-19, 2010年05月. 平野裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑮フィリピン第2陣の来日, 文化連情報 387号, pp.30-32, 2010年06月.
- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑯フィリピン人第2陣は第1陣からどう変化したか, 文化連情報 389号, pp.40-42, 2010年08月.
- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑰インドネシア人看護師 先発帰国者はいま, 文化連情報 390号, pp.48-50, 2010年09月.
- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑱インドネシアにおける高齢者ケアと帰国者の受け皿としての可能性, 文化連情報 391号, pp.48-50, 2010年10月. 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑲合格者にきく-国家試験合格は「はじめの一步」, 文化連情報 392号, pp.38-41, 2010年11月. 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑳合格者にきく-国家試験合格者を支えた人々, 文化連情報 393号, pp.34-37, 2010年12月.
- 平野 裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入(21)インドネシア人第3陣は第2陣からどう変化したか?, 文化連情報 394号, pp.58-61, 2011年01月.

前野有佳里

- 鳩野洋子, 山下清香, 原善子, 尾方由起子, 前野有佳里, 永田昌子, 梶木繁之, 森晃爾: 保健指導サービスの質の管理に向けて「システムガイドライン」と「マニュアルテンプレート」自治体版の作成, 保健師ジャーナル 2010; 66(9):824-831, 2010年04月.

b. 解説, 書評など なし

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤野, 精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究, 日本精神科看護技術協会, 2011年02月~2013年03月

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 長弘, 広東医学院第1臨床学院(China), 大学・研究所訪問, 2010年08月
- 前野, 広東医学院第1臨床学院(China), 大学・研究所訪問, 2010年08月
- 前野, National Mental Health Development Unit(United Kingdom), 大学・研究所訪問, 2011年01月
- 重松, National Mental Health Development Unit, Royal College of Psychiatrists, London Development Centre, School of Law, King's College London, (United Kingdom), 大学・研究所訪問, 2011年01月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 鳩野, 実習委員会委員.
- 鳩野, 研究推進委員会.
- 藤野, 広報委員会.
- 寺岡, 実習委員会委員.
- 寺岡, 施設ワーキンググループ.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 藤野, 国際医療福祉大学福岡看護学部, 非常勤講師.
- 寺岡, 広島大学医学部保健学科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 長弘, 聖マリア学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 評議員 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員・査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 評議員 編集委員会委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 平野(小原), 日本保健医療社会学会, 運営委員, 国内.
- 平野(小原), International Journal of Japanese Sociology, 編集委員, 国際.

3. 官界

- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市地域保健部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市高齢者保健福祉部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「粕屋町国保ヘルスアップ事業運営委員会委員」, 粕屋町.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 「学位請求論文審査委員」, 北九州市立大学.
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内

- 平野(小原),「看護師国家試験における用語に関する有識者検討チーム」,厚生労働省医政局看護課.
- 前野,「粕屋町特定保健指導研究協力,福岡市高齢者調査研究協力」.

5. 公開講座・公開講演会

- 鳩野,「保健師活動と研究」,熊本県. セミナー・研修会.
- 鳩野,「保健活動と評価」,久留米市. セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	大喜 雅文
教授	豊福 不可依
准教授	高橋 昭彦
准教授	有村 秀孝
准教授	納富 昭弘
助教	小段 謙一

1. 教育活動

1. 大学院講義

大喜 雅文		
保健・医療とIT (分担)		前期
医用画像情報科学論 (分担)		前期
量子線理工科学 I (分担)		前期
豊福 不可依		
量子線理工科学 I (分担)		前期
基礎量子力学		後期
先端医用量子線工学論		後期
高橋 昭彦		
基礎電磁波論		前期
量子線理工科学 I (分担)		前期
有村 秀孝		
保健・医療とIT (分担)		前期
医学物理情報理論		前期
量子線理工科学 I (分担)		前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大喜 雅文		
医用画像情報科学演習 (分担)		通年
量子線理工科学 II (分担)		通年
豊福 不可依		
量子線理工科学 II (分担)		通年
有村 秀孝		
医用画像情報科学論演習 (分担)		前期
量子線理工科学 II (演習)		後期
量子線治療科学演習		後期

4. 大学院修士課程修了者

板野 航 放射線治療計画デジタル再構成シミュレーション画像とポータル画像に基づく患者セットアップの自動照合法の開発
Development of an Automated Alignment Method for Patient Setup based on Portal Image and Digitally Reconstructed Radiography of Radiation Treatment Planning

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大喜 雅文

医療統計学 (分担)	前期
医用情報解析学 (分担)	前期
基礎医療統計 (分担)	後期
現代物理学概論 (分担)	後期
放射線医学入門 (分担)	前期

豊福 不可依

放射線物理学	前期
放射線診断機器学	後期
X線 CT 画像技術学	前期
放射線診断物理学	後期
放射線医学入門 (分担)	前期

高橋 昭彦

電磁気学	前期
医用電気電子工学 I	前期
医用光学	前期
放射線医学入門 (分担)	前期
電磁気学	後期
医用電気電子工学 II	後期

有村 秀孝

コンピュータ支援診断学 (分担)	前期
品質管理論 (分担)	後期
医用画像処理学 I	後期
医用情報解析学	前期
放射線計測学 II	前期
放射線治療機器学	前期
放射線医学入門 (分担)	前期

小段謙一

放射線診断機器学 (分担)	後期
放射線医学入門 (分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

大喜 雅文		
卒業研究 (分担)		通年
情報処理演習I (分担)		後期
豊福 不可依		
卒業研究 (分担)		通年
放射線機器学実験		後期
放射線計測学実験 I		後期
高橋 昭彦		
卒業研究 (分担)		通年
医用電気電子工学実験 II		前期
医用電気電子工学実験 I		後期
有村 秀孝		
卒業研究 (分担)		通年
医用画像処理学演習		前期
放射線計測学実験		後期

8. 卒業論文作成者

森功 二郎	細胞診画像における細胞核内クロマチン分布の定量化
村上 雄一	オープンソース DICOM サーバにおける利用状況の解析
松本 尚子	CD ファントム像自動評価法の実用化に向けた研究
西原 恵美	ISS 方式 FPD の CD ファントムを用いた画像評価
重見 和紀	眼底血管の酸素飽和度測定におけるモンテカルロシミュレーション
川端 祐紀	眼底組織における光散乱過程のモンテカルロシミュレーション ～古典的モンテカルロ法との相違と散乱吸収特性～
荒木 翔	頭部 MR 画像における海馬領域の自動抽出方法の開発
垣内 玄雄	Geant4 を用いたモンテカルロシミュレーションによる陽子線線量分布の基礎的検討
谷山恵里奈	放射線治療計画における肺腫瘍領域の自動抽出法の開発
福田麻里子	放射線治療計画のための気管支自動抽出法の開発
山根ひろ美	前立腺がんの放射線治療における interfractional setup error の自動検出方法の開発
青木道朗	ステレオ画像法による三次元形状計測システムの開発
大津瑠美	三次元形状計測における距離データの測定精度～レーザー距離計とステレオ画像法の比較～
高野歩	eXe を用いた X 線撮影に関する学習教材の作成
毛利圭那子	ポータブル NaI スペクトロメータ (GAMMA-RAD) の方向依存性
清水仁美	ポータブル NaI スペクトロメータによる環境放射線の測定
五端一博	マイクロデンシトメータを用いた MTF 測定システムの開発 ～学生実習を応用した距離法によるセンシトメトリの自動化の開発
伊東剛輝	マイクロデンシトメータを用いた MTF 測定システムの開発 ～移動平均法を用いたノイズ低減法の最適パラメータの推定～

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価	大喜
2	医用画像処理による診断支援	大喜
3	3次元形状計測の放射線医学利用	豊福
4	レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用	高橋
5	光生体計測の計算機シミュレーションに関する研究	高橋
6	アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
7	血管性認知症検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
8	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
9	高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村
10	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
11	減弱データによる X線スペクトルの算出	小段
12	低次多項式による誤差の少ない補間法の研究	小段
13	低次多項式による誤差の少ない自動補間法の開発	小段
14	マイクロデンシトメータを用いた MTF 自動測定法の開発	小段

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

豊福 不可依

- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発, (代表), 1900 千円.

有村 秀孝

- 「基盤研究(C)」類似症例検索に基づく高精度 3 次元放射線治療計画支援システムの開発, (代表), 2000 千円.
- 「基盤研究(C)」アルツハイマー病発症前診断のためのマルチパラメトリック MRI の開発(代表吉浦敬), (分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療法の開発(代表塩山善之), (分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発(代表豊福不可依), (分担), 0 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」サイバーナイフ治療におけるマシンビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発(代表中村和正), (分担), 0 千円.
- 「特別研究員奨励費」放射線治療計画データベースに基づく高精度治療計画支援システムの開発(日本学術振興会 DC1 馬込大貴), (代表), 1400 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Magome T, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Kawata Y, Yamashita Y, Higashida Y, Toyofuku F, Ohki M, Korogi Y: Automated segmentation method of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis lesions in MR images, *Radiological Physics and Technology*, , 2011年01月. (査読あり)
- Yamamoto D, Arimura H, Kakeda S, Magome T, Yamashita Y, Toyofuku F, Ohki M, Higashida Y, Korogi Y: Computer-aided detection of multiple sclerosis lesions in brain magnetic resonance images: False positive reduction scheme consisted of rule-based, level set method, and support vector machine, *Computerized Medical Imaging and Graphics*, 34, 404-413, 2010年05月. (査読あり)
- Kawata Y, Arimura H, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Tsuchiya K: Computer-Aided Evaluation Method of White Matter Hyperintensities Related to Subcortical Vascular Dementia Based on Magnetic Resonance Imaging, *Computerized Medical Imaging and Graphics*, 34, 370-376, 2010年05月. (査読あり)
- Takahashi K, Morishita J, Hiwasa T, Hatanaka S, Sakai S, Hashimoto N, Nakamura Y, Toyofuku F, Higashida Y, Ohki M: Comparison of detectability of a simple object with low contrast displayed on a high-brightness color LCD and a monochrome LCD, *Radiological Physics and Technology*, 3(2), 178-184, 2010年07月. (査読あり)
- Keita Takahashi, Junji Morishita, Takeshi Hiwasa, Shiro Hatanaka, Shuji Sakai, Noriyuki Hashimoto, Yasuhiko Nakamura, Fukai Toyofuku, Yoshiharu Higashida and Masafumi Ohki: Comparison of detectability of a simple object with low contrast displayed on a high-brightness color LCD and a monochrome LCD, *Radiological Physics and Technology, Volume 3, Number 2, pp 178-184, 2010*, , 2010年05月. (査読あり)
- Takuro Shiiba, Naofumi Tanoue, Shinji Tateoka, Masaji Maeda, Fukai Toyofuku, and Junji Morishita: Effects of ambient-light correction in luminance measurements of liquid-crystal display monitors by use of a telescopic-type luminance meter, *Radiological Physics and Technology*, 3(1) 65-69, 2010, , 2010年10月. (査読あり)
- Akihiko Takahashi, Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Kouichi Murakami, Kota Okazaki, Daisuke Nakamura, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niino : Micromachining of silica glass using EUV radiation of laser-produced plasma, *電気学会論文誌 C*, , 2010年10月. (査読あり)
- Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Kouta Okazaki, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niino: Direct Etching of Polymethylmethacrylate (PMMA) Using Laser Plasma Soft X-Rays, *Applied Physics Express*, , 2010年06月. (査読あり)
- Kawata Y, Arimura H, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Tsuchiya K.: Computer-Aided Evaluation Method of White Matter Hyperintensities Related to Subcortical Vascular Dementia Based on Magnetic Resonance Imaging, *Computerized Medical Imaging and Graphics*, 34, 370-376, 2010年05月. (査読あり)
- Yamamoto D, Arimura H, Kakeda S, Magome T, Yamashita Y, Toyofuku F, Ohki M, Higashida Y, Korogi Y.: Computer-aided detection of multiple sclerosis lesions in brain magnetic resonance images: False positive reduction scheme consisted of rule-based, level set method, and support vector machine, *Computerized Medical Imaging and Graphics*, 34, 404-413, 2010年05月. (査読あり)
- Magome T, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Kawata Y, Yamashita Y, Higashida Y, Toyofuku F, Ohki M, Korogi Y.: Automated segmentation method of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis lesions in MR images., *Radiological Physics and Technology*, Volume 4, Issue 1 (2011), 61-72, 2011年01月. (査読あり)

- 吉留 郷志, 有村 秀孝, 塩山 善之, 中村和正, 穴井重男, 中村浩太, 野元諭, 本田 浩, 豊福不可依, 寺嶋廣美, 平田秀紀: 肺定位放射線治療における EPID シネ画像を用いた腫瘍位置のずれ量自動推定方法の開発, *医学物理*, Vol.30, No.3, 120-131, 2011 年 03 月. (査読あり)
- Akihiro Nohtomi, : A method of neutron energy evaluation by using an imaging plate and cone-like acryl converters with a geometrical modulation concept, *Nuclear Instruments and Method in Physics Research A*, , 2011 年 03 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Automated Verification Method for Patient Setup Based on Digitally Reconstructed Radiography and Portal Image for Prostate Cancer Treatment, World Automation Congress 2010 (WAC), 2010 年 09 月 20 日, Japan.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M.: Fuzzy-Based Segmentation of Brain Parenchymal Regions with Alzheimer's Disease into Cerebral Cortex and with Matter in 3.0-T Magnetic Resonance Images, World Automation Congress 2010 (WAC), 2010 年 09 月 20 日, Japan.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Higashida Y, Ohki M, Toyofuku F.: Computerized Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Arterial Spin-Labeled perfusion MRI, World Automation Congress 2010 (WAC), 2010 年 09 月 20 日, Japan.
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Tachibana M, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Higashida Y, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Estimation of Lateral Scatter Kernels in EPID and Water Equivalent Phantom for Dose Verification in Stereotactic Lung Radiotherapy, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2010 年 07 月 18 日, United States of America.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Nomoto S, Anai S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Higashida Y, Hirata H.: Automated selection of similar cases with brain tumors using MR images for assisting radiation treatment planning, Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), 2010 年 06 月 23 日, Switzerland.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Ohki M, Higashida Y, Toyofuku F.: Computer-aided Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Cerebral Blood Flow Map measured by Arterial Spin Labeling MRI, Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), 2010 年 06 月 23 日, Switzerland.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M: Automated Fuzzy-based Segmentation of Brain Parenchymal Regions into Gray Matter and White Matter with Alzheimer's Disease in 3.0 T Magnetic Resonance Images, Radiological Society of North America 2010 (RSNA), 2010 年 12 月 02 日, United States of America.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H: Computerized verification method for patient setup using portal images during radiation treatment of prostate cancer, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA)2011, 2011 年 01 月 18 日, Japan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y: Automated Detection of Multiple Sclerosis Lesions: False Positive Removal Method Using an ANN-controlled Speed Function in a Level Set Method,

International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA)2011, 2011年01月18日, Japan.

- S.Kawaguchi, Y.Yamaguchi, H.Arimura, J. Morishita, M. Ohki, F.Toyofuku: Evaluation of similarity between directly measured and Rayleigh-Compton corrected mammography x-ray spectra, 10th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2010年10月16日, Taiwan.
- Y. Yamaguchi, S. kawaguchi, J. Morishita², M. Oki, F. Toyofuku: Analysis of Rayleigh-Compton scattered mammography x-ray spectra using fluorescent x-rays excited by synchrotron radiation, Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2010年10月16日, Taiwan.
- Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Anai S, Nomoto S, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y, Onizuka Y, Terashima H, Hirata H.: Computer-aided verification of a lung tumor location using EPID without implanted markers in stereotactic body radiotherapy, Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Geneva, 2010年06月23日, Switzerland.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Ohki M, Higashida Y, Toyofuku F.: Computer-aided Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Cerebral Blood Flow Map measured by Arterial Spin Labeling MRI, Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Geneva, 2010年06月23日, Switzerland.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Nomoto S, Anai S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Higashida Y, Hirata H.: Automated selection of similar cases with brain tumors using MR images for assisting radiation treatment planning, Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Geneva, 2010年06月23日, Switzerland.
- Arimura H.: State-of-the-art CAD - Brain MR Images, International Conference Medical Biometrics (ICMB), Hong Kong, 2010年06月30日, Hong Kong.
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Tachibana M, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Higashida Y, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Estimation of Lateral Scatter Kernels in EPID and Water Equivalent Phantom for Dose Verification in Stereotactic Lung Radiotherapy, American Association of Physicists in Medicine (AAPM), Philadelphia, 2010年07月18日, United States of America.
- Yoshidome Y, Arimura H, Tachibana M, Shioyama Y, Nomoto S, Fukunaga J, Hirano N, Noguchi Y, Toyofuku F, Honda H, Hirata H.: Automated Measurement of Water Equivalent Path Length of a Patient Based On a Computed Radiography in Total Body Irradiation, American Association of Physicists in Medicine (AAPM), Philadelphia, 2010年07月18日, United States of America.
- Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Anai S, Nomoto S, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y, Onizuka Y, Terashima H, Hirata H.: Stereotactic Body Radiotherapy: Computer-Assisted Verification of a Lung Tumor Region Using EPID Without Implanted Markers, American Association of Physicists in Medicine (AAPM), Philadelphia, 2010年07月18日, United States of America.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Higashida Y, Ohki M, Toyofuku F.: Computerized Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Arterial Spin-Labeled perfusion MRI, World Automation Congress 2010 (WAC), Kobe, 2010年09月20日, Japan.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M.: Fuzzy-Based Segmentation of Brain Parenchymal Regions with

Alzheimer's Disease into Cerebral Cortex and with Matter in 3.0-T Magnetic Resonance Images, World Automation Congress 2010 (WAC), Kobe, 2010年09月20日, Japan.

- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Automated Verification Method for Patient Setup Based on Digitally Reconstructed Radiography and Portal Image for Prostate Cancer Treatment, World Automation Congress 2010 (WAC), Kobe, 2010年09月20日, Japan.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Honda H, Hirata H.: Automated Verification Method for Patient Setup Based on Digitally Reconstructed Radiography and Portal Image for Prostate Cancer Treatment, 10th Asia-Oceania Congress of Medical Physics 2010 (AOCMP), Taipei, p89-90, 2010年10月17日, Taiwan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Segmentation of Multiple Sclerosis Candidate Regions using a Level Set Method based on an Artificial Neural Network., 10th Asia-Oceania Congress of Medical Physics 2010 (AOCMP), Taipei, p91, 2010年10月17日, Taiwan.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M.: Automated Fuzzy-based Segmentation of Brain Parenchymal Regions into Gray Matter and White Matter with Alzheimer's Disease in 3.0 T Magnetic Resonance Images, Radiological Society of North America 2010 (RSNA), CHICAGO, 2010年12月02日, United States of America.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Computerized verification method for patient setup using portal images during radiation treatment of prostate cancer (P.227-230), International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA)2011, Okinawa, 2011年01月18日, Japan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Detection of Multiple Sclerosis Lesions: False Positive Removal Method Using an ANN-controlled Speed Function in a Level Set Method, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA)2011, Okinawa, 2011年01月18日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 桑水流純平, 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 馬込大貴, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 興梠征典: ANNを用いたレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域の検出の試み, 第100回日本医学物理学会学術大会, 2010年09月23日.
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 廣瀬貴章, 塩山善之, 穴井重男, 中村和正, 板野航, 本田浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: EPIDに基づく線量分布画像の取得方法の検討, 第100回日本医学物理学会学術大会(JSMP), 2010年09月23日.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 吉武忠正, 穴井重男, 中村和正, 吉留郷志, 橘昌幸, 野本諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: ポータル画像と治療計画DRR画像に基づく患者セットアップエラーの自動推定法の開発, 第29回日本医用画像工学会(JAMIT), 2010年07月30日.
- 桑水流純平, 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 馬込大貴, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 興梠征典: ANNを利用したレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部検出方法の開発, 第29回日本医用画像工学会(JAMIT), 2010年07月30日.

- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 徳永千晶, 馬込大貴, 門司晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依: ASL の CBF マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 第 29 回日本医用画像工学会(JAMIT), 2010 年 07 月 30 日.
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 馬込大貴, 本田浩, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー病における脳実質の自動領域分割法の開発, 29 回日本医用画像工学会(JAMIT), 2010 年 07 月 30 日.
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 本田浩, 東田善治, 豊福不可依, 大喜雅文: T1 強調 MR 画像における脳実質の自動領域分割法の開発, 第 99 回日本医学物理学会学術大会(JRC), 2010 年 04 月 09 日.
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 塩山善之, 穴井重男, 中村和正, 本田浩, 東田善治, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: EPID と水等価ファントムの側方散乱カーネルの測定, 第 99 回日本医学物理学会学術大会(JRC), 2010 年 04 月 11 日 .
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 吉武忠正, 穴井重男, 中村和正, 橘昌幸, 吉留郷志, 野本諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療におけるポータル画像と治療計画 DRR 画像に基づく照射位置の自動照合法の開発, 第 66 回日本放射線技術学会(JSRT), 2010 年 04 月 09 日.
- 桑水流純平, 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 馬込大貴, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 東田善治, 興梠征典: レベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域検出方法の開発, 第 99 回日本医学物理学会学術大会(JRC), 2010 年 04 月 09 日 .
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 小林幸次, 豊福不可依, 大喜雅文, 中村泰彦, 本田 浩: ASL による CBF マップに基づいたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 第 66 回日本放射線技術学会(JSRT), 2010 年 04 月 10 日 .
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症における海馬領域の自動領域抽出方法の開発, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日 .
- 村上 雄一, 大喜雅文, 徳森謙二: オープンソース DICOM サーバにおける利用状況の解析, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日 .
- 西原恵美, 松本尚子, 加藤豊幸, 大喜雅文: ISS 方式 FPD の CD ファントムを用いた画質評価, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日 .
- 松本尚子, 西原恵美, 神宮綾多郎, 加藤豊幸, 溝口範子, 大喜雅文: CD ファントム像自動解析によるデジタル撮像系の品質管理, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日 .
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 廣瀬貴章, 塩山善之, 穴井重男, 中村和正, 板野航, 本田浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: EPID を用いた線量分布画像自動取得方法の評価, 医用画像情報学会(MII)春季大会, 2011 年 02 月 05 日, 九州大学.
- 田中延和, 赤坂 勉, 藪内英剛, 大喜雅文, 杜下淳次: Irradiation side sampling 方式による間接変換型 FPD の画質, 医用画像情報学会(MII)春季大会, 2011 年 02 月 05 日, 九州大学.
- 鳥居周一, 牧村哲也, 岡崎功太, 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄, 新納弘之, 村上浩一: レーザープラズマX線による透明材料の微細加工, 第一回先端ナノバイオフィォーラム2010, 2010 年 11 月 15 日, 兵庫県立大学.
- 鳥居 周一, 牧村 哲也, 岡崎 功太, 中村 大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄, 新納 弘之, 村上 浩一: レーザープラズマ軟X線によるシリコーンゴムのアブレーション加工, 第 71 回応用物理学会学術講演会, 2010 年 09 月 14 日, 長崎大学.
- 高橋昭彦, 江崎正二: 眼底血管酸素飽和度測定のモンテカルロシミュレーション, 応用物理学会九州支部大会, 2010 年 11 月 23 日, 九州大学伊都キャンパス.

- 高橋昭彦 江崎正二：眼底血管酸素飽和度測定における光散乱の影響，第 58 回応用物理学学会関係連合講演会，2011 年 03 月 24 日，神奈川工科大学。
- 吉留郷志，有村秀孝，橘昌幸，塩山善之，野元諭，福永淳，平野奈緒美，野口佳孝，豊福不可依，本田浩，平田秀紀：CR 撮影に基づく全身照射用 水補償フィルタ作成方法の開発，第 99 回日本医学物理学学会学術大会，2010 年 04 月 11 日，パシフィコ横浜。
- 川田秀道，有村秀孝，大倉順，梨子木一高，林田和也，才田義文，早瀬尚文：骨盤部 X 線画像における前立腺癌永久挿入密封小線源治療用ヨウ素 125 シード線源数の自動推定方法の開発，第 66 回日本放射線技術学会，2010 年 04 月 10 日，パシフィコ横浜。
- 山下泰生，有村秀孝，吉浦 敬，小林幸次，豊福不可依，大喜雅文，中村泰彦，本田 浩：ASL による CBF マップに基づいたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発，第 66 回日本放射線技術学会，2010 年 04 月 10 日，パシフィコ横浜。
- 桑水流純平，有村秀孝，掛田伸吾，山本大輔，馬込大貴，山下泰生，大喜雅文，豊福不可依，東田善治，興梠征典：レベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域検出方法の開発，第 99 回日本医学物理学学会学術大会，2010 年 04 月 09 日，パシフィコ横浜。
- 馬込大貴，有村秀孝，塩山善之，中村和正，穴井重男，本田浩，平田秀紀：放射線治療計画支援のための類似症例提示システムの開発，第 66 回日本放射線技術学会，2010 年 04 月 08 日，パシフィコ横浜。
- 板野航，有村秀孝，塩山善之，馬込大貴，吉武忠正，穴井重男，中村和正，橘昌幸，吉留郷志，野本諭，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，平田秀紀：放射線治療におけるポータル画像と治療計画 DRR 画像に基づく照射位置の自動照合法の開発，第 66 回日本放射線技術学会(JSRT)，横浜，2010 年 04 月 09 日，パシフィコ横浜。
- 溝口明日実，有村秀孝，吉留郷志，橘昌幸，塩山善之，穴井重男，中村和正，本田浩，東田善治，豊福不可依，大喜雅文，平田秀紀：EPID と水等価ファントムの側方散乱カーネルの測定，第 99 回日本医学物理学学会学術大会(JRC)，2010 年 04 月 11 日，パシフィコ横浜。
- 徳永千晶，有村秀孝，吉浦敬，山下泰生，本田浩，東田善治，豊福不可依，大喜雅文：T1 強調 MR 画像における脳実質の自動領域分割法の開発，第 99 回日本医学物理学学会学術大会(JRC)，横浜，2010 年 04 月 09 日，パシフィコ横浜。
- 徳永千晶，有村秀孝，吉浦敬，山下泰生，馬込大貴，本田浩，豊福不可依，大喜雅文：アルツハイマー病における脳実質の自動領域分割法の開発，第 29 回日本医用画像工学会(JAMIT)，伊勢原，2010 年 07 月 30 日，東海大学伊勢原キャンパス。
- 山下泰生，有村秀孝，吉浦 敬，徳永千晶，馬込大貴，門司晃，小林幸次，古閑省一，中村泰彦，大屋信義，本田 浩，大喜雅文，豊福不可依：ASL の CBF マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発，第 29 回日本医用画像工学会(JAMIT)，伊勢原，2010 年 07 月 30 日，東海大学伊勢原キャンパス。
- 桑水流純平，有村秀孝，掛田伸吾，山本大輔，馬込大貴，山下泰生，大喜雅文，豊福不可依，興梠征典：ANN を利用したレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部検出方法の開発，第 29 回日本医用画像工学会，伊勢原，2010 年 07 月 30 日，東海大学伊勢原キャンパス。
- 板野航，有村秀孝，塩山善之，馬込大貴，吉武忠正，穴井重男，中村和正，吉留郷志，橘昌幸，野本諭，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，平田秀紀：ポータル画像と治療計画 DRR 画像に基づく患者セットアップエラーの自動推定法の開発，第 29 回日本医用画像工学会(JAMIT)，伊勢原，2010 年 07 月 30 日，東海大学伊勢原キャンパス。
- 有村秀孝：高精度放射線治療を支える医用画像処理，第 71 回応用物理学学会学術講演会，長崎，2010 年 09 月 14 日，長崎大学文教キャンパス。
- 溝口明日実，有村秀孝，吉留郷志，橘昌幸，廣瀬貴章，塩山善之，穴井重男，中村和正，板野航，本田浩，豊福不可依，大喜雅文，平田秀紀：EPID に基づく線量分布画像の取

得方法の検討, 第 100 回日本医学物理学会学術大会(JSMP), 東京, Vol.30, Sup.5, Sep.2010, pp122-123, 2010 年 09 月 23 日, 学術総合センター(東京).

- 桑水流純平, 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 馬込大貴, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 興梠征典: ANN を用いたレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域の検出の試み, 第 100 回日本医学物理学会学術大会(JSMP), 東京, Vol.30, Sup.5, Sep.2010, p96-97, 2010 年 09 月 23 日, 学術総合センター(東京).
- 有村秀孝: 画像誘導放射線治療を支える医用画像処理技術, 第 100 回日本医学物理学会学術大会(JSMP), 東京, Vol.30, Sup.4, Sep.2010, pp25-42, 2010 年 09 月 23 日, 学術総合センター(東京).
- 有村秀孝: 医学物理における医用画像処理の役割, 第 100 回日本医学物理学会学術大会(JSMP), 東京, Vol.30, Sup.5, Sep.2010, pp56, 2010 年 09 月 25 日, 学術総合センター(東京).
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 塩山善之, 穴井重男, 中村和正, 本田浩, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療における EPID に基づいた線量分布画像取得方法の検討, 第 23 回日本放射線腫瘍学会学術大会(JASTRO)、東京, 2010 年 11 月 19 日, 東京ベイ舞浜ホテル.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 吉武忠正, 穴井重男, 中村和正, 吉留郷志, 橘昌幸, 本田浩, 平田秀紀: 高精度放射線治療における患者セットアップエラーの自動推定法の開発, 第 23 回日本放射線腫瘍学会学術大会(JASTRO)、東京, 2010 年 11 月 19 日, 東京ベイ舞浜ホテル.
- 岡田昌洋, 平田秀紀, 大浦弘樹, 有村秀孝, 深堀麻衣, 佐々木智成, 上原智: X線全身照射における吸収線量実測値の検討, 第 23 回日本放射線腫瘍学会学術大会(JASTRO)、東京, 2010 年 11 月 19 日, 東京ベイ舞浜ホテル.
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 馬込大貴, 溝口明日実, 本田浩, 塩山善之: 粒子線治療計画におけるビームアングル最適化方法の開発, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 山根ひろ美, 有村秀孝, 板野航, 穴井重男, 中村和正, 吉留郷志, 塩山善之, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療における interfractional セットアップエラーの自動検出法の開発, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 福田麻里子, 有村秀孝, 塩山善之, 桑水流純平, 馬込大貴, 中村和正, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療のための肺区域自動抽出方法の開発, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症における海馬領域の自動領域抽出方法の開発, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT), 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 谷山恵里奈, 有村秀孝, 馬込大貴, 塩山善之, 中村和正, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療計画におけるマルチモダリティ画像情報を用いた肺腫瘍領域の自動抽出, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT)、熊本, 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 山神昭彦, 有村秀孝, 塩山善之, 宮本浩仁, 楠原和朗: OBI 画像と DRR 画像を用いた位置照合方法の基礎的検討, 第 5 回九州放射線医療技術学会学術大会(JSRT)、熊本, 2010 年 11 月 21 日, 崇城大学市民ホール(熊本).
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 廣瀬貴章, 塩山善之, 穴井重男, 中村和正, 板野航, 本田浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: EPID を用いた線量分布画像自動取得方法の評価, 医用画像情報学会(MII)春季大会、九州大学, 2011 年 02 月 05 日, 九州大学病院キャンパス.

- 吉留郷志, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 穴井重男, 中村浩太, 野元諭, 本田浩, 豊福不可依, 寺嶋廣美, 平田秀紀: 肺定位放射線治療の EPID 画像におけるガウシアン像強調フィルタを用いた腫瘍位置自動推定方法の開発, 医用画像情報学会(MII)春季大会,九州大学, 2011年02月05日, 九州大学病院キャンパス.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 有村秀孝(分担執筆): (共著) 医用画像ハンドブック(監修:石田隆行, 桂川茂彦, 藤田広志): 第4編 11章 MR画像の画像処理:p936~p942., 2011年01月, オーム社.
- 有村秀孝(分担執筆): (共著) 医用画像ハンドブック(監修:石田隆行, 桂川茂彦, 藤田広志): 第1編 13章レベルセット法:p274~p279, 2011年01月, オーム社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H: Computerized verification method for patient setup using portal images during radiation treatment of prostate cancer, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), Proceedings of IFMIA 2011, 227-230, 2011年01月.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y: Automated Detection of Multiple Sclerosis Lesions: False Positive Removal Method Using an ANN-controlled Speed Function in a Level Set Method, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), Proceedings of IFMIA 2011, 320-327, 2011年01月.
- Arimura H, Kawata Y, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida H, Tsuchiya K.: Computerized evaluation method of white matter hyperintensities related to subcortical vascular dementia in brain MR images, Proc. of SPIE Vol. 7624 762424-1, 2010年06月.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monjid A, Noguchi T, Toyofuku F, Ohki M, Nakamura Y, Honda H.: Computer-aided classification of patients with dementia of Alzheimer's type based on cerebral blood flow determined with arterial spin labeling technique, Proc. of SPIE Vol. 7624 76241J-1, 2010年06月.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Nomoto S, Anai S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Higashida Y, Hirata H.: Automated selection of similar cases with brain tumors using MR images for assisting radiation treatment planning, Computer Assisted Radiology and Surgery 2010; 5, Suppl1: S326-327, 2010年07月.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Ohki M, Higashida Y, Toyofuku F.: Computer-aided Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Cerebral Blood Flow Map measured by Arterial Spin Labeling MRI, Computer Assisted Radiology and Surgery 2010; 5 Suppl1, S387-388, 2010年07月.
- Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshitake T, Anai S, Nomoto S, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y, Onizuka Y, Terashima H, Hirata H.: Computer-aided verification of a lung tumor location using EPID without implanted markers in stereotactic body radiotherapy, Computer Assisted Radiology and Surgery 2010; 5, Suppl1: S72-73, 2010年07月.
- Fujita H, You J, Qin Li Q, Arimura H, Tanaka R, Sanada S, Niki N, Lee G, Hara T, Fukuoka D, Muramatsu C, Katafuchi T, Iinuma G, Miyake M, Arai Y, Moriyama N.:

State-of-the-art of Computer-Aided Detection/Diagnosis (CAD), ICMB International Conference on Medical Biometrics 2010; Vol.6165, pp.296-305, 2010年07月.

- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Magome T, Monji A, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Higashida Y, Ohki M, Toyofuku F.: Computerized Classification of Patients with Alzheimer's Disease Based on Arterial Spin-Labeled perfusion MRI. , World Automation Congress 2010 (WAC), 2010年09月.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M.: Fuzzy-Based Segmentation of Brain Parenchymal Regions with Alzheimer's Disease into Cerebral Cortex and with Matter in 3.0-T Magnetic Resonance Images, World Automation Congress 2010 (WAC), 2010年09月.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Automated Verification Method for Patient Setup Based on Digitally Reconstructed Radiography and Portal Image for Prostate Cancer Treatment, IEEE Xplore digital library; World Automation Congress (WAC) 2010: 1-4., 2010年09月.
- 有村秀孝: 画像誘導放射線治療を支える医用画像処理技術, 日本医学物理学会機関誌, 2010年09月.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Nomoto S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Computerized verification method for patient setup using portal images during radiation treatment of prostate cancer, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 2011年01月.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Detection of Multiple Sclerosis Lesions: False Positive Removal Method Using an ANN-controlled Speed Function in a Level Set Method, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 2011年01月.
- 有村秀孝, 馬込大貴, 穴井重男, 塩山善之, 中村和正: 放射線治療における医用画像処理技術と評価法, 日本放射線技術学会雑誌, 2011年01月.
- 有村秀孝, 馬込大貴: Macを用いた画像処理プログラミング開発のためのソフトウェア, 日本放射線技術学会雑誌第66巻12号.
- 有村秀孝, 溝口明日実, 板野航: 高精度放射線治療を支える医用画像処理, 放射線, 2011年03月.
- 有村秀孝: 医学物理における医用画像処理の役割, 医学物理学会機関誌(100回記念特集号), 2011年03月.
- Fujita H, You J, Qin Li Q, A. Arimura H. et.al.: State-of-the-art of Computer-Aided Detection/Diagnosis (CAD), ICMB International Conference on Medical Biometrics 2010, 2010年07月.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Segmentation of Multiple Sclerosis Candidate Regions using a Level Set Method based on an Artificial Neural Network, Asia-Oceania Congress of Medical Physics 2010 (AOCMP), Taipei, 2010年10月.
- Itano W, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Tachibana M, Honda H, Hirata H.: Automated Verification Method for Patient Setup Based on Digitally Reconstructed Radiography and Portal Image for Prostate Cancer Treatment, Asia-Oceania Congress of Medical Physics 2010 (AOCMP), Taipei, 2010年10月.

受賞

- 有村, 「骨盤部X線画像における前立腺癌永久挿入密封小線源治療用ヨウ素 125 シード線源数の自動推定方法の開発」, Cypos 賞(川田秀道, 有村秀孝他) 骨盤部X線画像における前立腺癌永久挿入密封小線源治療用ヨウ素 125 シード線源数の自動推定方法の開発, 日本放射線技術学会(JSRT) 4月11日, 横浜, 2010年04月.
- 有村, 「放射線治療計画支援のための類似症例提示システムの開発」, 学生賞(馬込大貴, 有村秀孝他) 放射線治療計画支援のための類似症例提示システムの開発, 第66回日本放射線技術学会(JSRT)4月11日, 横浜, 2010年04月.
- 有村, 「Fuzzy-Based Segmentation of Brain Parenchymal Regions with Alzheimer's Disease into Cerebral Cortex and with Matter in 3.0-T Magnetic Resonance Images」, Semi Final Student Paper Award (Tokunaga C, Arimura H, et al.) Fuzzy-Based Segmentation of Brain Parenchymal Regions with Alzheimer's Disease into Cerebral Cortex and with Matter in 3.0-T Magnetic Resonance Images, World Automation Congress (WAC) Sep.21, Kobe, 2010年09月.
- 有村, 「ANNを用いたレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域の検出の試み」, ポスター賞(桑水流純平, 有村秀孝他) ANNを用いたレベルセット法に基づく多発性硬化症病変部候補領域の検出の試み, 第100回日本医学物理学会学術大会(JSMP) 9月25日, 東京, 2010年09月.
- 有村, 「EPIDに基づく線量分布画像の取得方法の検討」, 大会長賞(溝口明日実, 有村秀孝他) EPIDに基づく線量分布画像の取得方法の検討, 第100回日本医学物理学会学術大会(JSMP) 9月25日, 東京, 2010年09月.
- 有村, 「Automated verification method for patient setup based on digitally reconstructed radiography and portal image for prostate cancer treatment」, First Place in Young investigator Symposium (Itano W, Arimura H, et al.) Automated verification method for patient setup based on digitally reconstructed radiography and portal image for prostate cancer treatment, 10th Asia-Oceania Congress of Medical Physics(AOCMP) Oct.17, Taipei, 2010年10月.
- 有村, 「Automated Segmentation of Multiple Sclerosis Candidate Regions using a Level Set Method based on an Artificial Neural Network」, Finalist in Young investigator Symposium (Kuwazuru J, Arimura H, et al.) Automated Segmentation of Multiple Sclerosis Candidate Regions using a Level Set Method based on an Artificial Neural Network, 10th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) Oct.17, Taipei, 2010年10月.

報道

- 有村, 日本放射線技術学会雑誌第66巻12号(2010年12月20日), 「Macを用いた画像処理プログラム開発のためのソフトウェア」, 2010年12月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, レーザー生成プラズマからの極端紫外線による無機材料の微細加工に関する研究, 筑波大学大学院, 2008年04月～, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 大喜, 香港大学(Hong Kong), 大学・研究所訪問, 2011年02月～2011年02月(2週間未満).
- 有村, Geneva, University Medical Center(Switzerland), 国際会議, 2010年06月～2010年06月(2週間未満).

- 有村, The Hong Kong Polytechnic University (Hong Kong), 国際会議, 2010年06月～2010年07月(2週間未満)。
- 有村, Duke University (Computer-Aided Diagnosis for Brain Diseases, Computer-Aided Radiation therapy 講演及び施設訪問)(United States of America), 大学・研究所訪問, 2010年07月～2010年07月(2週間未満)。
- 有村, Pennsylvania Convention Center(United States of America), 国際会議, 2010年07月～2010年07月(2週間未満)。
- 有村, The University of Texas Southwestern Medical Center(Computer-Aided Radiation therapy 講演及び施設訪問)(United States of America), 大学・研究所訪問, 2010年08月～2010年08月(2週間未満)。
- 有村, The University of Calgary (Computer-Aided Diagnosis for Brain Diseases 講演及び施設訪問)(Canada), 大学・研究所訪問, 2010年08月～2010年08月(2週間未満)。
- 有村, Mc Cormick Place, Chicago(United States of America), 国際会議, 2010年11月～2010年12月(2週間未満)。

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目].
- 大喜, 認証評価部会委員.
- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者.
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議.
- 高橋, 入学者選抜研究委員会.
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者.

2. 部局委員

- 大喜, 保健学部門副部門長.
- 大喜, 病院地区教育情報委員会.
- 大喜, 総合研究棟管理運営委員会.

3. 部門・コース内委員 なし

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師.
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 大喜, 日本歯科放射線学会, その他(代議員), 国内.
- 大喜, 日本歯科放射線学会, その他(代議員), 国内.
- 高橋, 電気学会論文誌 C 2010年10月号 量子ビームによるナノバイオエレクトロニクス特集号, その他(特集号論文査読委員), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP)編集委員, その他(編集委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会 MII, 編集委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 大喜, 「九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク主催 Q-Conference2010 において 取組推進責任者である「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」についてポスター発表を行った」, 九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク. 西南学院大学, セミナー・研修会.

- 大喜, 「九州大学病院看護部院内研修会・看護研究において「看護研究のための統計学」の講義を行った。」, 九州大学病院看護部. 九州大学, セミナー・研修会.
- 大喜, 「第 11 回(平成 22 年度)認定看護管理制度セカンドレベル教育「情報テクノロジー」の講義を行った」, 福岡県看護協会・認定看護管理教育運営委員会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 小段, 「第 8 回九州大学医学部保健学科公開講座「自分で守ろう自分の体～がん検診の重要性～」」, 医学部保健学科. 九州大学医学部, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	小坂 克子
教授	佐々木 雅之
教授	平田 秀紀
教授	杜下 淳次
准教授	藪内 英剛
講師	熊澤 誠志
助教	赤坂 勉

1. 教育活動

1. 大学院講義

佐々木 雅之		
ヘルスサイエンス論 (分担)		前期
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
平田 秀紀		
国際社会とチーム医療 (分担)		前期
アジアの保健学 (分担)		前期
がん病態治療論 (分担)		前期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
量子線治療科学 (分担)		後期
杜下 淳次		
保健学研究論 (分担)		前期
医用画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
藪内 英剛		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

佐々木 雅之		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学 II (分担)		前期
小坂 克子		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学 II (分担)		前期
平田 秀紀		
臨床量子線科学 II (分担)		前期
量子線治療科学		後期

杜下 淳次		
臨床量子線科学Ⅱ (分担)		前期
藪内 英剛		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期

4. 大学院修士課程修了者

深堀麻衣	食道がんにおける肺及び心臓の正常組織障害発生確率(NTCP)算出とその精度検証
高橋 慶多	明るさや表示色の異なる医用液晶ディスプレイにおけるROC分析と眼の疲労に関する研究
張 鉄嬌	ファントムを用いたPET/CTによる腫瘍標的体積の自動輪郭抽出に関する検討

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

佐々木 雅之		
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期
放射化学・実験 (分担)		後期
核医学検査学Ⅰ		通年
核医学検査学Ⅱ		通年
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)		前期
医学総論Ⅰ (分担)		前期
品質管理論 (分担)		後期
平田 秀紀		
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期
放射線生物学 (分担)		前期
放射線治療技術学 (分担)		前期
放射線治療機器学 (分担)		前期
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期
医学総論Ⅰ (分担)		前期
放射線治療技術学Ⅱ		後期
放射線基礎医学 (分担)		後期
杜下 淳次		
医用画像評価学・実習 (分担)		後期
放射線画像技術学Ⅰ (分担)		後期
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期
熊澤 誠志		
医用画像処理学Ⅱ (分担)		後期
品質管理論 (分担)		後期
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期
赤坂 勉		
放射線管理学		前期
写真工学		前期
コアゼミナール放射線医学入門(分担)		前期

7. 学部の実験・実習・演習

佐々木 雅之	
放射化学・実験 (分担)	後期
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
核医学検査学実習 (分担)	通年
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
小坂 克子	
卒業研究 (分担)	通年
平田 秀紀	
放射線治療技術学実習	後期
臨床医学基本実習	後期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
杜下 淳次	
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
放射線画像機器学実験 (分担)	後期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
藪内 英剛	
放射化学・実験 (分担)	後期
熊澤 誠志	
放射化学・実験 (分担)	後期
医用画像処理学演習	前期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
赤坂 勉	
放射線管理学実験	後期
写真工学実験	後期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年

8. 卒業論文作成者

葛城 正也	看護師の放射線業務従事と職業被ばくの実態調査に関する研究
大塚 洋和	子宮頸がん外部放射線治療における全骨盤照射法の検討
草場 大	子宮頸がん RALS 治療におけるアプリケーションによる減弱について
中村 卓弥	子宮頸癌 RALS における吸収線量補正の検討
石川 香	PET/CT 検査の画質に与える投与量の影響と PSF 補正および TOF 補正による改善
赤松 剛	PET/CT 検査における PSF 補正および TOF 補正の効果と体格との関係の検討
榎本 真奈	3D 脳ファントムと 3D-SSP を用いた脳血流 SPECT/CT 画像の二機種間の差の検討
山口 可奈	Heart Score View と心筋ファントムを用いた心筋血流 SPECT の収集条件の検討
幾島洋一郎	ANG テストパターンを用いた視野角特性の評価法の検証
寶部 真也	胸部 X 線画像とマモグラムを LCD に表示したときの輝度幅に関する研究
津田 規吏	一般撮影領域における両面集光方式 imaging plate の粒状性の評価

徳禮 将吾	Bayer 配列 CCD 搭載のデジタルカメラを利用した LCD の画像評価の基礎検討
峠 理沙	胸部単純 X 線画像における生体指紋情報を利用した患者自動認識法の改善
中島 亮二	乳腺 MRI におけるダイナミックカーブ解析～評価関数の違いによる比較・検討～
甲斐 征八	フィルタリング法による MR 画像における信号強度不均一補正効果の検討
榎本 隆文	PCXMC の有用性について (1)腹部系撮影
山田 将太	PCXMC の有用性について (2)骨盤系撮影
木村恵理子	正常乳腺における拡散異方性の検討
今村和彰	乳腺拡散強調 MRI において拡散強調傾斜磁場軸数の与える影響
日高恭平	3T MRI における上腹部領域の画質評価: Multitransmit と Singletransmit の比較
濱田翔吾	256 列 CT を用いた低線量撮影の画質評価
矢野佑季	胸部単純 X 線画像における模擬病変の検出能: Irradiation Side Sampling 方式間接変換型 FPD と CR の比較

9. 研究生

Busara Soontornwichakarn (Mahidol University, Thailand, 九州大学フレンドシップ奨学金授与)

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

平田 学生委員長として参加 平成 22 年度新入生合宿研修

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
3	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田
4	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
5	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
6	乳腺腫瘍の MRI による診断 頭頸部腫瘍の MRI による診断 造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究 肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	functional MRI における脳機能部位の高精度抽出	熊澤
9	EPI 撮像法におけるゴーストアーチファクトの低減	熊澤
10	MRI 画像におけるインタラクティブな領域抽出	熊澤
11	患者被ばく線量の測定	赤坂

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

佐々木 雅之

- 「基盤研究(C)」TOF方式PET装置を用いた分子イメージングの放射線治療計画への応用, 佐々木(代表), 1900 千円.

熊澤 誠志

- 「若手研究(B)」MR画像による脳白質神経線維束推定に基づいた脳機能領野同定および可視化手法の開発, 熊澤(代表), 700 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

佐々木 雅之

- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ.
- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス.

5. その他の外部研究資金の受入れ

杜下 淳次

- 「株式会社ナナオ 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」.
- 「ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」.

6. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Yakabe M, Sakai S, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Cho M, Masuda M, Sasaki M.: Effect of Dose Reduction on the Ability of Digital Mammography to Detect Simulated Microcalcifications., *J Digit Imaging*, 23(5):520-6, 2010 年 10 月. (査読あり)
- Sakaguchi Y, Mitsumoto T, Zhang T, Mitsumoto K, Tachiya Y, Ohya N, Sasaki M.: Importance of gated CT acquisition for the quantitative improvement of the gated PET/CT in moving phantom., *Ann Nucl Med*, 24 (7): 507-514, 2010 年 08 月. (査読あり)
- Sakaguchi Y, Mizoguchi N, Mitsumoto T, Mitsumoto K, Himuro K, Ohya N, Kaneko K, Baba S, Abe K, Onizuka Y, Sasaki M.: A simple table lookup method for PET/CT partial volume correction using a point-spread function in diagnosing lymph node metastasis., *Ann Nucl Med*, 24 (8):585-591., 2010 年 10 月. (査読あり)
- Zhang T, Tachiya Y, Sakaguchi Y, Mitsumoto K, Mitsumoto T, Ohya N, Sasaki M.: Phantom study on three-dimensional target volume delineation by PET/CT-based auto-contouring., *Fukuoka Acta Medica.*, 101(11): 238 - 246., 2010 年 11 月. (査読あり)
- Yoko Isoyama, Yoshiyuki Shioyama, Satoshi Nomoto, Saiji Ohga, Takeshi Nonosita, Kayoko Onishi, Shuji Matsuura, Kazushige Atsumi, Koutaro Terashima, Hideki Hirata, Hiroshi Honda: Carboplatin and etoposide combined with radiotherapy for limited-stage small-cell esophageal carcinoma:three cases and review of the liiterature, *Jap J.Raiol*, , 2010 年 04 月. (査読あり)
- Kotaro Terashima, Yoshiyuki Shioyama, Satoshi Nomoto, Saiji Ohga, Takeshi Nonoshita, Kayoko Ohnishi, Kazushige Atsumi, Hidetake Yabuuchi, Hideki Hirata, Hiroshi Honda :

A Case of Radiation Fibrosis Appearing as Mass-Like Consolidation after SBRT with Elevation of Serum CEA , *Case Report in Medicine* , , 2010 年 04 月 . (査読あり)

- Keita Takahashi · Junji Morishita · Takeshi Hiwasa · Shiro Hatanaka · Shuji Sakai · Noriyuki Hashimoto · Yasuhiko Nakamura · Fukai Toyofuku · Yoshiharu Higashida · Masafumi Ohki: Comparison of detectability of a simple object with low contrast displayed on a high-brightness color LCD and a monochrome LCD, *Radiological Physics and Technology*, 178-184, 2010 年 07 月 . (査読あり)
- 高橋慶多, 杜下淳次, 田代洋行, 中村泰彦: 医用液晶ディスプレイを用いた X 線画像観察による眼の疲労度の客観的な評価, *日本放射線技術学会雑誌* 2010; 66(11), 1416-1422, , 2010 年 11 月 . (査読あり)
- 坂口太郎, 片山礼司, 杜下淳次, 坂井真二, 黒木英郁, 大久保征司, 前田 孝, 早瀬尚文: 直接変換型 FPD を搭載したデジタル X 線透視撮影システムの画質特性と視覚評価の対応., *日本放射線技術学会雑誌*, 66(11), 1457-1466, 2010 年 11 月 . (査読あり)
- 黒木英郁, 片山礼司, 坂口太郎, 前田 孝, 杜下淳次, 早瀬尚文: 正規化順位法による解像度や表示色が異なる医用画像表示用液晶ディスプレイの評価, *日本放射線技術学会雑誌*, , 2010 年 11 月 . (査読あり)
- Yabuuchi H, Matsuo Y, Sunami S, Kamitani T, Kawanami S, Setoguchi T, Sakai S, Hatakenaka M, Kubo M, Tokunaga E, Yamamoto H, Honda H.: Detection of non-palpable breast cancer in asymptomatic women by using unenhanced diffusion-weighted and T2-weighted MR imaging: comparison with mammography and dynamic contrast-enhanced MR imaging., *Eur Radiol.* , , 2011 年 01 月 . (査読あり)
- Kumazawa S, Yoshiura T, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y: Partial Volume Estimation and Segmentation of Brain Tissue Based on Diffusion Tensor MRI, *Med. Phys.* , vol.37, 4, 1482-1490 , 2010 年 04 月 . (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Mitsumoto T, Sakaguchi Y, , Zhang T, Tachiya Y, Ohya N, Takagi S, Sasaki M: Evaluation of the image quality and clinical usefulness of breath-hold PET/CT for the diagnosis of thoracic lesions, 42th Workshop, Korean Society of Nuclear Medicine Technology, 2010 年 06 月 05 日, Korea.
- Asao K, Takaki A, Kamada S, Sasaki M.: Does the interpolated projection data estimation method improve the image quality of myocardial perfusion SPECT?, 42th Workshop, Korean Society of Nuclear Medicine Technology, 2010 年 06 月 05 日, Korea.
- Abe K, Baba S, Sawamoto H, Tanabe Y, Maruoka Y, Tasutsui Y, Yoshikawa H, Sasaki M, Honda H.: Clinical value of IMP-SPECT in diagnosis of ocular melanoma: comparison with MRI and FDG-PET, 57th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2010 年 06 月 05 日, United States of America.
- Baba S, Kaneko K, Abe K, Sawamoto H, Tanabe Y, Maruoka Y, Sasaki M, Honda H.: Extrahippocampal benzodiazepin receptor density of hippocampal sclerosis correlates with surgical outcome, 57th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2010 年 06 月 05 日, United States of America.
- Nakao M, Onizuka Y, Baba H, Fukahori M, Tanaka K, Hoshi M, Sasaki M, Matsufuji N: Mixed field dosimetry of accelerator-based neutron source for BNCT, The 6th International Workshop on Individual Monitoring of Ionizing Radiation, 2010 年 11 月 29 日, Japan.
- Nobukazu Tanaka, Yoshiharu Higashida, Kentaro Naka, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Physical imaging properties and detectability of simulated microcalcifications of digital magnification mammography with matched incident exposure, American Association of Physicists in Medicine 52nd Annual Meeting, 2010 年 07 月 18 日, United States of America.

- Michinobu Matsuyama, Keita Takahashi, Hiroshi Akamine, Shinichi Awamoto, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: When should we recalibrate the grayscale standard display function in different ambient lighting conditions?, American Association of Physicists in Medicine 52nd Annual Meeting, 2010年07月18日, United States of America.
- Keita Takahashi, Junji Morishita, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto: Comparison of the visual fatigue with a high-brightness color LCD and a monochrome LCD, American Association of Physicists in Medicine 52nd Annual Meeting, 2010年07月18日, United States of America.
- Hiroshi Akamine, Keita Takahashi, Michinobu Matsuyama, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Evaluation of viewing angle performance on the latest high-brightness color LCD monitors with the in-plane switching panel for medical images, American Association of Physicists in Medicine 52nd Annual Meeting, 2010年07月18日, United States of America.
- Nobukazu Tanaka, Yoshiharu Higashida, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Detectability of simulated microcalcifications of digital mammography with magnification technique, The 18th annual nationwide conference of Chinese Society of Imaging Technology (CSIT), 2010年09月18日, China.
- Michinobu Matsuyama, Keita Takahashi, Hiroshi Akamine, Nobukazu Tanaka, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Which of the calibration methods without or with ambient lighting should we choose?, The 18th annual nationwide conference of Chinese Society of Imaging Technology (CSIT), 2010年09月18日, China.
- Keita Takahashi (Silver Award), Yongsu Yoon, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: ROC analysis for detecting low contrast objects on LCDs with different maximum luminance settings, The 18th annual nationwide conference of Chinese Society of Imaging Technology (CSIT), 2010年09月18日, China.
- Hiroshi Akamine, Keita Takahashi, Michinobu Matsuyama, Nobukazu Tanaka, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Comparison of the viewing angle performance for medical-grade and general-purpose LCD monitors, The 18th annual nationwide conference of Chinese Society of Imaging Technology (CSIT), 2010年09月18日, China.
- Yabuuchi H, Hatakenaka M, Tsukamoto H, Matsuo Y, Sunami S, Kamitani T, Jinnouchi M, Suzuki K, Akashi K, Honda H: Evaluation of the extent of ground-glass opacity on high-resolution CT in patients with interstitial pneumonia: comparison between quantitative and qualitative analysis., European Congress of Radiology, 2011年03月03日, Austria.
- Kumazawa S, Yoshiura T, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y: Development of partial volume segmentation of brain tissue based on diffusion tensor imaging (DTI), International Society for Magnetic Resonance in Medicine, 2010年05月04日, Sweden.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 張鉄嬌、坂口裕一、光元勝彦、立谷洋輔、佐々木雅之、大屋信義、高木真三: TOF および PSF 搭載 PET/CT 装置の性能評価と初期経験, 第 66 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2010年04月08日, 横浜市.
- 光元勝彦、張鉄嬌、坂口裕一、立谷洋輔、佐々木雅之、大屋信義、高木真三: 胸部病変診断における息止め PET/CT の有用性の検討, 第 66 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2010年04月08日, 横浜市.

- 阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、田邊祥孝、本田浩、吉川洋、筒井悠治、佐々木雅之：IMP-SPECTによる眼窩メラノーマ診断能：MRI、FDG-PETとの比較，第69回日本医学放射線学会総会，2010年04月08日，横浜市。
- 佐々木雅之：初心者・卒後研修医コース「消化器・泌尿器の核医学検査」，第10回日本核医学会春季大会，2010年05月01日，東京都江戸川区。
- 佐々木雅之：核医学専門医受験者・核医学指導者コース「消化器・泌尿器核医学の基礎と臨床」，第10回日本核医学会春季大会，2010年05月01日，東京都江戸川区。
- 丸岡保博、阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、田邊祥孝、松尾芳雄、本田浩、佐々木雅之、矢野篤次郎：FDG-PETにて高集積を呈した腭 solid-pseudopapillary tumor の一例，第171回日本医学放射線学会九州地方会，2010年06月19日，福岡市。
- 光元勝彦、坂口裕一、張鉄嬌、佐々木雅之、大屋信義、高木眞三、立谷洋輔：胸部病変診断における息止めPET/CTの至適撮像撮像条件の検討，第30回日本核医学技術学会総会学術大会，2010年11月11日，さいたま市。
- 張鉄嬌、光元勝彦、佐々木雅之、石川香、赤松剛、大屋信義、高木眞三：PSFおよびTOF補正PET画像における至適再構成条件の検討，第30回日本核医学技術学会総会学術大会，2010年11月11日，さいたま市。
- 丸岡保博、阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、田邊祥孝、本田浩、佐々木雅之：分化型甲状腺癌ヨード治療におけるSPECT/CTの有用性についての検討，第50回日本核医学会総会，2010年11月11日，さいたま市。
- 馬場眞吾、阿部光一郎、澤本博史、田邊祥孝、丸岡保博、大賀才路、塩山善之、本田浩、佐々木雅之：悪性リンパ腫におけるrecovery係数補正後のSUV値の有用性についての検討，第50回日本核医学会総会，2010年11月13日，さいたま市。
- 澤本博史、阿部光一郎、馬場眞吾、田邊祥孝、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之：PET画像再構成におけるTime-of-Flight処理がSUVに及ぼす影響，第50回日本核医学会総会，2010年11月13日，さいたま市。（公開）
- 赤松剛、石川香、榎本真奈、山口可奈、張鉄嬌、光元勝彦、佐々木雅之、高木眞三、大屋信義：PET/CT検査におけるPSF補正およびTOF補正の効果と体格との関係の検討，第5回九州放射線医療技術学術大会，2010年11月20日，熊本市。
- 石川香、赤松剛、榎本真奈、山口可奈、張鉄嬌、光元勝彦、佐々木雅之、高木眞三、大屋信義：PET/CT検査の画質に与える投与量の影響とPSF補正およびTOF補正による改善，第5回九州放射線医療技術学術大会，2010年11月20日，熊本市。
- 山口可奈、榎本真奈、赤松剛、石川香、光元勝彦、張鉄嬌、佐々木雅之、小宮勲、千住竜之、筒井悠治、大屋信義、安岡博昭：Heart Score Viewと心筋ファントムを用いた心筋血流SPECTの収集条件の検討，第5回九州放射線医療技術学術大会，2010年11月20日，熊本市。
- 榎本真奈、山口可奈、赤松剛、石川香、光元勝彦、張鉄嬌、佐々木雅之、筒井悠治、大屋信義、安岡博昭：3D脳ファントムと3D-SSPを用いた脳血流SPECT画像の二機種間の差の検討，第5回九州放射線医療技術学術大会，2010年11月21日，熊本市。
- 進村明子、阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、田邊祥孝、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之：後天性穿孔性皮膚症の一例，第46回日本核医学会九州地方会，2011年02月05日，宮崎市。
- 田邊祥孝、阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之、藤田展宏：T1シンチによる骨肉腫術前化学療法の治療効果予測についての検討，第46回日本核医学会九州地方会，2011年02月05日，宮崎市。
- 三田村知佳、阿部光一郎、馬場眞吾、磯田拓郎、丸岡保博、松尾芳雄、本田浩、久保雄一郎、佐々木雅之：Churg-Strauss症候群の治療過程で肺乳頭腫を合併した一例，第47回日本核医学会九州地方会，2011年02月04日，久留米市。

- 阿部光一郎、馬場眞吾、磯田拓郎、丸岡保博、本田 浩、伊藤鉄英、五十嵐久人、佐々木雅之：自己免疫性膵炎の FDG-PET/CT 所見，第 47 回 日本核医学会九州地方会，2011 年 02 月 04 日，久留米市。
- 平田秀紀：アンケートからみた年代別放射線科医のライフスタイル，第 46 回日本医学放射線学会秋季臨床大会，2010 年 09 月 18 日，横浜。
- 杜下淳次：「診断領域における医学物理の役割」 デジタル X 線写真とコンピュータを利用した解析，日本医学物理学会第 100 回学術大会，2010 年 09 月 24 日，学術総合センター 東京。
- 杜下淳次，肥合 康弘 阿部 一之、村上 康則、荒木 不次男、大喜 雅文、緒方 隆昭、和田 博文：教育機関と臨床現場の連携のあり方，日本放射線技術学会九州部会，2010 年 11 月 20 日，崇城大学市民ホール(熊本市民会館)。
- 赤嶺寛地，キム ミンジョン，杜下淳次，高橋慶多，松下慎吾，松山倫延：医用 LCD モニタ (in-plane switching 方式) の視野角特性の比較，日本放射線技術学会第 66 回総会学術大会，2010 年 04 月 08 日，パシフィコ横浜。
- 矢野佑季，藪内英剛，杜下淳次，田中延和，増田雅史，今村和彰，木村恵理子，濱田翔吾，日高恭平：胸部単純 X 線画像における模擬病変の検出能：Irradiation side sampling 方式間接型 FPD と CR の比較，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 日高恭平、藪内英剛、西川啓、大賀正浩、今村和彰、木村恵理子、濱田翔吾、矢野佑季、西江昭弘、畠中正光、本田浩：3T MRI における上腹部領域の画質評価：MultiTransmit と SingleTransmit の比較，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 木村恵理子、藪内英剛、小林幸次、今村和彰、濱田翔吾、日高恭平、矢野佑季、畠中正光、本田浩：正常乳腺における拡散異方性の検討，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 今村和彰、藪内英剛、古閑省一、小林幸次、西川啓、木村恵理子、濱田翔吾、日高恭平、矢野佑季、畠中正光、本田浩：乳腺拡散強調 MRI において拡散強調傾斜磁場軸数の与える影響の検討，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 濱田翔吾、藪内英剛、近藤雅敏、樋口江、熊澤誠志、本村賢大朗、今村和彰、木村恵理子、日高恭平、矢野佑季、畠中正光、本田浩：256 列 CT を用いた低線量撮影の画質評価，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 寶部真也，赤嶺寛地，藪内英剛，杜下淳次：胸部 X 線写真とマモグラムを LCD に表示したときの輝度幅に関する研究，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 徳禮将吾，高橋慶多，朝原正喜，杜下淳次：デジタルカメラによる医用 LCD の評価：Bayer 配列の CCD を採用しているカメラの raw データの取り扱いについて，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 幾嶋洋一郎，赤嶺寛地，杜下淳次：液晶ディスプレイモニタの視野角特性の視覚評価，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 21 日，崇城大学市民ホール。
- 高橋慶多，杜下淳次，田代洋行，中村泰彦：医用液晶ディスプレイを用いた X 線画像観察による眼の疲労度の客観的な評価，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 20 日，崇城大学市民ホール。
- 津田規吏，田中延和，赤坂 勉，藪内英剛，杜下淳次：両面集光方式 CR システムの粒状性の評価，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 20 日，崇城大学市民ホール。
- 峠 理沙，ブサラ スーントンウィチャガーン，杜下淳次：胸部単純 X 線画像における生体指紋情報を用いた患者自動認識の改善，第 5 回九州放射線医療技術学術大会，2010 年 11 月 20 日，崇城大学市民ホール。

- 田中延和, 赤坂 勉, 藪内英剛, 大喜雅文, 杜下淳次: Irradiation side sampling 方式による間接変換型 FPD の画質, 医用画像情報学会 MII 平成 22 年度春季(第 159 回)大会, 2011 年 02 月 05 日, 九州大学.
- 赤嶺寛地, 豊福不可依, 杜下淳次: Liquid-crystal display における色の变化, 医用画像情報学会 MII 平成 22 年度春季(第 159 回)大会, 2011 年 02 月 05 日, 九州大学.
- 松山倫延, 赤嶺寛地, 松下慎吾, 高橋慶多, 中村泰彦, 粟元伸一, 杜下淳次: 環境照度が医用 LCD モニタのコントラスト応答試験に及ぼす影響, 日本放射線技術学会第 66 回総会学術大会, 2010 年 04 月 08 日, パシフィコ横浜.
- 藪内英剛: 移植後肺合併症の CT 所見 ～非感染性疾患を中心に～, 第 46 回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 2010 年 09 月 20 日, 横浜市.
- 熊澤誠志 吉浦敬 本田浩 豊福不可依: DT-MRI における部分体積効果を考慮した脳皮質領域抽出手法の開発, 日本磁気共鳴医学会, 2010 年 10 月 01 日, つくば市.
- 甲斐征八 熊澤誠志: Homomorphic Unsharp Masking を用いた MR 画像信号強度不均一の補正～局所的不均一に対する補正効果の検討～, 2010 年 11 月 20 日, 熊本市.
- 中島亮二 長井美菜子 熊澤誠志: 乳腺造影ダイナミック MRI における時間信号強度曲線を用いた腫瘍の鑑別診断法の改良の試み, 2010 年 11 月 20 日, 熊本市.
- 榎本隆文, 山田将太, 赤坂 勉 :PCXMC の有用性について(1)腹部系撮影, 第 5 回九州放射線医療技術学術大会, 2010 年 11 月 20 日, 熊本市.
- 山田将太, 榎本隆文, 赤坂 勉 :PCXMC の有用性について(2)骨盤系撮影, 第 5 回九州放射線医療技術学術大会, 2010 年 11 月 20 日, 熊本市.

f. 学会以外での講演, 発表

藪内英剛:乳腺の MRI ～乳腺診療における役割～, 第 48 回 CT・MRI セミナー 平成 22 年 11 月 19 日 久留米市.

著作

a. 単行本

- 佐々木雅之、坂口 裕一、張 鉄嬌: (共著) 医用画像ハンドブック, 2010 年 10 月, オーム社.
- 佐々木 雅之: (共著) 臨床医とコメディカルのための最新クリニカル PET., 2011 年 01 月, 先端医療技術研究所.
- 山田勝彦, 杜下淳次, 西谷源展, 向井孝夫 ほか: (共著) 診療放射線技師国家試験対策全科 改訂 9 版, 2010 年 05 月, 金芳堂.
- 村田喜代史、上甲剛、村山貞之編集 藪内英剛ほか: (共著) 胸部の CT 第 3 版, 2011 年 02 月, .
- 熊澤誠志(分担執筆): (共著) 医用画像ハンドブック(監修:石田隆行, 桂川茂彦, 藤田広志), 2011 年 01 月, .

b. 総説

- 平田秀紀: 臨床腫瘍学における画像診断と放射線治療の双方向性, JCRニュース178号, 2010 年 09 月, .
- 藪内 英剛、畠中 正光、松尾 芳雄、角南俊也、神谷 武志、陣内三佳子、瀬戸口 太郎、長尾充展、本田 浩: 呼吸器領域における造影 64 列、128 列造影 CT angiography の有用性肺動脈相撮影による肺動脈分岐型の把握を中心に, INNERVISION, 2010 年 11 月, .
- 藪内英剛、畠中正光、松尾芳雄、角南俊也、神谷武志、陣内三佳子、長尾充展、本田浩: 単純写真で診断できる疾患、診断すべき疾患. 胸部, 臨床画像, 2011 年 02 月, .

c. **解説, 書評など** なし

受賞

- 杜下, 「指導する修士学生の高橋慶多が受賞」, Sliver Award, CSIT (中華医学会影像技術学会), 2010年09月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, 株式会社ナナオ, 2006年05月~2014年03月, 非公開.
- 杜下, 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究, ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル, 2007年08月~2012年03月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木, Korean Society of Nuclear Medicine Technology (South Korea), 国際会議, 2010年06月~2010年06月 (2週間未満).
- 杜下, Korea University (Korea), 大学・研究所訪問, 2011年03月~2011年03月 (2週間未満).

2. 外国人研究者の受入れ

a. **訪問教授・研究員** なし

b. **訪問研究者** なし

留学生の受入れ

張 鉄嬌

修士課程

Busara Soontornwichakarn

研究生

留学生

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
- 佐々木, 九州大学病院サイクロロン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.
- 平田, 学生生活・修学相談員.
- 杜下, 医療系統合教育センター委員会.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木, 医学研究院保健学部門 施設委員長.
- 佐々木, 医学研究院保健学部門 FD委員長.
- 佐々木, 医用量子線科学分野 分野長.
- 佐々木, 保健学部門 副部門長.
- 平田, 学生委員長.
- 杜下, 施設環境委員会.
- 杜下, 教務委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 平田, 久留米大学認定看護師教育センター, 非常勤講師.

2. 学協会

- 佐々木, Annals of Nuclear Medicine, 編集委員, 国際.
- 佐々木, 核医学, 編集委員, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.
- 平田, RTOG 米国放射線腫瘍学会半年次大会に参加し意見交換・情報収集を行った, RTOG 米国放射線腫瘍学会, 学術団体.
- 平田, 日本放射線腫瘍学会, 評議員 (教育委員 看護教育担当), 国内.
- 平田, 日本放射線科専門医会, 理事, 国内.
- 平田, 日本放射線腫瘍学会教育委員会, 運営委員 (教育委員看護教育担当), 国内.
- 平田, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 平田, 国際癌治療増感剤研究会, 理事, 国内.
- 平田, 放射線影響懇話会, 運営委員 (世話人), 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会, 理事 (常務理事, 評議員, 編集委員会副委員長), 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事.

3. 官界

- 佐々木, 大学設置・学校法人審議会専門委員 (大学設置分科会), 文部科学省.
- 平田, 「九州大学 EEP により米国スタンフォード大学放射線腫瘍学科を視察し医学物理士教育についての情報収集・意見交換を行った」, 九州大学 EEP.
- 平田, 「ベトナム国ホーチミン市の Cho Ray 病院臨床腫瘍部門の視察・見学と教育講演を行い、現地スタッフとの意見・情報交換を行った。」, ベトナム国 Cho Ray 病院.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 平田, 「自分で守ろう自分の体～がん検診の重要性と治療の基本的考え方」, 九州大学医学部保健学科. 九州大学, 公開講座.
- 熊澤, 「九州大学医学部保健学科公開講座 自分で守ろう自分の体～がん検診の重要性～」, 九州大学医学部保健学科. 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学病院地区構内) 医学部百年講堂中ホール, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	藤本 秀士
教授	大澤 進
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	外園 栄作

1. 教育活動

1. 大学院講義

アジアにおける保健学	藤本	前期
生体情報解析学 I	藤本	前期
病原情報解析学論	藤本	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	大澤	前期
臨床化学分析学論	大澤	後期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

2. 大学院演習

臨床化学分析学論 (分担)	大澤	後期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

3. 学部講義

臨床微生物学および実習	藤本	前期
病原体学特論	藤本	後期
感染看護学	藤本	後期
病原体学	藤本	前期
臨床微生物学特論	藤本	前期
コアゼミナール(分担)	藤本	前期
医療法律学 II (分担)	藤本	後期
精度管理特論	大澤	後期
医用分析装置学	大澤	前期
臨床化学 I	大澤	前期
臨床化学 II	大澤	後期
医療情報システム	大澤	後期
検査管理総論	大澤	前期

検査情報管理学	大澤	後期
遺伝子検査学 (分担)	水上	前期
コアゼミナール (分担)	水上	前期
生体情報計測学 (分担)	田代	前期
生理機能検査総論 I (分担)	田代	前期
医療安全管理学 (分担)	田代	後期
生理機能検査総論 II (分担)	田代	後期
生体医工学 (分担)	田代	前期
医療情報システム (分担)	田代	前期
医用超音波工学 (分担)	田代	前期
医用安全管理学特論 (分担)	田代	後期
呼吸機能検査学 (分担)	田代	前期
生理機能検査学特論 (分担)	田代	後期
画像検査学 (分担)	田代	前期
国際感染症学	小島	前期
臨床検査総論	小島	後期
人体の構造と機能 I (分担)	小島	通年
医療法律学 (分担)	小島	後期
コアセミナー	小島	前期

4. 学部の実験・実習・演習

臨床微生物学および実習	藤本	前期
感染看護学	藤本	後期
コアゼミナール	藤本	前期
臨床化学実習	大澤	後期
検査情報管理学演習	大澤	後期
遺伝子検査学実習 (分担)	大澤	後期
卒業研究 (分担)	水上	通年
自然科学総合実験 (分担)	水上	後期
遺伝子検査学実習 (分担)	水上	後期
コアゼミナール (分担)	水上	前期
生理機能検査学実習 (分担)	田代	後期
医用工学・情報概論実習 (分担)	田代	前期
生体情報計測学実験 (分担)	田代	後期
超音波検査実習 (分担)	田代	後期
臨床検査総論実習	小島	前期
国際感染症学実習	小島	後期
コアセミナー	小島	前期
臨床検査総論実習	外園	前期
公衆衛生学実習	外園	前期
医用工学・情報概論実習	外園	前期
臨床生理学実習	外園	後期
臨床化学実習	外園	後期

5. 卒業論文作成者

松本 沙矢佳	<i>Campylobacter</i> 属のキノロン耐性
瀧田 比呂志	<i>Campylobacter</i> 鞭毛フックタンパク遺伝子 flgE を用いた PCR-RFLP 法による菌株識別の検討
岡村 亜弥	馬尿酸加水分解陰性または弱陽性である <i>Campylobacter jejuni</i> の臨床分離株における頻度
小川 紗代	Random Amplified Polymorphic DNA 法を用いた <i>Campylobacter jejuni</i> の菌株識別
中川 望	臨床検体に付随する情報の解析による <i>Campylobacter</i> 腸炎散発事例の実態解明
瀬戸 眞奈美	尿中超微量サルコシンの高感度酵素的測定法の開発
筑坂 美保	血清中超微量サルコシンの高感度酵素的測定法の開発
早川 彰	手指採血による希釈血漿中の生体成分測定法の開発
高橋 由美子	ヒト好中球における p47 ^{phox} の AIR (autoinhibitory region) の機能
仲原 佑貴	p40 ^{phox} の SH3 ドメインの好中球における機能
野口 愛	ヒト好中球 p47 ^{phox} の食胞膜への移行における SH3 ドメインの意義
斎藤 真子	<i>Anisakis simplex</i> 幼虫の生物学的特性について
持田 真央	染色法を用いたランブル鞭毛虫シストの簡易検出
太田 英里	尿中総蛋白測定試薬の検討

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

藤本 顧問 医学部保健学科 サッカークラブ

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本
2	病原細菌の感染機構の解明	藤本
3	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本
4	生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用	大澤
5	標準化と検査データの共有化・精度管理	大澤
6	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上
7	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上
8	人工視覚システムの開発	田代
9	超音波検査室の適切照明に関する研究	田代
10	アニサキスに関する研究	小島
11	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
12	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園

2. 奨学寄附金の受入れ

- 「寄付金/生化学自動分析装置の開発」日立ハイテクノロジーズ, 大澤, 600 千円.
- 「寄付金/手指採血システム開発」株式会社 リージャー, 大澤, 1,200 千円.

3. その他の外部研究資金の受入れ

- 「厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究推進事業）バイオリスク管理の包括的強化及び必要な教材等の開発と実践の評価に関する研究」藤本(分担), 38, 383 千円(研究代表者一括計上).
- 「株式会社 リージャー 手指採血における生化学成分の測定法の開発」大澤, 4,800 千円.
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求」田代, 21,000 千円.
- 「ヤマギワ(株),(株)コメディカル 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」田代, 400 千円.
- 「関東化学株式会社 クロロホスホナゾⅢを用いた血清 Ca 測定試薬の開発」外園, 300 千円.

4. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Minakami, R., Maehara, Y., Kamakura, S., Kumano, O., Miyano, K., Sumimoto, H.: Membrane phospholipid metabolism during phagocytosis in human neutrophils., *Genes to Cells*, 2010 年 04 月. (査読あり)
- 高橋慶多, 杜下淳次, 田代洋行, 中村泰彦: 医用液晶ディスプレイを用いた X 線画像観察による眼の疲労度の客観的な評価, *日本放射線技術学会雑誌*, 2010 年 11 月. (査読あり)
- 外園 栄作, 甲木 宏美, 小野 美由紀, 堀田 多恵子, 栢森 裕三, 大澤 進: 「マイクロ TP-AR(2)」による尿中総蛋白測定試薬の基礎的性能評価, *日本臨床自動化学会誌*, 2010.Vol 35-No.5, 920-926, 2010 年 10 月. (査読あり)
- 外園 栄作, 小島 夫美子, 大澤 進: キサンテン系色素を用いた新しい尿沈渣染色液・保存液の検討— 第 1 報 染色色素の選定を中心に —, *医学検査*, 2010.Vol.59 No.10 p1158-1164, 2010 年 10 月. (査読あり)
- 外園 栄作, 吉田 彩香, 湯村 旭代. 大澤 進: 虚血性心疾患の新たなマーカーとしての血漿遊離コリンの酵素的測定法の開発, *医学検査*, 2010.Vol.59 No.12 p1281-1286, 2010 年 12 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shigematsu M, Fujimoto S.: Web-based biorisk management education for co-medical "laboratory worker" course students., 2010 年 04 月 01 日, Armenia.
- Mika Shigematsu, Shuji Fujimoto: Web-based biorisk management education for co-medical laboratory worker course students., 14th Annual Conference of The European Biosafety Association, 2010 年 06 月 22 日, Slovenia.
- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu.: Molecular epidemiological analysis of *Campylobacter* isolates in Fukuoka, Japan., 12th Western Pacific Congress on Chemotherapy and Infectious Diseases, 2010 年 12 月 04 日, Singapore.
- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu.: Molecular epidemiological analysis of *Campylobacter* isolates in Fukuoka, Japan., IMED 2011 (International Meeting on Emerging Diseases & Surveillance), 2011 年 02 月 05 日, Austria.
- Fumiko Kojima, Satoshi Toki, Shuji Fujimoto : Negative Stain is Useful for the Rapid Detection of Helminth Eggs in Clinical Fecal Specimens, 12th Western Pacific Congress on Chemotherapy and Infectious Diseases (12THWPCCID), 2010 年 12 月 04 日, Singapore.

c. 調査研究報告

- 藤本秀士, 重松美加, 伊藤健一郎: 生物学的安全キャビネット性能評価試験のバイオリスク管理教育プログラムへの参照 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2011 年 03 月.

- 藤本秀士, 重松美加: 大学院におけるバイオリスク管理トレーニングコース導入の試み (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2011年03月.
- 藤本秀士: バイオリスク管理教育に関する国際的な協調・協力体制の構築に向けた動き (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2011年03月.
- 桑克彦, 稲次 稔, 千葉光一, 細萱茂実, 大澤 進, 他: 臨床検査用分析装置における自動校正システムの開発に関するフィージビリティスタディ, 財団法人 機器システム振興協会, 2010年04月.
- 桑 克彦, 稲次 稔, 千葉光一, 細萱茂実, 大澤 進, 山本慶和: 臨床検査用分析装置における自動校正システムの開発に関するフィージビリティスタディ 報告書, 財団法人 機械システム振興協会 日本臨床検査標準協議会, 2011年03月.

d. 国内学会での講演, 発表

- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: バイオリスク管理教育における Web Based Training の活用, 第84回日本感染症学会総会, 2010年04月05日, 京都国際会議場.
- 藤本秀士, 小島夫美子, 原田由紀子, 重松美加: 福岡におけるカンピロバクター臨床分離株の分子疫学解析, 第84回日本感染症学会総会, 2010年04月05日, 京都国際会議場.
- 藤本秀士, 重松美加: 米国におけるバイオリスク管理教育, 第5回日本臨床検査学教育学会, 2010年08月20日, 弘前大学大学院保健学研究科.
- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: WBTを利用したバイオリスク管理教育の試み, 第5回日本臨床検査学教育学会, 2010年08月20日, 弘前大学大学院保健学研究科.
- 藤本秀士, 小島夫美子, 東田正二: 福岡地域のカンピロバクター臨床分離株における分子疫学解析, 第22回日本臨床微生物学会総会, 2011年01月09日, 岡山.
- 細萱茂実, 尾崎由起男, 大澤 進: 途上国における臨床検査精度保証システム構築の試み, 第56回 日本臨床検査医学会学術集会, 2010年08月27日, 札幌市.
- 北尾 拓也, 伊藤 卓祐, 佐川 祐樹, 富松 慎吾, 村上 歩, 野田 俊彦, 笹川 清隆, 徳田 崇, 神田 寛行, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 不二門 尚, 太田 淳: 貫通コンタクト電極型人工視覚デバイスの作製と機能実証, 平成23年 電気学会全国大会, 2011年03月18日, 大阪大学 豊中キャンパス.
- 野田 俊彦, 富松 慎吾, 村上 歩, 佐川 祐樹, 北尾 拓也, 伊藤 卓祐, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 神田 寛行, 笹川 清隆, 徳田 崇, 不二門 尚, 太田 淳: 凸形刺激電極とCMOSチップを搭載したフレキシブル人工視覚デバイスの作製と機能実証, 2011年春季第58回 応用物理学会学術講演会, 2011年03月26日, 神奈川工科大学. (公開)
- 野口 ゆかり, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 外園栄作, 小宮陽子, 中村邦夫, 樗木晶子: 超音波検査室の検査者・被検者各位置の照度に影響する室内照明環境状況調査, 日本超音波医学会第83回学術集会, 2010年05月30日, 国立京都国際会館.)
- 田代洋行, 島ノ江信芳, 杜下淳次, 野口 ゆかり, 外園栄作, 小宮陽子, 樗木晶子, 中村邦夫: 超音波検査室の照明設置位置・照度によるCRTモニターの輝度比に与える影響, 日本超音波医学会第83回学術集会, 2010年05月30日, 国立京都国際会館.
- 野口 ゆかり, 島ノ江信芳, 田代洋行, 杜下淳次, 外園栄作, 小宮陽子, 中村邦夫, 樗木晶子: 超音波検査時の照度に与える室内照明調光の状況調査, 第35回日本超音波検査学会, 2010年05月08日, 大阪国際会議場. (公開)
- 高橋慶多, 杜下淳次, 田代洋行, 中村泰彦: 医用液晶ディスプレイを用いたX線画像観察による眼の疲労度の客観的な評価, 第5回九州放射線医療技術学術大会, 2010年11月20日, 熊本市民会館.
- 小島夫美子, 藤本秀士: 寄生虫卵の検出・鑑別における染色法改良の試み, 第84回日本感染症学会, 2010年04月06日, 国立京都国際会館.

- 小島夫美子. 藤本秀士: 電子教材作成ソフト eXe を用いた寄生虫卵アトラスの作成, 第 5 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 2010 年 08 月 20 日, 弘前大学大学院保健学研究科.
- 小島夫美子, 藤本秀士: 糞便内寄生虫卵の検出・鑑別における染色法の応用, 第 22 回日本臨床微生物学会, 2011 年 01 月 08 日, 岡山コンベンションセンター.
- 前村 香里. 外園 栄作. 山本 雄彬. 大澤 進: 酵素サイクリング法によるアルコールの定量, 日本医学検査学会, 2010 年 05 月 23 日, 神戸.
- 山本 雄彬. 前村 香里. 外園 栄作. 大澤 進: 尿中還元物質の濃度測定法の試行, 日本医学検査学会, 2010 年 05 月 22 日, 神戸.
- 外園 栄作. 中野 倫太. 小口 雄二. 大澤 進: MRI 造影剤の影響を回避した新しい血清カルシウム測定試薬の検討, 臨床化学会, 2010 年 09 月 25 日, 甲府.

著作

a. 単行本

- 藤本秀士: (単著) 糖尿病に合併する感染症: ヘリコバクター・キャンピロバクター, 2010 年 05 月, 医学出版.
- 藤本秀士. 目野郁子. 小島夫美子: (編集) 病原体・感染・免疫 改訂2版, 2010 年 12 月, 南山堂.
- Minakami, R.: (共著) Free Radical Biology in Digestive Diseases, 2010 年 12 月, S Karger Pub.
- 藤本秀士. 小島夫美子: (共著) わかる! 身につく! 病原体/感染・免疫 改訂 2 版, 2010 年 12 月, 南山堂.
- 大澤 進 : (共著) パーフェクトガイド 検査値辞典, 2010 年 11 月, 総合医学社.
- 大澤 進 : (共著) 臨床検査技師ポケットレビュー帳 上巻, 2010 年 10 月, Medical View.

b. 総説

- 大澤 進: 我が国の臨床化学検査の標準化と全国検査値標準化の進展, 臨床化学, 2010 年 04 月 .

c. 解説, 書評など

- 大澤 進: 臨床検査の分析技術と分析化学領域からの貢献, ぶんせき, 2010 年 10 月 .
- 外園 栄作: 尿中微量アルブミンの測定法, 検査と技術(医学書院), 2010 年 05 月.
- 外園 栄作: 尿蛋白測定法-ピロガロールレッド Mo 法の問題点と改良試薬の評価-, 検査と技術(医学書院), 2010 年 08 月.
- 外園 栄作: 第 42 回日本臨床検査自動化学会レビュー, Medical Technology (医歯薬出版), 2011 年 02 月.

受賞

- 大澤, 「生化学検査分野で数多くの検査法の改良と開発. また臨床検査の標準化では常用基準法の設定を行うと同時に技師会の検査値標準化事業の副委員長として全国の検査データの標準化や基準範囲の設定にも貢献した. 」, 緒方富雄賞, 日本臨床検査同学院, 2010 年 11 月.

報道

- 田代, 日経 Tech-on, 「【応物学会プレビュー】眼球に埋め込んで使う CMOS ベースの人工視覚素子, 奈良先端大などが電気刺激の安全性を向上 日経 Tech-on 2011/3/8」, 2011 年 03 月.
- 田代, 日経産業新聞, 「人工視覚装置 網膜刺激負担少なく 奈良先端大など 視力回復へ動物実験 日経産業新聞 2011/03/09」, 2011 年 03 月.
- 田代, 世界一受けたい授業, 「アナタの知っている医療はもう古い! ? 不可能を可能にする最先端医療 2011 失明患者のための人工視覚 日本ではつい最近. 失明患者のための人工視覚が成功しました. 網膜の異常で失明した患者の網膜に 電極のチップを装着し. 目の前にあるものの情

報を目以外の場所に取り付けた小型カメラで取り込み、体外の高性能のコンピューターで処理して網膜の電極チップに送って、そこからは目に見えたときと同じように電気信号として脳に送られるようになっていきます。目が見える仕組みの一部分をハイテクのチップに置き換える事によって視覚を代替させているのです。」、2011年01月。

- 田代, 読売新聞, 「失明に人工視覚. 白い光「見えた」…国内初」, 2010年12月.
- 田代, NHK スタジオパーク, 「進化する人工感覚医療」, 2010年07月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 大澤, 手指採血における生化学成分の測定法の開発, 株式会社 リージャー, 2008年04月～2010年06月.
- 田代, 人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求, (株)ニデック, 2008年04月～2012年02月.
- 田代, 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究, ヤマギワ(株),(株)コメディカル, 2009年04月～2011年03月.
- 外園, エタノールアミンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006年04月～.
- 外園, 遊離コリンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006年04月～.
- 外園, クロロホスフォナズⅢを用いた血清 Ca 測定試薬の開発, 関東化学株式会社, 2009年10月～2010年12月.

2. 取得特許

- 視覚再生補助装置, 田代 洋行, 特許番号:4492853.
- 全血コリンの測定方法, 植田 成 酒瀬川 信一 湯村 旭代 外園 栄作 大澤 進.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本, IFBA2011(Thailand), 国際会議, 2011年02月～2011年02月(2週間未満).
- 藤本, ISID2011(Austria), 国際会議, 2011年02月～2011年02月(2週間未満).
- 外園, Sierra International Collage(United States of America), 大学・研究所訪問, 2010年08月～2010年08月(2週間以上1ヶ月未満).

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員.
- 藤本, 教務委員会 委員.
- 藤本, 高等教育開発推進センター 全学教育運営会議 委員.
- 藤本, 医療系統合教育研究センター委員会 委員.

2. 部局委員

- 藤本, 医学分館運営委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 藤本, 教務委員会 委員長.
- 藤本, 入試出題委員(英語, 専門科目).
- 藤本, 施設委員会 委員.
- 藤本, 大学院委員会 委員.
- 小島, 教務委員会 委員.
- 小島, 質の高い大学教育推進プログラム委員.
- 外園, FD 委員会 委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 藤本, 大村美容専門学校, 非常勤講師.
- 藤本, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 水上, 福岡教育大学教育学部, 非常勤講師.
- 小島, 福岡医科歯科技術専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 藤本, 日本感染症学会, 評議員, 国内.
- 大澤, 日本臨床検査自動化学会, 理事(監事・編集幹事), 国内.
- 大澤, 日本臨床検査学教育協議会, 理事, 国内.
- 外園, 日本臨床検査同学院, 九州地区実務委員, 学術団体, 国内.
- 外園, 健康食品管理士会九州支部, 事務局長, 国内.

3. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 藤本, 「コンサルタント(株)日立ハイテクノロジーズ 研究開発本部」, 2010-08-01 .
- 水上, 「福岡県立筑紫丘高校1. 2年生を対象として2010年6月10日におこなわれた「社会人講演会」において. 講演をおこなった. 」, 2010-01-01 .
- 小島, 「大学内保育園における評議委員」, 2010-01-01 .

4. 初等中等教育への貢献

- 田代, 「佐賀県教育センター 高等学校理科担当教員専門研修 高校生物I講座(体内環境の維持及び刺激受容のメカニズム)」, 場所 佐賀県教育センター 対象 高等学校理科担当教員 内容 新学習指導要領のポイントが分かります. 外界の刺激に対して生物が体内環境をどのように維持しているかを講義・実習を通して学べます. 神経分野に関する最新の科学技術を含め. 生物の刺激受容のメカニズムが. 講義・実習を通して分かります. 講演・セミナー等.

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授	梅村 創
教授	永淵 正法
教授	杉島 節夫
准教授	田宮 貞史
准教授	長山 淳哉
講師	勝田 仁
助教	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

血液機能検査学 (分担)	梅村	前期
保健学とチーム医療 (分担)	梅村	前期
生体情報解析学 I (分担)	長山	前期
代謝内分泌病態検査学論	勝田	後期

2. 大学院実験・実習

特別研究 (分担)	梅村	通年
-----------	----	----

3. 大学院演習

病態情報免疫代謝検査学演習 (分担)	梅村	前期
生体情報解析学 I (分担)	長山	前期

4. 大学院修士課程修了者

塩津 弘倫	エクソソーム内遺伝子に関する研究 (Genetic analysis of exosome)
藏藤 利暢	ウイルス誘発糖尿病感受性 SJL マウスに見られる自然変異 Tyk2 遺伝子の役割 (The role of Tyk2 gene in natural susceptibility to virus-induced diabetes in SJL mice)
永尾 幸大	自己免疫性膵炎モデルとしての Aire KO マウス (Aire KO mice with BALB/cAnN backgrounds as an Autoimmune Pancreatitis model)
野口 由樹子	IL-2刺激T細胞におけるAIRE遺伝子・蛋白の発現制御機構 (The regulation of AIRE gene and AIRE protein expression in IL-2 stimulated T cells)
西村 和徳	核小体の臨床的意義～子宮頸部腺系細胞を用いて～ (The significance of nucleoli of glandular cells in cervical smears)

5. 大学院博士課程修了者

宋裕賢	The significance of strong histone deacetylase 1 expression in the progression of prostate cancer
-----	---

6. 学部講義

血液検査学	梅村	前期
医学総論Ⅰ・Ⅱ	梅村	前期
輸血検査学	梅村	前期
遺伝子工学	梅村	後期
病理学総論 (分担)	田宮	前期
病理学各論 (分担)	田宮	後期
コアセミナー	田宮	前期
医療法律検査学特論 (分担)	長山	後期
公衆衛生学Ⅰ	長山	前期
公衆衛生学Ⅱ	長山	後期
環境保健学	長山	前期
遺伝子検査学 (分担)	勝田	前期
医学総論Ⅰ (分担)	勝田	前期
コアセミナー(臨床検査概論) (分担)	勝田	前期
医学総論Ⅱ (分担)	勝田	前期
医療法律検査学特論 (分担)	勝田	後期
生化学総論	勝田	前期
生化学各論	勝田	後期
検査情報管理学	勝田	後期
検査情報管理学演習	勝田	後期

7. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	梅村	後期
遺伝子検査学実習	梅村	後期
病理学実習 (分担)	田宮	後期
病理組織細胞学実習Ⅰ	杉島	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	杉島	前期
病理組織細胞学実習Ⅰ	田宮	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	田宮	前期
コアセミナー	田宮	前期
公衆衛生学実習	長山	前期
検査情報管理学演習	勝田	後期
生化学実習	勝田	前期
臨床微生物学および実習	栗崎	前期
生化学実習	栗崎	前期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
遺伝子検査学実習	栗崎	後期
国際感染症学実習	栗崎	後期
解剖学実習	渡邊	前期
病理組織細胞学実習Ⅱ	渡邊	前期
血液学実習	渡邊	後期
病理学実習	渡邊	後期
病理組織学実習Ⅰ	渡邊	後期

8. 卒業論文作成者

磯本 由佳	血液疾患における有核赤血球のフローサイトメトリー解析
内田 沙織	赤血球 microRNA 生成系の解析
原田 靖子	溶血性貧血における血漿 microRNA の解析
弘田 幸子	microRNA-451 の生物学的活性に関する研究-血管内皮細胞における解析-
井上 涼平	赤血球 miR-451 の解析 -血液疾患における臨床的意義の検討-
小田 秀晴	免疫染色による Aire 欠損マウスの自己抗体の検討
手嶋 美穂	マウスにおける FLN29 の塩基配列解析
中島 紫	新規開発細胞培養用ディッシュ上における ES 細胞分化能の検討
西野 彩	子宮頸部扁平上皮系病変における RD 法の有用性の検討
山口 将太	膀胱癌治療における核クロマチン分布の経時的変化～RD 値と PMC 分類の比較検討～
鬼塚 千明	非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の細胞学的特徴についての比較検討
安部 拓也	甲状腺乳頭癌の穿刺吸引細胞診によるリンパ節転移と細胞像の比較検討
岡 知美	浸潤性乳管癌における 細胞診標本と組織診標本で出現する 組織形態の違い
江口 暖美	浸潤性乳管癌の HER2 蛋白発現と穿刺吸引細胞診標本で出現する組織形態の違い
中村 花子	エタノール・ヘキサン法による人工乳からの脂質抽出に関する研究
増田 彩乃	クロロホルム・メタノール法による人工乳からの脂質抽出に関する研究
鍋谷 洋介	アセトン・ヘキサン法および高速溶媒抽出法による人工乳から脂質抽出に関する研究
服部 佳奈子	カンジダ感染マウスにおけるサイトカイン応答
古屋 華乙璃	二核細胞出現の機序

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	造血機能の遺伝子解析法の開発	梅村
2	microRNA による造血調節機構の解析	梅村
3	ヒト正常造血の分子機構	梅村
4	回復期造血における赤芽球系造血に関する研究	梅村
5	ウイルス誘発糖尿病	永淵
6	AIRE 遺伝子の発現調節と機能	永淵
7	1 型糖尿病感受性遺伝子研究	永淵
8	非浸潤性乳管癌の細胞学的検討	杉島
9	細胞および組織形態の客観的評価法について	田宮
10	臍帯を用いた研究	長山
11	有害物質の化学分析法に関する研究	長山
12	カネミ油症に関する研究	長山
13	膝島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
14	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
15	癌細胞における細胞形態学	渡邊

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的萌芽研究」ヒト赤血球microRNAによるマラリア感染機構の調節, 梅村(代表), 1100 千円.
- 「基盤研究(A)」自己免疫性多腺性内分泌不全症・カンジダ症の感染防御障害機構, 永淵(代表), 7,400 千円.

- 「挑戦的萌芽研究」AIRE研究を基盤にしたB細胞による1型糖尿病発症制御機構の解明，永淵（代表），900 千円。
- 「若手研究(B)」APECED疾患モデルマウスを用いたカンジダ感染防御機構の解析，栗崎（代表），1,500 千円。

3. 奨学寄附金の受入れ

- 「寄付金」福岡市医師会検査センター，田宮，4,800 千円。

4. その他の外部研究資金の受入れ

- 「文部科学省 文部科学省 平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育／日本国内の糖尿病患者数は，この 40 年間で約 3 万人から 700 万人程度にまで急速に膨れ上がってきており大きな社会問題となっている。糖尿病の治療には，食事・運動といった生活習慣の改善が必要であり，患者教育が極めて重要である。臨床の現場では，外来や入院中に糖尿病教室が開かれ大きな効果を上げているが，開催される時間や場所が限られることから，必ずしも糖尿病患者にとって容易にアクセスできる教育システムとはなっていない。このような背景を踏まえ，当保健学部門の Web 学習システム上に糖尿病教育システムを構築し，糖尿病患者がいつでも容易に糖尿病の情報にアクセスし学習できる環境を整備するとともに，患者，メディカルスタッフ等の医療現場と大学が情報を共有し，より高度の医療および教育システムを構築できることを目指した。」勝田，500 千円。
- 「川村理化学研究所 ヒト iPS 細胞の再生医療への臨床応用に向けた新規培養システムの開発／iPS 細胞が開発され再生医療への応用研究が急速に進歩している。しかし，iPS 細胞を多分化能を維持した状態で培養するためには，線維芽細胞などのフィーダー細胞上で培養する必要があり，臨床応用に向けた大きな障害の一つとなっている。我々は，企業と共同で特殊なナノ粒子をコートした新規培養ディッシュを新たに作製し，フィーダー細胞を用いずにヒト iPS 細胞を培養するシステムを開発している。」勝田，500 千円。

5. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Saovaros Svasti, Shizuka Masaki, Tipparat Penglong, Yasunobu Abe, Pranee Winichagoon, Suthat Fucharoen, Tsukuru Umemura: Expression of microRNA-451 in normal and thalassemic erythropoiesis, *Annals of Hematology*, e-pub, 2010 年 06 月。(査読あり)
- Akari Inada, Oogi Inada, Hiroshi Fujii, Tomoyuki Akashi, Katsuo Sueishi, Atsushi Fukatsu, Seiho Nagafuchi. : Different effects of islet transplantation and Detemir treatment on the reversal of streptozotocin induced diabetes associated with β cell regeneration., *Diabetology International*, 2010 年 09 月。(査読あり)
- Kohashi K, Oda Y, Yamamoto H, Tamiya S, Matono H, Iwamoto Y, Taguchi T, Tsuneyoshi M: Reduced expression of SMARCB1/INI1 protein in synovial sarcoma, *Modern Pathol*, , 2010 年 07 月。(査読あり)
- Hashimoto K, Yamamoto H, Shiratsuchi H, Nakashima T, Tamiya S, Higaki Y, Komune S, Tsuneyoshi M, Oda Y: S100P Expression in Ductal Type of Carcinoma ex Pleomorphic Adenoma, *Am J Surg Pathol*, 2011 年 03 月。(査読あり)(公開)
- Nagayama J, Todaka T, Hirakawa H, Hori T, Kajiwara J, Yoshimura T, Furue M: Polychlorinated dibenzofurans as a causal agent of fetal Yusho, *Chemosphere*, 2010 年 07 月。(査読あり)
- Naganama J, Irifune H, Tanaka M, Matsumoto N, Hirakawa H, Kajiwara J and Kurokawa Y: Comparison of lipid extraction from the serum by four different methods, *Organohalogen Compounds*, 2010 年 09 月。(査読あり)
- Nagayama J, Matsueda T, Hirakawa H, Iida T, Tsuji H, Yanagawa T, Fukushige J and Watanabe T: Different effects of organochlorine compounds in concentrations on whole and lipid weight bases on human health, *Organohalogen Compounds*, 2010 年 09 月。(査読あり)

- Kennedy J, Katsuta H, Jung MH, Marselli L, Goldfine AB, Balis UJ, Sgroi D, Bonner-Weir S, Weir GC.: Protective unfolded protein response in human pancreatic beta cells transplanted into mice., *PLoS One*. 2010 Jun 18;5(6):e11211. 2010年06月。(査読あり)
- 永淵 正法, 栗崎 宏憲, 勝田 仁: ウイルス感染の免疫防御と自己免疫, *日本臨床ウイルス学会, 臨床とウイルス*, 2011年03月。(査読あり)
- Hitoshi KATSUTA: Systemic Signals Promote Enhanced beta-Cell Mitosis in Insulin Resistant Mice., *ENDOCRINE REVIEWS*, 2010年06月。(査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Tsukuru Umemura, Yuka Tanaka, Yasunobu Abe, Suthat Fucharoen: MicroRNAs in Red Blood Cells, 第1回日本血液学会国際シンポジウム「赤血球造血の七不思議」, 秋田, 2010年07月01日, Japan.
- Tsukuru Umemura, Yuka Tanaka, Megumi Fujisaki, Shizuka Masaki, Hiromichi Shiotstu, Kanitta Srinoun, Suthat Fucharoen, Yasunobu Abe, Hisako Ichihara, Hiroyuki Toh and Hajime Hisaeda: MicroRNA-Ago2 Complex in Mature Human Red Blood Cell, The 3rd International Conference on Thalassemia in China, 2010年11月05日, China.
- Eriko Sada, Yasunobu Abe, Rie Ohba, Yoshimichi Tachikawa, Eriko Nagasawa, Shiratshuchi Motoaki, Ryoichi Takayanagi and Tsukuru Umemura: Vitamin K2 Modulates Differentiation and Apoptosis of Both Myeloid and Erythroid Lineages, 52nd Annual Meeting of American Society of Hematology, December 4-7, Orland, Florida, US, 2010年11月05日, Japan.
- Nagayama J, Irifune H, Tanaka M, Matsumoto N, Hirakawa H, Kajiwara J and Kurokawa Y: Comparison of lipid extraction from the serum by four different methods, 30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2010年09月12日, United States of America.
- Nagayama J, Matsueda T, Hirakawa H, Iida T, Tsuji H, Yanagawa T, Fukushige J and Watanabe T: Different effects of organochlorine compounds in concentrations on whole and lipid weight bases on human health, 30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2010年09月12日, United States of America. し

c. 国内学会での講演, 発表

- 田中由香, 塩津弘倫, 原田靖子, 内田沙織, 梅村創: 血漿 microRNA の解析—溶血性貧血のバイオマーカーとしての有用性—, 第56回日本臨床検査医学会九州地方会, 2011年02月12日, 福岡
- 塩津弘倫, 田中由香, 洪田樹, 梅村創. 白血病株化細胞 K562 由来エクソソーム内 miRNA に与えるイマチニブの影響. 第22回日本臨床化学会九州支部総会 合同地方会, 2011年2月12日, 福岡
- 田中由香, 塩津弘倫, 梅村創. 赤血球内 microRNA-Ago2 複合体の解析. 第57回日本臨床検査医学会学術集会, 2010 京王プラザホテル, 東京
- 梅村創, シンポジウム「臨床検査技術開発に求められる大学院教育の在り方」: 大学院における臨床検査技術教育—microRNA 研究の経験から—, 第57回日本臨床検査医学会学術集会, 2010, 京王プラザホテル, 東京
- 西村和徳, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 大喜雅文, 杉島節夫: 子宮頸部腺系病変の細胞像の数量的解析, 第51回日本臨床細胞学会春期大会, 2010年05月30日, 横浜.
- 杉島節夫, 大久保文彦, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 山元英崇, 久保真, 徳永えり子, 藪内英剛: 非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の細胞像の比較検討, 第51回日本臨床細胞学会総会, 2010年05月31日, 横浜.
- 杉島節夫, 渡邊寿美子, 田宮貞史: シンポジウム 大学院(修士課程)における細胞検査士養成について(九州がんプロ養成プランと細胞検査士教育), 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 2010年11月21日, 神戸市.

- 仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小田義直, 杉島節夫: 細胞検査士の学位取得 一保健学修士を取得して一, 第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2010 年 11 月 22 日, 神戸市.
- 杉島節夫, 大久保文彦, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 山元英崇, 徳永えり子, 藪内英剛: 両側に同時に発生した DCIS と Ductal adenoma の 1 例, 第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2010 年 11 月 22 日, 神戸市.
- 大久保文彦, 清松桂子, 仲正喜, 杉島節夫, 竹下正文, 高山浩一, 矢野篤次郎, 古賀孝臣, 山元英崇, 小田義直: 気管支擦過ブラシ洗浄液(ハックス液)を用いた EGFR 遺伝子変異検査の検討, 第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2010 年 11 月 21 日, 神戸市.
- 孝橋賢一, 小田義直, 山元英崇, 田宮貞史, 木下義晶, 田尻達郎, 田口智章: INI1 蛋白欠失腫瘍群における Glypican3 を用いた鑑別診断, 小児がん, 2011 年 01 月 01 日.
- 松浦傑, 小田義直, 山元英崇, 田宮貞史, 遠藤誠, 薛宇孝, 松田秀一, 岩本幸英: 淡明細胞軟骨肉腫および軟骨芽細胞腫における形質発現の検討, 日本整形外科学会, 2010 年 06 月 01 日.
- 勝田 仁, 赤司朋之, 永淵 正法, Gordon C. Weir: 膵 β 細胞における膵島ホルモン遺伝子発現の多様性と分化能の解析, 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010 年 05 月 27 日, 岡山市.
- 野口由樹子, 松尾友仁, 進藤美恵子, 小田淑恵, 栗崎宏憲, 永淵正法: 自己免疫調節 (Autoimmune Regulator, AIRE) 遺伝子の AIRE 遺伝子導入細胞と T 細胞における発現制御機構とその意義, 第 84 回日本感染症学会総会, 2010 年 04 月 06 日, 国立京都国際会館.
- 蔵藤利暢, 小川秀一郎, 甲斐裕次, 高上悦志, 和泉賢一, 安西慶三, 近藤しおり, 松尾友仁, 栗崎宏憲, 勝田仁, 永淵正法: マウス脳心筋炎ウイルス(EMCV)誘発糖尿病における防御機構と性差, 第 80 回日本感染症学会西日本地方学術集会, 2010 年 11 月 19 日, 松山市総合コミュニティセンター.
- 西村和徳, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 大喜雅文, 杉島節夫: 子宮頸部腺系病変における細胞像の数量的解析, 第 51 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2010 年 05 月 31 日, パシフィコ横浜.

d. 学会以外での講演, 発表

- 勝田 仁: 膵 β 細胞の保護と再生を目指した糖尿病治療, 第1回佐賀西糖尿病研究会, 2010 年 09 月 15 日, 佐賀市.
- 勝田 仁: 膵 β 細胞の保護と再生, 第1回総合臨床医のための糖尿病セミナー, 2010 年 09 月 28 日, 福岡市.
- 勝田 仁: ジョスリン糖尿病センターへ留学してー膵島移植と膵島再生ー, 第9回九州生活習慣病研究会, 2010 年 11 月 29 日, 福岡市.
- 勝田 仁: 膵 β 細胞の保護と再生, 九州大学大学院医学研究院保健学部門地域国際連携委員会 第2回地域フォーラム, 2011 年 02 月 09 日, 九州大学医学研究院保健学部門.
- 渡辺寿美子: 「細胞をみてわかることー細胞診検査の立場からー」, 第 8 回九州大学医学部保健学科公開講座 自分で守ろう自分の体〜がん検診の重要性〜, 2010 年 09 月 18 日, 九州大学医学部百年講堂.

著作

a. 単行本

- 永淵正法(編集代表): (共著) 糖尿病治療ハンドブック, 2010 年 04 月, 医学出版.

b. 総説

- 大澤進, 永淵正法: 1 型糖尿病の成因: 環境因子. 月刊糖尿病, 2010 年 11 月.

c. 解説, 書評など

- 詫間隆博, 近藤しおり, 栗崎宏憲: 糖尿病に合併する感染症 第14回 カンジダ, 月刊糖尿病, 2010年08月.
- 永淵正法, 栗崎宏憲, 勝田仁: ウイルス感染の免疫防御と自己免疫, 臨床とウイルス 第39巻第1号 p3-9, 2011年03月.

受賞なし 報道

- 長山, 北海道毎日新聞, 「体内のダイオキシンや農薬を効率的に排出する効果があるとして, 「玄米酵素」が特許を取得した. 」, 2010年05月.
- 長山, ヘルスライフビジネス No.494(7), 「玄米発酵食品がカネミ油症の有害物質の吸収を抑制し, 体外排泄を促進することが判明し, 特許を取得した. 」, 2010年07月.
- 長山, 西日本新聞, 「胎児性油症の発症に PCDF が影響していることを臍の緒を使って証明した. 」, 2010年07月.
- 長山, 朝日新聞, 「カネミ油症の原因物質が母親から胎児に移行し, 被害をもたらしたことを臍の緒の分析で証明したことが「ひと」の欄で紹介された. 」, 2010年09月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 勝田, ヒト iPS 細胞の再生医療への臨床応用に向けた新規培養システムの開発/iPS 細胞が開発され再生医療への応用研究が急速に進歩している. しかし, iPS 細胞を多分化能を維持した状態で培養するためには, 線維芽細胞などのフィーダー細胞上で培養する必要があり, 臨床応用に向けた大きな障害の一つとなっている. 我々は, 企業と共同で特殊なナノ粒子をコートした新規培養ディッシュを新たに作製し, フィーダー細胞を用いずにヒト iPS 細胞を培養するシステムを開発している. 川村理化学研究所, 2009年09月~2012年03月.

2. 受託研究

- 勝田, 文部科学省 平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム」医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育/日本国内の糖尿病患者数は, この40年間で約3万人から700万人程度にまで急速に膨れ上がってきており大きな社会問題となっている. 糖尿病の治療には, 食事・運動といった生活習慣の改善が必要であり, 患者教育が極めて重要である. 臨床の現場では, 外来や入院中に糖尿病教室が開かれ大きな効果を上げているが, 開催される時間や場所が限られることから, 必ずしも糖尿病患者にとって容易にアクセスできる教育システムとはなっていない. このような背景を踏まえ, 当保健学部門の Web 学習システム上に糖尿病教育システムを構築し, 糖尿病患者がいつでも容易に糖尿病の情報にアクセスし学習できる環境を整備するとともに, 患者, メディカルスタッフ等の医療現場と大学が情報を共有し, より高度の医療および教育システムを構築できることを目指した. 文部科学省, 2010年04月~2011年03月.

3. 取得特許

- 塩素系化合物排出促進用組成物, 岩崎輝明, 長山淳哉, 4495885.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 勝田, ハーバード大学ジョスリン糖尿病センター (United States of America), 大学・研究所訪問, 2010年07月~2010年08月 (2週間未満).
- 栗崎, SIERRA INTERNATIONAL COLLEGE (United States of America), その他, 2010年08月~2010年08月 (2週間以上1ヶ月未満).

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 永淵, 21世紀プログラム学内委員.
- 杉島, 学生委員会委員.
- 杉島, 九州大学学生生活・修学相談員.
- 長山, 環境保全委員

2. 部局委員

- 杉島, 学生感染委員会委員.
- 長山, 環境保全管理委員

3. 部門・コース内委員

- 杉島, 学生委員会副委員長.
- 勝田, 地域国際連携推進委員会・副委員長.
- 勝田, 卒業研究委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 渡邊, 福岡県立大学 看護学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 永淵, 日本臨床ウイルス学会, 幹事(常任幹事), 国内.
- 永淵, 臨床とウイルス, 編集委員(論文の査読, 特集の企画), 国内.
- 杉島, 日本細胞診断学推進協会, その他(代議員), 国内.
- 杉島, 日本細胞診断学協会細胞検査士会, その他(編集委員長), 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 杉島, 日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会報, 編集委員長, 国内.
- 杉島, Medical Technology, その他(編集協力スタッフ), 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会福岡県支部, その他(会計), 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, その他(編集委員), 国内.

3. 官界

- 永淵, 科学研究費委員会専門委員(第二段審査), 日本学術振興会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 勝田, 「保健学科国際フォーラムでは, 地域国際連携推進委員会・副委員長として, 企画運営を行い, 交際交流の推進を行った.」, 2010-05-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 勝田, 「第2回地域フォーラム/地域の医療関係者を対象に「膵β細胞の保護と再生を目指した糖尿病治療」というタイトルで講演を行った. 地域国際連携推進委員会. 九州大学大学院保健学部門, 講演会・公開討論.

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表			保健学部門		平成22年度
分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
臨床健康支援看護学	大池美也子 北原悦子 樗木晶子 川本利恵子 中尾久子	長家智子 原田博子	丸山マサ美 中尾富士子	道面千恵子 宮園真美 金岡麻希 木下由美子 富岡明子 <small>平成22年4月1日採用</small>	
広域生涯発達看護学	平田伸子 加来恒壽 鳩野洋子 長弘知恵 <small>平成22年9月30日退職</small>	新小田春美 濱田裕子 平野裕子 <small>平成23年3月31日退職</small> 木下義晶	野口ゆかり 藤野成美 寺岡佐和	藤田紋佳 末次美子 仲道由紀 木原深雪 木村一絵 前野有佳里 重松由佳子 <small>平成22年7月1日採用</small> ベヴァン宏美 <small>平成22年5月31日退職</small>	※ベヴァン:木村助教育児休業中の任用 H22.4.1～H22.5.31
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜雅文 豊福不可依	高橋昭彦 有村秀孝 納富昭弘 <small>平成23年3月16日採用</small>		小段謙一	
医用放射線科学	平田秀紀 小坂克子 佐々木雅之 杜下淳次 <small>平成22年4月1日昇任</small>	藪内英剛	熊澤誠志 <small>平成22年5月1日昇任</small>	赤坂勉	
検査技術科学					
生体情報学	藤本秀士 大澤進	水上令子	田代洋行 小島夫美子	外園栄作	
病態情報学	梅村創 永淵正法 杉島節夫	田宮貞史 長山淳哉	勝田仁 <small>平成22年4月1日採用</small>	栗崎宏憲 渡邊壽美子	
国際教育センター (兼 医学系学府担当・ 医学部勤務)			CONNOR SUZANNE MARIE <small>平成22年4月1日採用</small>		

【部門内選出】

No.	委員名	任期等					
		1	2	3	4	5	6
部門長	加来	加来	加来	加来	加来	加来	加来
副部門長	梅村 大喜	梅村 大喜	梅村 大喜	梅村 大喜	梅村 大喜	梅村 大喜	梅村 大喜
分野長(教授①)	川本	大池	嶋野	北原	中尾(久)	北原	北原
看護学	小坂	寺岡			野口		
医用量子線科学	大澤	豊福	豊福	豊福			
検査技術科学	大澤	高橋	豊福	豊福			
総務委員会	加来	豊福	豊福	豊福	加来	加来	加来
委員長	梅村	大池	大池	大池	梅村	梅村	梅村
副委員長	嶋野	寺岡	嶋野	嶋野	北原	北原	北原
看護学							
分野から選出する委員							
医用量子線科学							
検査技術科学							
職指定の委員							
[指定される者]							
(執行部)							
部門長	加来	加来	梅村	加来	加来	加来	加来
副部門長	梅村	梅村	梅村	梅村	梅村	梅村	梅村
分野長	大喜	大喜	大喜	大喜	大喜	大喜	大喜
研究推進	川本	川本	川本	川本	川本	川本	川本
副部門長	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂
分野長	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤
研究推進	豊福	豊福	豊福	豊福	豊福	豊福	豊福
地域・国際連携推進	平田(伸)	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)
施設・環境	佐々木	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
学生	平田(秀)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)
教務	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
大学院	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)	中尾(久)
広報	永淵	永淵	永淵	永淵	永淵	永淵	永淵
楢木	楢木	楢木	楢木	楢木	楢木	楢木	楢木

1. 各分野から選出する委員の任期は原則2年。ただし、各委員会とも、平成22年度以降半数改選のため、平成21年度に限り、各分野から1年任期の委員を選出した。
 2. 今回選出する委員は、平成21年度に選出した1年任期委員の後任となり、任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日まで。
 3. 広報委員会委員の教授の任期については、別途「申合せ」による。

○：選出人教
 ()：任期

※各分野選出委員は、人事委員会委員と同

※各分野選出委員は、教員業績評価委員会委員と同一の者とする

※楢木教授は21年5月13日選出

○:選出人数
():任期

No.	7	8	9	10	11	12
委員会名	地域・国際連携推進委員会	財務委員会	施設・環境委員会	学生会委員会	教務委員会	大学院委員会
委員長	総務委員会選出 平田(伸)	部門長 加来	部門長指名 佐々木	前年度副委員長 平田(秀)	前年度副委員長 藤本	総務委員会選出 中尾(久)
副委員長	総務委員会選出 勝田	施設・環境委員長 佐々木	委員長指名 杜下	総務委員会選出 杉島	総務委員会選出 杜下	総務委員会選出 佐々木
看護学	教授 ①(H21.4~23.3) 平田(伸)		教授 ①(H21.4~23.3) 川本	教授 ①(H22.4~24.3) 平田(伸)	教授 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)	③ 教授 ②(H21.4~23.3) 平田(伸) ①(H22.4~24.3) 鳩野 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)
分野から選出する委員	准教授 ①(H22.4~24.3) 平野		准教授 ①(H22.4~24.3) 金岡	准教授 ①(H21.4~23.3) 宮園	准教授 ①(H21.4~23.3) 濱田	
医用量子線科学	講師 ①(H22.4~24.3) 豊福		講師 ①(H22.4~24.3) 佐々木	講師 ①(H22.4~24.3) 平田(秀)	講師 ①(H22.4~24.3) 杜下	
検査技術科学	助教 ①(H21.4~23.3) 赤坂		助教 ①(H21.4~23.3) 杜下	助教 ①(H21.4~23.3) 有村	助教 ①(H21.4~23.3) 有村	② 教授 ①(H21.4~23.3) 小坂 ①(H22.4~24.3) 佐々木
職指定の委員	助教 ①(H21.4~24.3) 梅村		助教 ①(H22.4~24.3) 藤本	助教 ①(H21.4~23.3) 杉島	助教 ①(H21.4~23.3) 藤本	
[指定される者] (執行部) 部門長 副部門長 分野長 <small>(部門内委員長等)</small> <small>(学務委員長等)</small>	助教 ①(H22.4~24.3) 勝田	部門長 加来 副部門長 梅村 大宮 分野長 川本 小坂 大澤 研究推進 豊福 地域・国際連携推進 平田(伸)	教授 ①(H21.4~23.3) 梅村	教授 ①(H22.4~24.3) 田代	教授 ①(H22.4~24.3) 永淵	教授 ①(H21.4~23.3) 永淵
	※H22年度の委員長・副委員長は総務委員会 で選出。		全学環境保全委員 ①(2年) 長山	全学学生関係委員 →〔部門内〕学生委員会 委員長・副委員長	全学教務関係委員 →〔部門内〕教務委員会 委員長	全学教務委員会委員 →〔部門内〕大学院委員会 委員長
						※H22年度の委員長・副委員長は総務委員会 で選出。副委員長はH23年度委員長となる予定
						※永淵教授はH23.3までの予定

○: 選出人教
(): 任期

No.	13	14	15	16	17
委員会名	入学試験実施委員会	広報委員会	放射線安全委員会	FD実行委員会	年報委員会
委員長	前年度副委員長 大池	前年度副委員長 永淵	医学研究院長 高柳	大学院委員会副委員長 佐々木	副部門長 梅村
副委員長	総務委員会選出 豊福	委員会選出 大喜	放射線取扱主任者 豊福	教務委員会副委員長 杜下	委員長指名 長家
看護学	教授 ①(H21.4~23.3) 大池	教授 ①(H22.4~23.3) 北原 准教授 ②(21.4~23.3) 藤野 講師 丸山 助教 ②(22.4~24.3) 丸山	教授 ④ 准教授 ②(H21.4~23.3) 小段 講師 熊澤 助教 ②(H22.4~24.3) 佐々木 杜下	教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 新小田 講師 原田 助教 (H22.4~24.3) 原田	教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 平野 講師 (H22.4~24.3) 長家 助教 ②
分野から選出する委員	教授 ①(H22.4~24.3) 豊福	教授 ①(H22.4~24.3) 大喜 准教授 ②(21.4~23.3) 小段 講師 高橋 助教 ②(H22.4~24.3) 永淵	教授 ④ 准教授 ②(H21.4~23.3) 小段 講師 熊澤 助教 ②(H22.4~24.3) 佐々木 杜下	教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 小坂 講師 藪内 助教 (H22.4~24.3) 藪内	教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 大喜 講師 熊澤 助教 (H22.4~24.3) 熊澤
検査技術科学	教授 ①(H22.4~24.3) 梅村	教授 ①(21.4~23.3) 永淵 准教授 ②(21.4~23.3) 渡辺 講師 水上 助教 ②(22.4~24.3) 水上		教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 外園 講師 勝田 助教 (H22.4~24.3) 勝田	教授 ② 准教授 (H21.4~23.3) 長山 講師 栗崎 助教 (H22.4~24.3) 栗崎
職指定の委員	部門長 加来 副部門長 大喜 川本 分野長 小坂 大澤	※広報委員会の教授の任期及び委員長・副委員長の就任については、別途「申告書」による。(H22年度看護選出教授委員の任期は1年となる) ※H22年度は医用量子線科学分野選出の教授が副委員長(H22	部門長 加来 放射線取扱主任者 豊福 放射線取扱副主任者 赤坂 医学研究院長 高柳 事務部長	副部門長 大喜	副部門長 梅村
				※教務委員会副委員長と大学院委員会副委員長が毎年交互に委員長・副委員長に就任する。	

【病院地区委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイトープ総合センター 病院地区学生実習運営 委員会	佐々木	2 年	H22.4.1	H24.3.31	教授1名	
2	アイトープ総合センター 病院地区実験室及び病 院地区学生実習室放射 線安全委員会	豊福	2 年	H22.4.1	H24.3.31	教授1名	
3	アイトープ病院地区実 験及び病院地区学生実 習室放射線取扱副主任 者	佐々木					
4	附属図書館医学図書館 運営委員会	藤本	2 年	H21.4.1	H23.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委員会は 教務委員会と統合 →教務委員会委員が兼 ねる
		杜下		H22.4.1	H24.3.31		
5	医療系統合教育研究セン ター委員会	《センター長》 大池	2 年	H21.4.1	H23.3.31	医・歯・薬・保の輪番で 教授1名(副センター 長から1名)	《副センター長》 〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年 ※センター長は各部局選 出の副センター長4名か ら1名が輪番で選出(原 則、副センター長経験者 から) ★H21-H22年度は(保) からセンター長を選出
		《H21～H22は委員》 藤本		(H22.4.1	H23.3.31)	保健学部門教授から1 名	
		中尾(久)		H22.4.1	H24.3.31	保健学部門の教員か ら1名	
6	病院地区協議会	加来	2 年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門長	医学・歯学・薬学研究院長、 生体防御医学研究所長、病 院長、保健学部門長、医系 学部等事務部長、病院事務 部長、医療系統合教育研究 センター長及び(オブザー バーとして)副病院長(歯科 部門)
		大池		H21.4.1	H23.3.31	医療系統合教育研究 センター長	
7	病院地区学生感染対策 委員会	杉島	2 年	(H22.4.1	H23.3.31)	保健学部門の学府の 学生の教育または感 染対策に責任を持つ 組織に所属する教員 のうちから選出され た者1名	学生委員会副委員長が 兼ねる →実質的な任期は1年
8	病院地区教育情報委員会	大喜		(H22.4.1	H23.3.31)	保健学部門副部門長 (教育担当)	・保健学部門の副部門長 のうち主として教育を担 当する者1名 ・学部教育を担当する委 員会の委員長 ・学府教育を担当する委 員会の委員長 →実質的な任期は1年
		藤本				教務委員会委員長	
		中尾(久)				大学院委員会委員長	
9	九州大学医の倫理に関 する協議会	加来				保健学部門長	部局長・保健学部門長・各倫理 審査委員会委員長・人文・社会科 学の有識者・その他協議会が必 要と認めた者
10	総合研究棟管理運営委 員会	大喜 平田(伸)	2 年	H20.8.1 H21.12.1	H22.7.31 H22.7.31	教授が望ましい	大喜…教授1名 平田…部局管理運用部 分の許可を受けている者

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
11	職員等用駐車区域運営委員会幹事会	杉島、長山				教授1名、准教授以下1名	
12	病院地区特許・技術移転相談室協力教員	永淵					
13	病院サイクロトン生産放射性同位元素の医学的利用に関する委員会	佐々木	2年	H22.4.1	H24.3.31	病院地区所属物理学専攻の教員	保健学部門から2名選出していたが、H22年度は1名のみ選出
14	病院放射性医薬品委員会	佐々木					
15	病院地区教育情報委員会	大喜 中尾(久) 藤本				教育を担当する副部門長 学府教育を担当する委員会の委員長 学部教育を担当する委員会の委員長 全学情報環境利用委員会委員	
16	病院先進医療適応評価委員会	金岡	2年	H21.6.3	H23.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発センター運営委員会	長家	2年	H22.4.1	H24.3.31	病院地区(医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む)の教員の中から選ばれた者	

【医学研究院委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	医学研究院情報公開委員会	加来		H20.4.1	H22.3.31	(官職指定) 教育研究評議員	年5回程度
		《必要に応じて選出》					
2	医学研究院再任審査委員会	梅村	当該年度の審査終了まで(1年)	(H22.4.1	H23.3.31)	医学研究院(保健学部門を除く)及び医学部附属病院以外の九州大学教員及び当該再任審査に関する専門的知識を有する学外有識者のうち選出された者	年1～2回;10分/回程度
3	医学研究院教員業績評価専門部会	※加来(部門長) 佐々木	-				※H20年度:医学研究院の評価基準(暫定案)を策定
4	基礎研究B棟管理運営委員会委員	※加来(部門長) 永淵 佐々木				※部門長 当該年度及び前年度の[部門内]施設・環境委員長が兼ねる →実質的な任期は2年	基礎B等の改修及び改修後の利用計画等について
5	ハラスメント等防止対策委員会	《必要に応じて選出》					

【病院地区倫理審査委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会	濱田	2年	H22.4.1	H24.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
		豊福		H21.5.1	H23.3.31		
2	病院臨床試験倫理審査委員会	藤本	2年	H21.5.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	H21.5.1委員会の名称変更
3	医系地区部局ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会		2年	H21.5.1	H23.3.31	※保健学部門教員の選出なし	医学研究院基礎系の教授1名、医学研究院臨床系の講師以上2名、歯学研究院の教授1名、薬学研究院の講師以上1名、生医研の講師以上1名
4	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	北原	2年	H22.4.1	H24.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
5	病院治験倫理審査委員会		2年	H21.5.1	H23.3.31	※保健学部門教員の選出なし	医学研究院・病院所属教授2名、診療科所属講師以上4名、検査部長または副検査部長1名
6	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会	樗木	2年	H21.5.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	

※倫理審査委員会規程等が5月1日付で制定・廃止されたことにより、各委員の任期の始期が21年5月1日となった。

【全学委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会評議員	加来	2年	H22.4.1	H24.3.31)	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号(各学部の教授1名)	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
		※H22年度はセンター群協議会Ⅱ議長が就任する	1年	(H21.4.1	H22.3.31)	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第7号(センター群協議会Ⅰ議長)	※医療系統合教育研究センター長がセンター群協議会Ⅰ議長に就任 ★評議員はセンター群協議会Ⅰ議長とセンター群協議会Ⅱ議長の輪番制(1年) →実質的な任期は1年
2	センター群協議会Ⅰ	大池	2年	H21.4.1	H23.3.31)	九州大学センター群協議会規則第3条第1項第2号(医療系統合教育研究センター長)	留学生センター 医療系統合教育研究センター 高等教育開発推進センター の施設の長及び当該施設所属または担当の教授
3	総長特別補佐	樗木	2年	(H21.4.1	H23.3.31)	総長指名	
4	学生委員会	平田(秀)	無	(H21.4.1	H23.3.31)	オブザーバーとして参加のため任期無	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は2年
		杉島		(H22.4.1	H24.3.31)		
5	学生生活・修学相談室相談員	平田(秀)	2年	H21.4.1	H23.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長
		杉島		H22.4.1	H24.3.31		
6	入学試験審議会	加来	無				保健学科長がオブザーバーとして参加
7	入学試験実施委員会	大池	無	(H22.4.1	H23.3.31)	オブザーバーとして参加のため任期無	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
8	入学者選抜研究委員会	高橋	2年	H22.5.1	H24.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
9	教務委員会	藤本	2年	(H22.4.1	H23.3.31)	第6条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長、大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
		中尾(久)		(H22.4.1	H23.3.31)		
10	全学教育運営会議	藤本	2年	(H22.4.1	H23.3.31)	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
11	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜					H20.6.5全学教育運営会議承認に基づき設置

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
12	全学教育専門委員会	藤本	2年	(H22.4.1)	H23.3.31)	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 ※開催頻度:低
13	全学教育企画委員会 (基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]	大喜					
14	全学FD委員会	藤本	2年	(H22.4.1)	H23.3.31)	第9条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
15	高等教育開発推進センター委員会	中尾(久)	2年	H22.4.1	H24.3.31	各学部から教授1名 ※医学として	
16	情報通信基盤連絡会議	大喜	無			教員1名	元岡キャンパス等におけるネットワーク(KITE)整備のための連絡会議が名称変更
17	伊都キャンパスネットワーク	大喜					
18	総合情報伝達システム委員会	豊福					
19	情報化推進企画小委員会	豊福					
20	環境保全管理委員会	長山	2年	H22.4.1	H24.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境安全センター委員会委員 ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
21	環境安全センター委員会	長山	2年	H22.4.1	H24.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から) 旧:特殊廃液処理施設運営委員会
22	放射線障害防止委員会	豊福	無				放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
23	21世紀プログラム専門委員会	永淵	2年	H22.4.1	H24.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	旧21世紀プログラム実施委員会 看医検分野の輪番
24	全学情報環境利用委員会	有村	2年	H22.4.1	H24.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	(旧:情報基盤センター学内共同利用運営委員会)
25	研究用微生物安全管理委員会	藤本	2年	H21.4.1	H23.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠(短大)
26	動物実験委員会	永淵	2年	H22.4.1	H24.3.31	その他委員会が必要と認めた者(第3条第1項第7号)	※医学とは別枠
26	ハラスメント等対策委員会	(歯・病・生)	2年	(H22.4.1)	H24.3.31)	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
27	ハラスメント等相談員	(歯・病)	2年	(H22.4.1)	H24.3.31)	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番
28	人員管理委員会委員	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31	総長指名	

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
29	男女共同参画室室長	樽木	2年	H21.4.1	H23.3.31	総長指名	
30	全学教育広報誌「radix」編集委員会	(薬)→H22.4.1～(医)				病院地区学部(医・歯・薬)の教員1名	医・歯・薬の輪番 H19年度:小坂教授
31	百周年記念事業専門委員会	豊福	2年	H22.1.1	H23.12.31	各研究院及び医学部から選出された教授各1名	※医学部保健学科からの選出・個人募金部会兼務
32	キャンパス計画専門委員	(歯)	2年	H20.11.9	H22.11.8	医歯生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
33	キャンパス計画及び施設管理委員会	(薬)	2年	H22.4.1	H24.3.31	医歯薬生の教授から1名	医・歯・薬・生・保の輪番 新キャンパス計画専門委員会委員で構成
34	G30実施調整会議	豊福				各部局から選出された教授または准教授	※医学とは別枠
35	国際化100人委員会	平野 杜下 梅村				医学から9名 内、保健から3名選出	各分野から1名選出

平成22年度
年 報

作成日 : 平成25年9月

発行者 : 保健学部門 平成25年度 年報委員会
佐々木雅之・梅村創・中尾久子・小野ミツ
前野有佳里・高橋昭彦・外園栄作・平田秀紀

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL: 092-642-6683